令和４年度

研修案内

東京都教職員研修センター
Tokyo Metropolitan School Personnel In-Service Training Center

Ⅰ　研修･研究事業計画策定基本方針（平成 30 年 10 月 26 日制定）

東京都教育委員会は、平成 20 年に策定した「東京都教員人材育成基本方針」（平成 27 年２月一部改定）等に基づき、教員養成課程を有する大学と緊密に連携しながら、教員研修の充実を図ってきました。

また、平成 29 年４月に施行された「教育公務員特例法等の一部を改正する法律」に基づき、東京都教員育成協議会を設置し、平成 29 年７月に「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」（以下「指標」という。）を策定しました。さらに、同年 10 月には、「指標」に基づき毎年度定める「東京都教員研修計画」（以下「教員研修計画」という。）を策定する等、法改正を踏まえ、その趣旨を具現化するための取組を推進しています。

１　東京都教職員研修センターの役割

東京都教職員研修センター（以下「研修センター」という。）では、研修センター設置条例、研修センター処務規則等に基づき、教員養成段階を含め、教職員生活全体を通じた資質・能力の向上に資する研修や、直面する教育課題の解決に資する調査研究等を行い、東京都における教育の充実・振興を図っています。

２　本基本方針の位置付け

研修センターは、職層や経験に応じた研修を計画的に行うとともに、教員の専門性を高める研修や教育課題に対応した研究を行っています。研修センターには、このような研修・研究事業を通して、東京の将来を見据えた教育に関する取組の改善・充実を図る役割が求められています。

そこで、今般の学習指導要領の改訂や教員の働き方改革の動向等を踏まえ、今後の研修センター事業の中・長期的な視点からの方向性を示すために、本方針を改定することとしました。

３　これからの時代に求められる研修企画の工夫改善

「教員研修計画」では、人材育成の三つの手段である「ＯＪＴ」、「Ｏｆｆ－ＪＴ」、「自己啓発」を計画的に実施することを示しています。研修センターは、この「教員研修計画」の趣旨を踏まえながら、教員の研修（Ｏｆｆ－ＪＴ）に関する事業を着実に企画・実施していきます。

とりわけ、研修の企画に当たっては、授業及び学習指導におけるＩＣＴの利活用、特別支援教育、外国語教育、道徳教育の一層の推進等、新たな教育課題に対応した研修を展開していきます。加えて、学習指導要領の改訂を受けて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善等に資する研修や教科等間の関連及び各学校段階間の円滑な接続に配慮した研修を企画していきます。

また、研修の在り方や手法についても見直しを行い、主体的・協働的な学びの要素を含んだ演習や協議等の方法を積極的に取り入れて実施していきます。このことにより、受講者である教職員が、研修内容をより深く理解し、学校における指導の改善等につなげることができるようにしていきます。

さらに、「学校における働き方改革推進プラン」を踏まえ、ＩＣＴを活用したＷｅｂ研修やサテライト方式による研修の導入等、効率的で効果的な研修方法の工夫改善を図っていきます。

４　教育課題に対応する先駆的な研究の実施と普及・還元

新たな時代に向け、学校の抱える課題は、複雑化・困難化するだけでなく、拡大し、多様化しています。また、学習指導要領の改訂に伴う学校の教育活動の改善や様々な教育課題等、学校が早期に対応したり、解決が迫られたりするものが数多くあります。

研修センターでは、これらの課題解決や対応に向けた取組を支援する研究を実施していきます。その上で、研究成果を、各学校における校内研究等ＯＪＴ活性化の支援をするために情報提供し、研修センターが実施する研修との関連を図っていきます。

５　学び続ける教員の自己啓発支援の充実

教員一人一人が、自己の研修の計画を主体的に立案するためのＩＣＴツール「マイ・キャリア・ノート」の充実を図ります。教員が「マイ・キャリア・ノート」を通じて確認することができる研修履歴と「指標」とを参考にしながら、自ら課題をもって自律的に研修に臨めるようにするための支援をしていきます。

また、「マイ・キャリア・ノート」の、ｅラーニングや動画視聴等ができる環境を充実させ、教員の自己啓発を支援していきます。これらの取組を通して、教員一人一人が時代の変化や自らのキャリアステージで求められる資質・能力を生涯にわたって高めていく力を身に付けることができるようにします。

Ⅱ　研修構築の基本方針等

東京都教職員研修センターにおいて実施される研修は、「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質向上に関する指標」及び「学び続けよう、次代を担う子供のために－令和３年度東京都教員研修計画－」を受けて基本方針等を決定しています。ここでは、その根拠となる資料を掲載します。

１　「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質向上に関する指標」について

社会状況や子供を取り巻く環境の変化に伴い、学校教育における課題は一層複雑化・多様化しています。そのため、これからの教員には、今までの指導方法を見直し、工夫・改善するとともに、保護者や地域、関係機関等と連携・協働する力の育成が必要となっています。

東京都教育委員会では、これら学校を取り巻く社会状況の変化に対応できるよう、平成 20 年 10 月に「東京都教員人材育成基本方針（平成 27 年 2 月一部改正）」を策定し、計画的に人材育成に取り組んできました。

今般、教育公務員特例法等の一部を改正する法律の施行により、教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき校長・副校長及び教員としての資質に関する指標を定めるものとすることが示されました。そこで、東京都教育委員会は、「東京都教育施策大綱」に示された「東京の将来像と目指すべき子供たちの姿」を基に、「東京都の教育に求められる教師像」や「今後の教育施策における重要事項」を鑑み（図１）、「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（以下「指標」という。）」（表１）を策定し、教員自らが生涯にわたって、キャリアに応じて求められる資質の向上に努められるようにしました。

東京の将来像と目指すべき子供たちの姿

□誰もが自ら望む教育を受けられ、可能性を伸ばせる社会の実現
□グローバル化の進展の中でたくましく生き抜く人間
□共生社会の中で多様性を尊重し積極的に社会的役割を果たす自立した人間

「東京都教育施策大綱～東京の輝く未来を創造する教育の実現に向けて～」（平成29年１月　東京都）

東京都の教育に求められる教師像

●教育に対する熱意と使命感をもつ教師
- 子供に対する深い愛情
- 教育者としての責任感と誇り
- 高い倫理観と社会的常識

●豊かな人間性と思いやりのある教師
- 温かい心、柔軟な発想や思考
- 幅広いコミュニケーション能力

●子供のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師
- 一人一人のよさや可能性を見抜く力
- 教科等に関する高い指導力
- 自己研さんに励む力

●組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高め合う教師
- より高い目標にチャレンジする意欲
- 若手教員を育てる力
- 経営参加への意欲

「東京都教員人材育成基本方針」
（平成20年10月（平成27年２月一部改正）東京都教育委員会）

今後の教育施策における重要事項

1　全ての子供が学び成長し続けられる教育の実現
2　新しい価値を創造する力を育む教育の推進
3　世界で活躍できる人材の育成
4　社会的自立に必要な力を育む教育の推進
5　悩みや課題を抱える子供に対するサポートの充実
6　障害のある子供たちの多様なニーズに応える教育の実現
7　オリンピック･パラリンピック教育の推進
8　子供たちの学びを支える教師力･学校力の強化

「東京都教育施策大綱～東京の輝く未来を創造する教育の実現に向けて～」（平成29年１月　東京都）

図１

（表１）

東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標

教員

成長段階	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
	基礎形成期	伸長期	充実期		
	１～３年目	４年目～	９年目～	11年目～	
求められる能力や役割	○教員としての基礎的な力を身に付ける。 ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。	○知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に助言する。 ○主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員への指導的役割を担う。	○高い専門性と優れた指導力を身に付け、都公立学校教員全体の授業力の向上を図る。	○学校運営組織における中心的な役割を担う。 ○管理職を補佐し、教員を育成する。

教員が身に付けるべき力

学習指導力	・学習指導要領の趣旨を踏まえ、ねらいに迫るための指導計画の作成及び学習指導を行うことができる。 ・児童・生徒の興味・関心を引き出し、個に応じた指導ができる。 ・主体的な学習を促すことができる。 ・学習状況を適切に評価し、授業を進めることができる。 ・授業を振り返り、改善できる。		・児童・生徒の主体的な学習を促し、若手教員の模範となる授業ができる。 ・若手教員の指導上の課題を捉え、助言・提案等ができる。 ・授業改善や授業評価について、実態や課題を捉え、解決策を提案できる。	・自らの授業を積極的に公開するとともに、自校又は他校の求めに応じて授業を観察し、指導・助言することができる。 ・教科指導資料等の開発、模範となる教科指導のための教材開発等を行うことができる。	・年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言できる。 ・学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、個別指導計画、評価計画等を作成することができる。
生活指導力・進路指導力	・児童・生徒と信頼関係を構築して、授業、学級での規律を確立できる。 ・生活指導上の問題に直面した際、他の教員に相談しながら解決できる。 ・児童・生徒の状況に応じたキャリア教育の計画を立てることができる。	・他学年や他学級の生活指導上の問題について、共に対応したり、効果的な指導方法について助言したりできる。 ・児童・生徒の個性や能力の伸長及び社会性の育成を通して自己実現を図る指導を行うことができる。	・若手教員が抱える課題に気付き、解決に向け指導・助言することができる。 ・児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。 ・自校の課題について、解決策を提案することができる。	・児童・生徒の観察や他の教員からの情報収集に基づき、自校の生活指導・進路指導の課題を捉え、管理職と連携して、改善策を提案し、実行することができる。 ・指導方針や指導方法の徹底に向け主任教諭等への指示や連絡・調整を行うことができる。 ・児童・生徒の個性や能力を把握し、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画・実施を行うことができる。	
外部との連携・折衝力	・課題に応じて保護者や地域、関係機関と連携を図り、学年主任の助言に基づいて、解決に向けて取り組むことができる。 ・保護者会等の進め方を理解し、保護者に伝える内容を整理するとともに、信頼関係を構築することができる。	・保護者・地域・関係機関と協働し、課題を解決することができる。 ・学校からの情報発信や広報、外部からの情報収集を適切に行うことができる。	・関係機関等に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 ・保護者・地域・関係機関と協働し、教育活動をより高いものにできる。	・保護者・地域・関係機関からの苦情や要請に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 ・模範授業及び公開授業を実施し、教科等の指導技術を普及することができる。	・外部への情報発信や広報について、管理職と連携して、ねらいに基づいた計画を立て、実施することができる。
学校運営力・組織貢献力	・組織の一員として校務に積極的に参画できる。 ・上司や先輩へ適切に報告・連絡・相談するなど、円滑なコミュニケーションを図り校務を遂行できる。	・担当する校務分掌についての企画・立案や改善策を提案できる。 ・上司や同僚とコミュニケーションを図りながら、円滑に校務を遂行できる。	・主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、教諭等に指導・助言ができる。 ・学校の課題を捉え、校長・副校長や主幹教諭に対応策等について提案できる。	・各会議や校務を遂行する場において、校長の経営方針を周知徹底し、学校運営を行うことができる。 ・教科指導力向上に必要な研修や校内研究等の企画を提案し、実施できる。	・校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して学校運営をすることができる。
教育課題に関する対応力	・教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。	・教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献できる。	・教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や若手教員に対して適切な助言ができる。	・教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して適切に指導・助言できる。	

学校マネジメント能力

教育管理職候補者

○副校長として必要な学校運営ができる力を身に付ける。
○自校の課題について、管理職の視点から解決策を立案できる。

学校経営力	・学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決できる。
外部折衝力	・学校に対する保護者等からの要望や苦情に副校長と共に対応し、解決することができる。
人材育成力	・学校の課題解決に向けて、研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。
教育者としての高い見識	・東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策について学び、日頃の教育実践に生かしている。
教育課題に関する対応力	・教育課題についての正しい認識に基づき、自校の問題点に気付き、管理職に解決策を提案し、課題解決に向けた進行管理を行うことができる。

教育管理職

求められる能力や役割	副校長	校長
	○学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。	○教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長等の人材育成について責任をもつ。

学校マネジメント能力

学校経営力	・校長の経営方針を踏まえ、学校が組織として機能するよう、全教職員を適材適所に配置して、課題を解決できる。	・学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。
外部折衝力	・保護者や地域、関係機関の意見や要望を的確に把握し、外部人材活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応できる。	・保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、適切に外部人材を活用した学校経営ができる。
人材育成力	・校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の職員に合った人材発掘と人材育成ができる。	・人事考課制度を有効に活用し、教員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成ができる。
教育者としての高い見識	・研修や自己啓発を通して、学校の危機管理、学校マネジメントや経営哲学等を学び、実践することができる。	・教育に対する地域、保護者等都民の期待や保護者のニーズを把握し、高い見識や教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。
教育課題に関する対応力	・教育課題についての高い見識をもち、自校の教育目標の実現に向けて適切に対応することができる。解決に向けた目標設定を行い、的確に役割指示と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価・改善することができる。	

東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（養護教諭）

養護教諭

成長段階	養護教諭		主任養護教諭	主幹教諭（養護）
	基礎形成期	伸長期	充実期	
	１～３年目	４年目～	９年目～	11 年目～
求められる能力や役割	○養護教諭としての基礎的な力を身に付ける。 ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。	○知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に助言する。 ○主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員への指導的役割を担う。	○学校運営組織における中心的な役割を担う。 ○管理職を補佐し、教員を育成する。
教員が身に付けるべき力 **学習指導力、保健管理に関する力**	・学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童・生徒理解に基づき、学級担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育ができる。 ・児童・生徒の健康状況を把握し、救急処置、健康診断、疾病予防などの保健管理を適切に行うことができる。		・教諭等の指導上の課題を捉え、助言・提案等ができる。 ・児童・生徒の健康状況を把握し、保健管理を適切に行い、実態や課題を捉えて解決策を提案することができる。	・年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言できる。 ・学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、個別指導計画、評価計画等を作成することができる。
生活指導力・進路指導力	・健康相談や心身の健康観察、情報収集を教職員と連携して行いながら、児童・生徒理解を深めることができる。 ・児童・生徒と信頼関係を構築し、生活指導上の問題に直面した際、他の教員に相談しながら解決できる。	・校内支援体制の充実及び関係機関との連携を図りながら、個別の保健指導や健康相談を行うことができる。 ・学年や学級の生活指導上の問題について、共に対応したり、効果的な指導方法について助言したりできる。	・若手教員が抱える課題に気付き、解決に向け指導・助言することができる。 ・児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。 ・自校の課題について、解決策を提案することができる。	・児童・生徒の観察や他の教員からの情報収集に基づき、自校の生活指導・進路指導の課題を捉え、管理職と連携して、改善策を提案し、実行することができる。 ・指導方針や指導方法の徹底に向け主任教諭等への指示や連絡・調整を行うことができる。 ・児童・生徒の個性や能力を把握し、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画・実施を行うことができる。
外部との連携・折衝力	・課題に応じて保護者や地域、関係機関と連携を図り、上司や先輩の助言に基づいて、解決に向けて取り組むことができる。 ・健康課題の解決及び健康の保持増進について、学級担任、保護者、関係機関等と連携して取り組むことができる。	・課題に応じて保護者や地域、関係機関と協働し、他の教員と連携しながら、課題解決することができる。 ・健康課題の解決及び健康の保持増進について、学級担任、保護者、関係機関等と連携して取り組むことができる。	・関係機関等に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 ・保護者・地域・関係機関と協働し、教育活動をより高いものにできる。	・保護者・地域・関係機関からの苦情や要請に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 ・外部への情報発信や広報について、管理職と連携して、ねらいに基づいた計画を立て、実施することができる。
学校運営力・組織貢献力	・保健室経営案の作成及び適切な保健室経営、保健組織活動を行うことができる。 ・学校保健計画の策定など、組織の一員として校務に積極的に参画できる。 ・上司や先輩へ適切に報告・連絡・相談するなど、円滑なコミュニケーションを図り校務を遂行できる。	・学校の健康課題を踏まえて、保健室経営案の作成及び適切な保健室経営、保健組織活動を行うことができる。 ・学校保健計画の策定など、担当する校務分掌についての企画・立案や改善策を提案できる。 ・上司や同僚とコミュニケーションを図りながら、円滑に校務を遂行できる。	・学校の健康課題を解決するために、保健室経営案を作成し、適切な保健室経営、保健組織活動を行うことができる。 ・主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、学校保健計画の策定など担当する校務分掌の職務について、教諭等に指導・助言ができる。 ・学校の課題を捉え、校長・副校長や主幹教諭に対応策等について提案できる。	・各会議や校務を遂行する場において、校長の経営方針を周知徹底し、学校運営を行うことができる。 ・校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して学校運営をすることができる。
教育課題に関する対応力	・教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。	・教育課題についての理解を深め、主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献できる。	・教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や若手教員に対して適切な助言ができる。	・教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して適切に指導・助言できる。

教育管理職候補者

○副校長として必要な学校運営ができる力を身に付ける。
○自校の課題について、管理職の視点から解決策を立案できる。

学校マネジメント能力

学校経営力	・学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決できる。
外部折衝力	・学校に対する保護者等からの要望や苦情に副校長と共に対応し、解決することができる。
人材育成力	・学校の課題解決に向けて、研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。
教育者としての高い見識	・東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策について学び、日頃の教育実践に生かしている。

教育課題に関する対応力

・教育課題についての正しい認識に基づき、自校の問題点に気付き、管理職に解決策を提案し、課題解決に向けた進行管理を行うことができる。

教育管理職

求められる能力や役割	副校長	校長
	○学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。	○教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長等の人材育成について責任をもつ。
学校マネジメント能力 **学校経営力**	・校長の経営方針を踏まえ、学校が組織として機能するよう、全教職員を適材適所に配置して、課題を解決できる。	・学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。
外部折衝力	・保護者や地域、関係機関の意見や要望を的確に把握し、外部人材活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応できる。	・保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、適切に外部人材を活用した学校経営ができる。
人材育成力	・校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の職員に合った人材発掘と人材育成ができる。	・人事考課制度を有効に活用し、教員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成ができる。
教育者としての高い見識	・研修や自己啓発を通して、学校の危機管理、学校マネジメントや経営哲学等を学び、実践することができる。	・教育に対する地域、保護者等都民の期待や保護者のニーズを把握し、高い見識や教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。
教育課題に関する対応力	・教育課題についての高い見識をもち、自校の教育目標の実現に向けて適切に対応することができる。解決に向けた目標設定を行い、的確に役割指示と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価・改善することができる。	

東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（栄養教諭）

栄養教諭

成長段階	栄養教諭	主任栄養教諭	主幹教諭（栄養）
	基礎形成期･伸長期	充実期	
	１年目～	３年目～	５年目～
求められる能力や役割	○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。 ○同僚や若手教員、地区内の食育リーダー等への指導的役割を担う。 ○学校栄養職員としての知識や経験に基づく実践力を高めつつ、主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員、地区内の栄養教諭及び食育リーダー等への指導的役割を担い、課題に対する解決策等を提案することができる。	○学校運営組織における中心的な役割を担う。 ○管理職を補佐し、教員を育成する。
教員が身に付けるべき力 **学習指導力･学校給食の管理に関する力**	･地区における食育推進に取り組み、同僚、食育リーダー、関係機関等と円滑な連携を図ることができる。 ･学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童･生徒理解に基づき、学級担任等と連携を図りながら、食に関する指導を進めるとともに、地区内の食育リーダー等からの相談に的確に応じることができる。 ･学校給食の意義及び背景を理解し、専門的な知識･技能を活用しながら、学校給食の管理を行うことができる。	･専門的な知識･技能を活用し、地区における食育推進の意義及び背景を理解した上で、地区内の状況を把握及び管理することができる。 ･地区内の栄養教諭への助言や支援及び食育リーダー等への支援を行うとともに、課題に対する解決策を提案することができる。 ･若手教員の指導上の課題を捉え、助言･提案等をすることができる。	･年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導･助言できる。 ･学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、個別指導計画、評価計画等を作成することができる。
生活指導力･進路指導力	･食に関する健康課題について専門知識を有し、個々の状況に応じて、教職員へ周知を図るとともに、的確な対応ができる。 ･食に関して特別の配慮を必要とする児童･生徒に対し、校内支援体制の充実及び関係機関との連携を図りながら、個別的な指導を行うことができる。 ･生活指導上の問題について、学級担任や養護教諭等と連携して対応できる。	･若手教員が抱える課題に気付き、解決に向け指導･助言することができる。 ･児童･生徒に自己有用感をもたせることができる。 ･自校の課題について、解決策を提案することができる。	･児童･生徒の観察や他の教員からの情報収集に基づき、自校の生活指導･進路指導の課題を捉え、管理職と連携して、改善策を提案し、実行することができる。 ･指導方針や指導方法の徹底に向け主任教諭等への指示や連絡･調整を行うことができる。 ･児童･生徒の個性や能力を把握し、自己実現に向けた生活指導･進路指導の計画･実施を行うことができる。
外部との連携･折衝力	･課題に応じて保護者や地域、関係機関と協働し、他の教員と連携しながら、課題を解決することができる。 ･学校からの情報発信や広報、外部からの情報収集を適切に行うことができる。	･関係機関等に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 ･保護者･地域･関係機関と協働し、教育活動をより高いものにできる。	･保護者･地域･関係機関からの苦情や要請に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 ･外部への情報発信や広報について、管理職と連携して、ねらいに基づいた計画を立て、実施することができる。
学校運営力･組織貢献力	･食に関する指導の全体計画の策定など、担当する校務分掌についての企画･立案や改善策を提案できる。 ･上司や同僚とコミュニケーションを図りながら、円滑に校務を遂行できる。	･主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、教諭等に指導･助言ができる。 ･学校の課題を捉え、校長･副校長や主幹教諭に対応策等について提案できる。	･各会議や校務を遂行する場において、校長の経営方針を周知徹底し、学校運営を行うことができる。 ･校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して学校運営をすることができる。
教育課題に関する対応力	･教育課題についての理解を深め、主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献できる。	･教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や若手教員に対して適切な助言ができる。	･教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して適切に指導･助言できる。

教育管理職候補者

○副校長として必要な学校運営ができる力を身に付ける。 ○自校の課題について、管理職の視点から解決策を立案できる。		
学校マネジメント能力	**学校経営力**	･学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援･指導して課題を解決できる。
	外部折衝力	･学校に対する保護者等からの要望や苦情に副校長と共に対応し、解決することができる。
	人材育成力	･学校の課題解決に向けて、研修等について管理職に提案し、教職員を指導･育成することができる。
	教育者としての高い見識	･東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策について学び、日頃の教育実践に生かしている。
教育課題に関する対応力		･教育課題についての正しい認識に基づき、自校の問題点に気付き、管理職に解決策を提案し、課題解決に向けた進行管理を行うことができる。

教育管理職

求められる能力や役割	副校長	校長
	○学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。	○教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長等の人材育成について責任をもつ。
学校マネジメント能力 **学校経営力**	･校長の経営方針を踏まえ、学校が組織として機能するよう、全教職員を適材適所に配置して、課題を解決できる。	･学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。
外部折衝力	･保護者や地域、関係機関の意見や要望を的確に把握し、外部人材活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応できる。	･保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、適切に外部人材を活用した学校経営ができる。
人材育成力	･校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の職員に合った人材発掘と人材育成ができる。	･人事考課制度を有効に活用し、教員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成ができる。
教育者としての高い見識	･研修や自己啓発を通して、学校の危機管理、学校マネジメントや経営哲学等を学び、実践することができる。	･教育に対する地域、保護者等都民の期待や保護者のニーズを把握し、高い見識や教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。
教育課題に関する対応力	･教育課題についての高い見識をもち、自校の教育目標の実現に向けて適切に対応することができる。解決に向けた目標設定を行い、的確に役割指示と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価･改善することができる。	

※東京都においては、学校栄養職員として所定の期間を経たものが、栄養教諭の切替選考を受験できる。

指標の「教育課題に関する対応力」について、東京都教育施策大綱、東京都教育ビジョン等において示されている内容に基づき、これからの東京都の学校教育を推進していく教員に求められる具体的な項目を示しました（表２）。

なお、それぞれの教育課題の解決に実際に取り組んでいく教員と、教員に対して指導・助言し組織的な体制づくりを推進する教育管理職とに分けて示しています。

（表２）教育課題に関する対応力の具体的な項目

教育課題	教　　員	教育管理職
グローバル人材の育成	・児童・生徒に対して、日本人としての自覚と誇りを涵養し、豊かな国際感覚を醸成することができる。 ・児童・生徒に対して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる。 ・児童・生徒に対して、相手の意図や考えを的確に理解した上で、論理的に説明したり、反論・説得したりする能力を育成できる。	・グローバル化についての高い見識をもち、自校の教育活動において、豊かな国際感覚を醸成する指導ができているかを把握し、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。
人権教育の推進	・児童・生徒一人一人の人権に配慮して指導することができる。 ・児童・生徒が人権課題について正しい理解と認識を深め、偏見や差別意識を解消しようとする態度と実践力を育む指導ができる。	・人権尊重についての高い見識をもち、自校の教育活動において、様々な偏見や差別等をなくす指導ができているかを把握し、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。
道徳教育の推進	・児童・生徒に、他者への思いやりや、かけがえのない生命を大切にする気持ちを育むことができる。 ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を、児童・生徒自らが考え、議論し、行動しながら身に付けられる指導ができる。 ・学校、家庭、地域が連携し、子供たちの豊かな心の育成を図ることができる。	・児童・生徒がよりよく生きるための基盤となる道徳性を身に付けることができるよう、教育活動全体及び保護者や地域、関係機関等と連携して子供たちの豊かな心の育成を図ることができる。
不登校に関する事項	・児童・生徒にとって魅力ある学級をつくり、豊かな人間関係を育むことができる。 ・不登校の予兆についての気付き、積極的な声掛けや関わりなど、未然防止とともに初期段階での改善・解消に取り組むことができる。 ・不登校になったきっかけや継続理由を把握し、その児童・生徒に必要な支援を保護者や関係機関と連携を図りながら行うことができる。	・不登校及び不登校傾向の児童・生徒とその保護者に対する必要な支援や関係機関等との連携等について、高い見識をもち、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。
障害のある子供たちの多様なニーズへの対応	・障害のある児童・生徒一人一人の能力を最大限に伸長するために、児童・生徒の実態を的確に把握して適切な指導・支援ができる。 ・本人・保護者と合意形成を図り、障害のある児童・生徒一人一人に対して合理的配慮ができる。	・特別支援教育についての高い見識をもち、自校の教育活動において、必要な合理的配慮等が組織的に行われるよう、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。
いじめに関する事項	・いじめや自殺等の防止に向けて、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等の具体的な取組を組織的に推進することができる。 ・児童・生徒の主体的な行動を促す指導を、保護者や地域・関係機関等と連携しながら組織的に行うことができる。	・いじめ等を早期に把握し、保護者や地域・関係機関等とも連携しながら解決に向けて組織的に対応する教員集団を育成することができる。
情報教育の推進	・児童・生徒に、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度を育成することができる。 ・授業において、ＩＣＴを効果的に活用することにより、児童・生徒の学力の向上を図ることができる。 ・ＩＣＴを活用して校務の効率化を図ることができる。	・情報教育についての高い見識をもち、自校の教育活動において、ICT を効果的に活用した指導ができているかを把握し、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。
オリンピック・パラリンピック教育の推進	・オリンピック・パラリンピック教育の目的や内容を正しく理解し、組織的・計画的に推進することにより、児童・生徒に対して重点的に育成すべき５つの資質を身に付けられるようにすることができる。 ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を通じ、児童・生徒一人一人の心と体に人生の糧となるレガシーを形成するための指導ができる。	・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を通じ、児童・生徒一人一人の心と体に人生の糧となるレガシーを形成させるためにはどのような教育活動ができるかを構想し、自校の教育活動において組織的に推進することができる。
学校安全に関する事項	・学校の安全管理について、教職員間の情報共有を確実に図りながら自身の意識を高めるとともに、事件・事故に対して、迅速かつ的確に判断し、対応することができる。 ・児童・生徒一人一人の健康状況等を確実に把握し、食物アレルギー等に対する知識・理解を深め、適切に対応することができる。 ・児童・生徒に対して、防災に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力と他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を身に付けられるようにすることができる。	・施設等の安全管理、事件・事故への対応、食物アレルギー等の学校の安全管理に関する高い見識をもち、安全管理に対して組織的に対応する教員集団を育成するとともに、適切な判断・指示を行うことができる。

2　教員の人材育成について

（１）教員の人材育成の全体像

教員の人材育成では、「ＯＪＴ」、「Ｏff－ＪＴ」、「自己啓発」の三つの手段があいまってはじめて効果的な育成が可能となります。校長・副校長や主幹教諭等同じ学校に勤務する教員等からの指導はもちろん、教員個人の自己啓発、教員同士の相互啓発が醸成され、互いに高め合う環境をつくることが大切です。教員の「自ら育つ」意識を引き出し、成長させていけるよう、経験や職層に応じて身に付けるべき力を提示し、将来の展望を明らかにします。

人材育成を図るためには、研修や学校での実務を通した学びや教員自らによる学びとの相互の関連が重要です。また、教員は、Ｏff－ＪＴで学ぶ機会を一つの契機として受け止め、ＯＪＴの活性化につなげること、そして、Ｏff－ＪＴやＯＪＴで学んだことを生かし、自ら学び、自己を高めることができるよう、自己啓発に励むことが重要です。

本教員研修計画では、教員自らが、職層に応じて求められる力を自覚し、「ＯＪＴ」、「Ｏff－ＪＴ」、「自己啓発」を計画的に実施していくことで、指標に挙げられている目標を達成することができるように示しています（図２）。

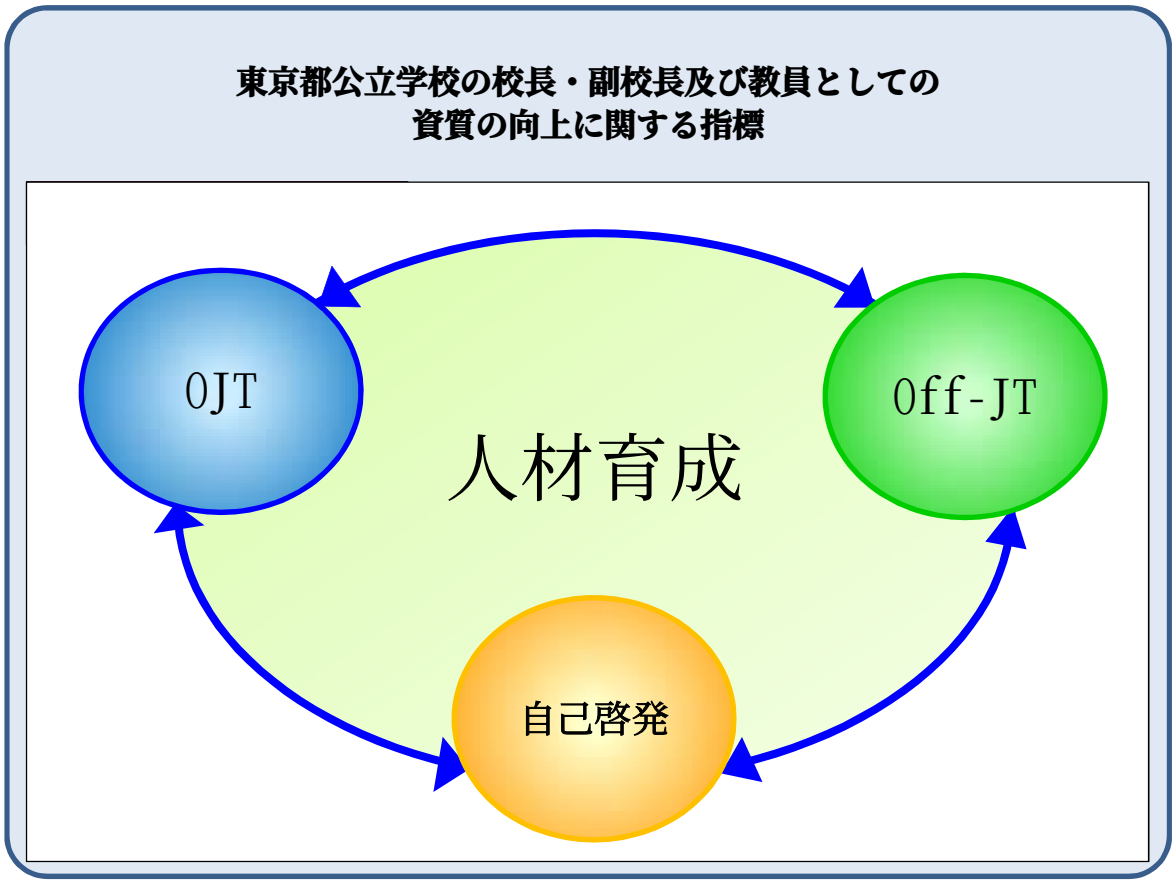


図２

（２）「ＯＪＴ」について

「ＯＪＴ」とは、「On the Job Training」 の略で、「日常的な職務を通して、必要な知識や技能、意欲、態度などを、意識的、計画的、継続的に高めていく取組」のことです。

期待される効果としては、いつでも、必要なときに、具体的な指導ができること、個々の具体的な業務に即した指導ができること、受ける側の主体性や積極性を尊重し、それらを伸ばすことができること、日常の業務実践を通じて人を育てるため、今日的課題に対応した人材育成が可能になります。

本教員研修計画では、職層別に、求められる資質・能力を身に付けるための主に校内での具体的な場面や行動例を示しています。

（３）「Ｏｆｆ－ＪＴ」について

「Ｏｆｆ－ＪＴ」とは、職場以外の研修機関等が主催する研修のことです。「Ｏｆｆ－ＪＴ」の項目例としては、東京都教職員研修センター等における職層研修、教育研究員、教職大学院への派遣、区市町村教育委員会主催の研修などが挙げられ、集合研修（受講者が研修会場に集合する研修）の他、オンライン研修（Web を介して受講する研修）があります。

期待される効果としては、幅広い視野を涵養できること、最新・高度な知識や情報を集中的・効率的に収集できること、異なる職層や校種の人々と交流ができることなどが挙げられます。

本教員研修計画では、職層別に、求められる資質・能力を身に付けるための具体的場面や研修例を示しています。

なお、東京都教職員研修センターが行う研修については、ホームページに研修案内が掲載されています。

（４）「自己啓発」について

「自己啓発（Self-Development）」は、教員としての資質・能力を向上させるために、課題意識をもって様々な研さんと修養に自ら励むことです。

「自己啓発」の項目例としては、興味・関心をもつ領域への自己研さんなどが挙げられます。

期待される効果としては、自らが興味・関心をもつ領域について、書物を読んだり、セミナーに参加したりすることを通して、知識や経験を増やし自己研さんすることで、そこで得られた知識・技能等を児童・生徒の教育やＯＪＴを通じて還元できることが挙げられます。

本教員研修計画では、教員としての資質・能力の向上を図る自己啓発例を示しています。

3　教員研修計画の活用について

（１）教員の学びを子供の指導につなげる

学習指導要領（平成 29、30、31 年告示）では、各教科等で育成を目指す資質・能力を、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から指導の在り方を見つめ直して授業改善を行い、より質の高い学びを実現させていくことが求められています。

さらに、GIGA スクール構想の加速により、各学校における一人一台端末環境が整備される中、ICT の活用によって「一人一人の力を最大限に伸ばす学びの充実」も求められています。

ア　自分自身を高めるために

教員は常に、自己を向上させ成長し続けていくことが求められます。自分は今どのような力を身に付けているのか、これからどのような能力を身に付けていくことが必要なのか、それらをしっかり見つめ、自己を磨き、高めていくことが期待されます。

以下に、教員研修計画の教員個人の活用例を示します（図３）。

職層に応じて……

例１　私は教職６年目の教諭です。主任教諭になることを視野に入れ、学級や学年だけでなく、学校全体の生活指導の在り方について提案できるよう、生活指導に関する知識や指導力を向上させていこうと考えています。

◆「教員研修計画」で現在の自分が身に付けるべき力を確かめる。
◆教員としての自らの「次のステージ」を意識して、今から身に付けていくべき力を意識する。

課題や目標に合わせて……

例２　私は教職 10 年目の主任教諭です。教科指導についての専門性を向上させるために、都の研究指定校の発表会に積極的に参加しています。

さらに今年度からは、管理職と相談し、教科の研究団体の研究会に、毎月１回参加することにしました。

◆「教員及び教育管理職としての専門性向上に関するもの」を参照し、自らの課題解決に資する資料や情報を得る。
◆教科等の研究団体の活動に参加したり、発表会等を聞きに行ったりして、先進的な取組に触れる。

図３

イ　組織の力を高めるために

学校全体で教育活動に取り組む組織としての力を向上させるには、各教員の職層や能力、学校としての課題、保護者や地域の願いなどに応じて、計画的にＯＪＴやＯff-ＪＴを推進していくことが大切です。管理職を中心に、校内研修や研究活動に積極的に取り組むことが求められます。

以下に、教員研修計画の組織としての活用例を示します（図４）。

学校の課題や教員の職層等に応じて……

例３　私が校長を務める学校は、「子供たちの豊かな心を育む」ことを、教育目標の重点項目にしています。

今年度は、教員一人一人の道徳の授業力向上を校内研修のテーマに設定しています。また、来年度は全校体制で研究活動に取り組みたいと考えています。

◆主幹教諭や研究主任等を東京都教育委員会研究推進団体等の研究発表会等に参加させ、校内で共有する。
◆教育委員会と相談し、研究指定校や拠点校等に応募して、全校体制での研究活動を推進する。

図４

令和４年度　東京都教職員研修センターにおける教員研修体系図

職層	各職に応じて求められる能力や役割
校長・副校長等	〔統括校長・校長〕 教育者としての高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長や管理職候補者の人材育成についての責任をもつ。 〔副校長〕 学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成についての責任をもつ。校長になるために必要な学校経営ができる力を身に付ける。
主幹教諭・指導教諭	〔主幹教諭（教育管理職候補者を含む）〕 管理職を補佐しながら、教員を指導・育成するとともに、教務、生活指導、進路指導等の長として学校運営における中心的な役割を担う。 副校長に向けて必要な学校運営ができる力を身に付ける。 〔指導教諭〕 高い専門性と優れた指導力を身に付け、都公立学校の教員全体の「授業力」の向上を図る。将来的には経営参画意識も高める。
主任教諭（9年目～）	〔主任教諭〕（充実期） 校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。指導監督層である主幹教諭を補佐する。 教育指導の専門性を高め、同僚や若手教員への助言・支援などの指導的役割を担う。主幹教諭及び指導教諭に向けて必要な力を身に付ける。
教諭（4年目～）	〔教諭（伸長期）〕 知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に先輩として助言する。主任教諭の補佐を行い、分掌組織の一員として、積極的に貢献できる力を身に付ける。主任教諭になるために必要な力を身に付ける。
教諭（1～3年目）	〔教諭（基礎形成期）〕 学習指導、生活指導や学級経営における教員としての基礎的な力を身に付ける。また、教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。

Off-JT（オンライン研修を含む）

職層や経験に応じた研修

職層研修

■教育管理職研修

■教育管理職候補者研修
■公立学校主幹教諭スキルアップ研修
■公立学校主幹教諭任用時研修
■公立学校指導教諭任用時研修

■教育管理職候補者Ｂ養成講座
■教育行政研修
■公立学校主任研修（教務・生活・進路）

■公立学校主任教諭任用時研修
■公立学校主任教諭任用前研修

年次研修

●東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅱ

●東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

東京都若手教員育成研修
●3年次研修
●2年次研修
●1年次（初任者）研修

新規採用者研修

教員の専門性を高める研修

リーダー養成研修

◆派遣研修
教職員支援機構・特別支援教育総合研究所等が主催する研修への推薦

◆教職大学院派遣研修

◆大学院派遣研修

◆東京都教員研究生

◆東京教師道場（リーダー）

◆東京教師道場（部員）

◆特別支援教育リーダー養成研修

教科等・教育課題研修

専門性向上研修Ⅲ
習得した知識・技能、内容を発展させ、実践的な指導力や課題解決力を一層高め、他の教員に普及、還元する力を身に付ける（模範授業の実施、指導事例集の作成　等）。

専門性向上研修Ⅱ
専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める（指導計画・評価計画、授業改善、教材開発　等）。

専門性向上研修Ⅰ
基礎的・基本的な力を身に付ける（学習指導案の作成、指導技術　等）。

OJTの推進・自己啓発支援

◎教職員専用Webページ（マイ・キャリア・ノート）

◎研修動画の配信

◎都教委訪問（オンライン実施を含む）

◎島しょ地域研修支援事業（オンライン実施を含む）

◎教員研修のための講師認定事業

◎研究推進団体支援事業

◎教育課題研究

◎教育資料閲覧室・教科書センター・レファレンス

◎人権教育資料センター

採用前

東京都教職課程カリキュラム

東京教師養成塾

「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に応じた東京都教職員研修センターの令和４年度研修一覧

教諭

成長段階	教諭・養護教諭		主任教諭・主任養護教諭	指導教諭	主幹教諭 主幹教諭(養護) ＊主幹教諭(栄養)	教育管理職候補者
	基礎形成期	伸長期	充実期			
	１～３年目	４年目～	９年目～	11 年目～(＊5 年目～)		
求められる能力や役割	○教員（養護教諭）としての基礎的な力を身に付ける。 ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。	○知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に助言する。 ○主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員への指導的役割を担う。	○高い専門性と優れた指導力を身に付け、都公立学校教員全体の授業力の向上を図る。	○学校運営組織における中心的な役割を担う。 ○管理職を補佐し、教員を育成する。	○副校長として必要な学校運営ができる力を身に付ける。 ○自校の課題について、管理職の視点から解決策を立案できる。
	栄養教諭（１年目～） ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。 ○同僚や若手教員、地区内の食育リーダー等への指導的役割を担う。 ○学校栄養職員としての知識や経験に基づく実践力を高めつつ、主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。		**主任栄養教諭（３年目～）** ○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員、地区内の栄養教諭及び食育リーダー等への指導的役割を担い、課題に対する解決策等を提案することができる。			

教育管理職

求められる能力や役割	副校長（統括指導主事等を含む）	校長
	○学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。	○教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長等の人材育成について責任をもつ。

東京都教職員研修センターにおける研修

教員が身に付けるべき力

	教諭・養護教諭		主任教諭・主任養護教諭	指導教諭	主幹教諭 主幹教諭(養護) ＊主幹教諭(栄養)	教育管理職候補者	副校長（統括指導主事等を含む）	校長
学習指導力・(養護教諭：保健管理に関する力)、(栄養教諭：学校給食の管理に関する力)	・都立学校若手教員育成研修 ・新規採用者(養護教諭・栄養教諭・幼稚園教諭)研修 ・新規採用者(実習助手・寄宿舎指導員)研修 ・専門性向上研修Ⅰ(教科等)※ ・専門性向上研修(学級経営(学習指導)) ・英語力向上研修(ONEDAY・基礎) ・英語力 UP 研修	・専門性向上研修Ⅰ(教科等)※ ・専門性向上研修(学級経営(学習指導)) ・英語力向上研修(ONEDAY・基礎) ・英語力 UP 研修 ・東京教師道場（部員）	・公立学校主任教諭任用前研修 ・公立学校主任教諭任用時研修 ・専門性向上研修Ⅱ(教科等)※ ・英語力向上研修(ONEDAY・応用) ・英語力 UP 研修 ・東京教師道場（部員・リーダー） ・都立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・大学院派遣研修、教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	・専門性向上研修Ⅲ(教科等)※ ・公立学校主幹教諭任用時研修 ・公立学校主幹教諭スキルアップ研修 ・公立学校指導教諭任用時研修 ・東京教師道場（リーダー） ・公立学校教務主任研修(教務) ・教育行政研修 ・教育管理職候補者Ｂ養成講座 ・大学院派遣研修、教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	**学校経営力**	・指導主事任用時研修 ・教育管理職候補者研修(A1 年次～4 年次、B 研修Ⅰ・Ⅱ、C 研修) ・教職大学院派遣研修	**学校経営力**	・都立学校副校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・統括指導主事研修	・都立学校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・人事考課評価者訓練講師養成研修 ・公立学校校長職候補者研修
生活指導力・進路指導力	・都立学校若手教員育成研修 ・新規採用者(養護教諭・栄養教諭・幼稚園教諭)研修 ・新規採用者(実習助手・寄宿舎指導員)研修 ・専門性向上研修(学級経営(生活指導・進路指導))	・専門性向上研修(学級経営(生活指導・進路指導))	・公立学校主任教諭任用前研修 ・公立学校主任教諭任用時研修 ・都立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・大学院派遣研修、教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	・公立学校主幹教諭任用時研修 ・公立学校主幹教諭スキルアップ研修 ・公立学校指導教諭任用時研修 ・公立学校(生活指導・進路指導)主任研修 ・教育行政研修 ・教育管理職候補者Ｂ養成講座 ・大学院派遣研修、教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	**外部折衝力**	・指導主事任用時研修 ・教育管理職候補者研修(A1 年次～4 年次、B 研修Ⅰ・Ⅱ、C 研修) ・教職大学院派遣研修	**外部折衝力**	・都立学校副校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・統括指導主事研修	・都立学校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・人事考課評価者訓練講師養成研修 ・公立学校校長職候補者研修
外部との連携・折衝力	・都立学校若手教員育成研修 ・新規採用者(養護教諭・栄養教諭・幼稚園教諭)研修 ・新規採用者(実習助手・寄宿舎指導員)研修 ・専門性向上研修(学校教育相談)、(学級経営(保護者対応))	・専門性向上研修(学校教育相談)、(学級経営(保護者対応))	・公立学校主任教諭任用前研修 ・公立学校主任教諭任用時研修 ・都立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・大学院派遣研修、教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	・公立学校主幹教諭任用時研修 ・公立学校主幹教諭スキルアップ研修 ・公立学校指導教諭任用時研修 ・公立学校(教務・生活指導、進路指導)主任研修 ・教育行政研修 ・教育管理職候補者Ｂ養成講座 ・大学院派遣研修、教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	**人材育成力**	・指導主事任用時研修 ・教育管理職候補者研修(A1 年次～4 年次、B 研修Ⅰ・Ⅱ、C 研修) ・教職大学院派遣研修	**人材育成力**	・都立学校副校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・統括指導主事研修	・都立学校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・人事考課評価者訓練講師養成研修 ・公立学校校長職候補者研修
学校運営力・組織貢献力	・都立学校若手教員育成研修 ・新規採用者(養護教諭・栄養教諭・幼稚園教諭)研修 ・新規採用者(実習助手・寄宿舎指導員)研修 ・専門性向上研修(学級経営(チーム学校))	・専門性向上研修(学級経営(チーム学校))	・公立学校主任教諭任用前研修 ・公立学校主任教諭任用時研修 ・都立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・大学院派遣研修、教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	・公立学校主幹教諭任用時研修 ・公立学校主幹教諭スキルアップ研修 ・公立学校指導教諭任用時研修 ・公立学校(教務・生活指導、進路指導)主任研修 ・教育行政研修 ・教育管理職候補者Ｂ養成講座 ・大学院派遣研修、教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	**教育者としての高い見識**	・指導主事任用時研修 ・教育管理職候補者研修(A1 年次～4 年次、B 研修Ⅰ・Ⅱ、C 研修) ・教職大学院派遣研修	**教育者としての高い見識**	・都立学校副校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・統括指導主事研修	・都立学校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・人事考課評価者訓練講師養成研修 ・公立学校校長職候補者研修
教育課題に関する対応力	・若手教員育成研修 ・新規採用者(養護教諭・栄養教諭・幼稚園教諭)研修 ・新規採用者(実習助手・寄宿舎指導員)研修 ・専門性向上研(教育課題) ※	・専門性向上研(教育課題) ※	・専門性向上研(教育課題) ※ ・公立学校主任教諭任用前研修 ・公立学校主任教諭任用前研修 ・都立学校主任教諭任用時研修 ・都立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ ・大学院派遣研修、教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	・専門性向上研(教育課題) ※ ・公立学校主幹教諭任用時研修 ・公立学校主幹教諭スキルアップ研修 ・公立学校指導教諭任用時研修 ・公立学校主任研修(教務・生活指導、進路指導) ・教育行政研修 ・教育管理職候補者Ｂ養成講座 ・大学院派遣研修、教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	**教育課題に関する対応力**	・指導主事任用時研修 ・教育管理職候補者研修(A1 年次～4 年次、B 研修Ⅰ・Ⅱ、C 研修) ・教職大学院派遣研修	**教育課題に関する対応力**	・都立学校副校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・統括指導主事研修	・都立学校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・人事考課評価者訓練講師養成研修 ・公立学校校長職候補者研修

学校マネジメント能力

学校マネジメント能力

※ 別紙「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に応じた東京都教職員研修センターの令和４年度専門性向上研修一覧

★この一覧に掲載されている研修を受講し、修了した場合、研修履歴に登載をします。（一部を除く。）

別紙

「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に応じた東京都教職員研修センターの令和４年度専門性向上研修一覧

教諭

成長段階	教諭・養護教諭・栄養教諭		主任教諭・主任養護教諭・主任栄養教諭	指導教諭	主幹教諭 主幹教諭(養護) ＊主幹教諭(栄養)
	基礎形成期	伸長期	充実期		
	１～３年目	４年目～	９年目～	11 年目～(＊5 年目～)	
求められる能力や役割	○教員としての基礎的な力を身に付ける。 ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。	○知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に助言する。 ○主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員への指導的役割を担う。	○高い専門性と優れた指導力を身に付け、都公立学校教員全体の授業力の向上を図る。	○学校運営組織における中心的な役割を担う。 ○管理職を補佐し、教員を育成する。
	＊栄養教諭（１年目～） ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。 ○同僚や若手教員、地区内の食育リーダー等への指導的役割を担う。 ○学校栄養職員としての知識や経験に基づく実践力を高めつつ、主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。		**＊主任栄養教諭（3 年目～）** ○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員、地区内の栄養教諭及び食育リーダー等への指導的役割を担い、課題に対する解決策等を提案することができる。		

東京都教職員研修センターにおける研修

教員が身に付けるべき力

学習指導力	国語Ⅰ 社会Ⅰ　地理歴史Ⅰ　公民Ⅰ 算数Ⅰ　数学Ⅰ 理科Ⅰ 生活・総合的な学習の時間Ⅰ　総合的な学習の時間Ⅰ・総合的な探究の時間Ⅰ 音楽Ⅰ 図画工作Ⅰ　美術Ⅰ　図画工作・美術Ⅰ 体育Ⅰ　保健体育Ⅰ 家庭Ⅰ　技術Ⅰ 小学校英語入門　英語Ⅰ 道徳Ⅰ 特別活動Ⅰ 農業Ⅰ　工業Ⅰ　ビジネス・商業Ⅰ　情報Ⅰ 学級経営（学習指導）	国語Ⅱ 社会Ⅱ　公民Ⅱ 算数Ⅱ　数学Ⅱ 理科Ⅱ 音楽Ⅱ 体育・保健体育Ⅱ 家庭Ⅱ 英語Ⅱ 工業Ⅱ　情報Ⅱ	国語Ⅲ 社会・地理歴史・公民Ⅲ 数学Ⅲ 理科Ⅲ 音楽Ⅲ 図画工作・美術Ⅲ 英語還元 英語 ONE DAY 英語コミュニケーション 英語力 UP 講座
生活指導力・進路指導力	生活指導 学級経営（生活指導・進路指導）		
外部との連携・折衝力	学校教育相談 学級経営（保護者対応）	学校教育相談	
学校運営力・組織貢献力	学級経営（チーム学校）		

教育課題に関する対応力	専門教科における「情報Ⅰ」代替科目担当者向け情報教育　国際理解教育　日本の伝統・文化教育　プログラミング教育　デジタル機器活用　情報モラル教育　キャリア教育 人権教育　防災教育　生き物飼育　健康教育・保健室経営　健康教育　国際バカロレア　読書活動　島しょ・へき地等教育　日本語指導　特別支援教育　現代教育課題 一人１台端末を効果的に活用するための指導法　学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進　小中高一貫教育理解推進　新聞を活用した活動 オリンピック・パラリンピック教育　スタートカリキュラム　幼稚園教育理解推進事業

★この一覧に掲載されている研修を受講し、修了した場合、研修履歴に登載をします。

デジタル化推進に伴った研修・研究等の推進に向けて

東京都は、令和３年３月に、新たな「東京都教育施策大綱」を策定しました。この大綱では、東京の目指す教育を「誰一人取り残さず、全ての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育」と定めた上で、「子供たち一人ひとりの力を最大限に引き出すとともに、子供の主体的な学びを促す」という教員の役割を明確にしたところです。

こうした教員を育成するためには、研修の充実を通して、教科や児童・生徒理解等の専門性に加え、教育のデジタル化等に対応できる資質や能力を身に付けられるようにすることが大切です。一方で、今後の研修運営に当たっては、教員の働き方改革の視点も重視し、教員のニーズに対応できる内容への改善、実施方法の効率化、スクラップ・アンド・ビルド等を進めていくことも必要と考えます。

そこで、東京都教職員研修センターとして、下記のとおり、研修形態に伴った留意点などをまとめました。研修を受講される際において、研修形態などを確認していただければ幸いです。

【研修形態の名称】

①オンライン研修：研修を受講される皆さんが Web を介して受講する研修

オンライン研修は、研修日で２つに分類します。

ライブ配信：**研修受講日のみ実施**する研修

アクセスするアプリケーション（Microsoft Teams など）を研修案内等で確認します。

オンデマンド配信：定められた**視聴期間内に研修動画を視聴**する研修

②集合研修：研修を受講される皆さんが研修会場に集合して受講する研修

<table>
<tr><td rowspan="2">名称</td><td colspan="3">オンライン研修</td><td>集合研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">ライブ配信</td><td>オンデマンド配信</td><td></td></tr>
<tr><td>研修案内標記</td><td>オンライン研修
（ライブ配信双方向）</td><td>オンライン研修
（ライブ配信一方向）</td><td>オンライン研修
（オンデマンド配信）</td><td>集合研修</td></tr>
<tr><td>研修日</td><td colspan="2">研修受講日のみ（アーカイブ配信無し）</td><td>視聴期間内</td><td>研修受講日のみ</td></tr>
<tr><td>受講場所</td><td colspan="2">所属校で受講</td><td>所属校で視聴</td><td>研修会場で受講</td></tr>
<tr><td>アプリケーション</td><td>Microsoft Teams など</td><td>YouTube など</td><td>YouTube など</td><td></td></tr>
<tr><td>受講確認</td><td colspan="3">受講者アンケート
（事前レポート・報告書などの課題等）</td><td>二次元コード
受講者アンケート</td></tr>
<tr><td rowspan="2">研修受講準備等</td><td colspan="3">アクセスする URL を確認
研修資料があるかを確認</td><td rowspan="2">研修会場を確認
持参するものを確認</td></tr>
<tr><td>ヘッドセットを準備
接続テストへの参加</td><td></td><td>視聴期間を確認
繰り返し視聴が可能</td></tr>
</table>

※オンライン研修と集合研修を組み合わせて実施する場合もあります。

研修案内で確認してください。

例：事前にオンデマンド配信で視聴（事前課題含む）＋集合研修（その内容も基にした演習・協議）

研修の分類

オンライン研修

Web を介して受講する研修

ライブ配信

リアルタイムで Web 上の研修に参加

双方向

Web 会議システム

一方向

YouTube など

オンデマンド配信

収録した動画を一定期間に視聴

マイ・キャリア・ノート内動画をダウンロード、YouTube など

集合研修

研修会場に集まり受講する研修

受講者が研修会場まで出張し、一堂に会して参加

- 東京都教職員研修センター
- 都内公立学校
- 都立多摩図書館
- その他

各研修と東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標との関連

○研修案内への記載に

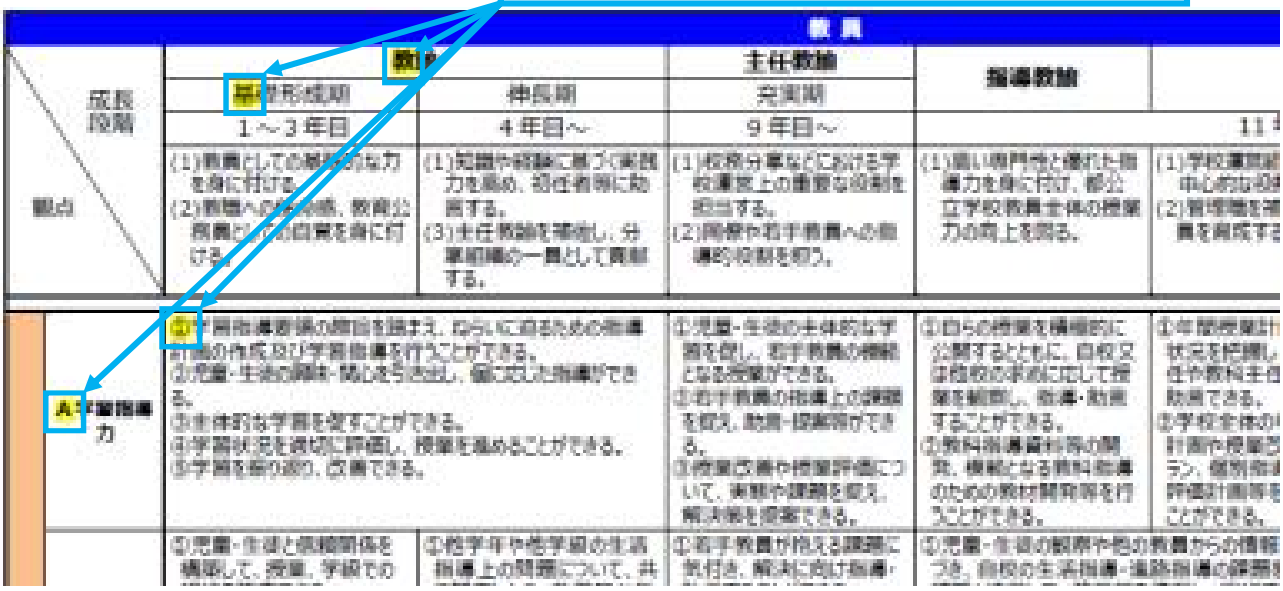
東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に番号と記号を付けています。それぞれの研修のページには、研修ごとに教員育成指標に示された能力との関連を明示しています。

また、「研修形態」の欄に集合研修、オンライン研修などの研修形態の組み合わせを掲載しています。

例：東京都若手教員育成研修

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	4月1日（金）	14:00～16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	教基E①	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
2 3	4月4日（月）	9：30～16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等	教基D①② 教基C①② 教基B①②	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
4	5月9日（月）～5月30日（月）	勤務時間	・学習指導要領と教育課程 ・学習指導案の作成（単元の構想）	教基A①②③ 教基D①	動画・演習	各勤務場所
5	5月31日（火）又は6月3日（金）	13:30～16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成（本時案の検討）	教基E① 教基A①②③	集合	東京都教職員研修センター
6	7月9日	13:30～16:30	・授業改善のPDCA	教基A④⑤	集合	東京都教職員

例：「教基 A①」を研修案内に明記



東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標　　番号付

成長段階の設定　成長段階については、教員が目指すべきキャリアステージが職層と一致するよう、その職層に応じて身に付けるべき能力を「人材育成の基本的な事項」として示します。

教員

観点＼成長段階	教諭 基礎形成期 1～3年目	教諭 伸長期 4年目～	主任教諭 充実期 9年目～	指導教諭 11年目～	主幹教諭 11年目～
	(1)教員としての基礎的な力を身に付ける。 (2)教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。	(1)知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に助言する。 (3)主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	(1)校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 (2)同僚や若手教員への指導的役割を担う。	(1)高い専門性と優れた指導力を身に付け、都公立学校教員全体の授業力の向上を図る。	(1)学校運営組織における中心的な役割を担う。 (2)管理職を補佐し、教員を育成する。
人材育成の基本的な事項 **A 学習指導力**	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、ねらいに迫るための指導計画の作成及び学習指導を行うことができる。 ②児童・生徒の興味・関心を引き出し、個に応じた指導ができる。 ③主体的な学習を促すことができる。 ④学習状況を適切に評価し、授業を進めることができる。 ⑤学習を振り返り、改善できる。		①児童・生徒の主体的な学習を促し、若手教員の模範となる授業ができる。 ②若手教員の指導上の課題を捉え、助言・提案等ができる。 ③授業改善や授業評価について、実態や課題を捉え、解決策を提案できる。	①自らの授業を積極的に公開するとともに、自校又は他校の求めに応じて授業を観察し、指導・助言することができる。 ②教科指導資料等の開発、模範となる教科指導のための教材開発等を行うことができる。	①年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言できる。 ②学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、個別指導計画、評価計画等を作成することができる。
B 生活指導力・進路指導力	①児童・生徒と信頼関係を構築して、授業、学級での規律を確立できる。 ②生活指導上の問題に直面した際、他の教員に相談しながら解決できる。 ③児童・生徒の状況に応じたキャリア教育の計画を立てることができる。	①他学年や他学級の生活指導上の問題について、共に対応したり、効果的な指導方法について助言したりできる。 ②児童・生徒の個性や能力の伸長並びに社会性の育成を通して自己実現を図る指導を行うことができる。	①若手教員が抱える課題に気付き、解決に向け指導・助言することができる。 ②児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。 ③自校の課題について、解決策を提案することができる。	①児童・生徒の観察や他の教員からの情報収集に基づき、自校の生活指導・進路指導の課題を捉え、管理職と連携して、改善策を提案し、実行することができる。 ②指導方針や指導方法の徹底に向け主任教諭等への指示や連絡・調整を行うことができる。 ③児童・生徒の個性や能力を把握し、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画・実施を行うことができる。	
C 外部との連携・折衝力	①課題に応じて保護者や地域、外部機関と連携を図り、学年主任の助言に基づいて、解決に向けて取り組むことができる。 ②保護者会等の進め方を理解し、保護者に伝える内容を整理するとともに、信頼関係を構築することができる。	①保護者・地域・外部機関と協働し、課題を解決することができる。 ②学校からの情報発信や広報、外部からの情報収集を適切に行うことができる。	①外部機関等に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 ②保護者・地域・外部機関と協働し、教育活動をより高いものにできる。	①保護者・地域・外部機関からの苦情や要請に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 ②模範授業及び公開授業を実施し、教科等の指導技術を普及することができる。	③外部への情報発信や広報について、管理職と連携して、ねらいに基づいた計画を立て、実施することができる。
D 学校運営力・組織貢献力	①組織の一員として校務に積極的に参画できる。 ②上司や先輩へ適切に報告・連絡・相談するなど、円滑なコミュニケーションを図り校務を遂行できる。	①担当する校務分掌についての企画・立案や改善策を提案できる。 ②上司や同僚とコミュニケーションを図りながら、円滑に校務を遂行できる。	①主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、教諭等に指導・助言ができる。 ②学校の課題を捉え、校長・副校長に対応策等について提案できる。	①各会議や校務を遂行する場において、校長の経営方針を周知徹底し、学校運営を行うことができる。 ②教科指導力向上に必要な研修や校内研究等の企画を提案し、実施できる。	②校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して学校運営をすることができる。
E 教育課題に関する対応力	①教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。	①教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献できる。	①教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、同僚や若手教員に対して適切な助言ができる。	①教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して適切に指導・助言できる。	

教育管理職候補者

(1)副校長として必要な学校運営ができる力を身に付ける。
(2)自校の課題について、管理職の視点から解決策を立案できる。

学校マネジメントに関する事項

F 学校経営力	①学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決できる。
G 外部折衝力	①学校に対する保護者等からの要望や苦情に副校長と共に対応し、解決することができる。
H 人材育成力	①学校の課題解決に向けて、研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。
I 教育者としての高い見識	①東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策について学び、日頃の教育実践に生かしている。
E 教育課題に関する対応力	①教育課題についての正しい認識に基づき、自校の問題点に気付き、管理職に解決策を提案し、課題解決に向けた進行管理を行うことができる。

教育管理職

観点＼成長段階	副校長	校長
	(1)学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。	(1)教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長等の人材育成について責任をもつ。
学校マネジメントに関する事項 **F 学校経営力**	①校長の経営方針を踏まえ、学校が組織として機能するよう、全教職員を適材適所に配置して、課題を解決できる。	①学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。
G 外部折衝力	①保護者や地域、関係機関の意見や要望を的確に把握し、外部人材活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応できる。	①保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、適切に外部人材を活用した学校経営ができる。
H 人材育成力	①校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の職員に合った人材発掘と人材育成ができる。	①人事考課制度を有効に活用し、教員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成ができる。
I 教育者としての高い見識	①研修や自己啓発を通して、学校の危機管理、学校マネジメントや経営哲学等を学び、実践することができる。	①教育に対する地域、保護者等都民の期待や保護者のニーズを把握し、高い見識や教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。
E 教育課題に関する対応力	①教育課題についての高い見識をもち、自校の教育目標の実現に向けて適切に対応することができる。解決に向けた目標設定を行い、的確に役割指示と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価・改善することができる。	

東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（養護教諭）　番号付

成長段階の設定　成長段階については、教員が目指すべきキャリアステージが職層と一致するよう、その職層に応じて身に付けるべき力を示します。

養護教諭

成長段階	養護教諭		主任養護教諭	主幹教諭（養護）	教育管理職候補者
	基礎形成期	伸長期	充実期		
	1～3年目	4年目～	9年目～	11年目～	
求められる能力や役割	(1)養護教諭としての基礎的な力を身に付ける。 (2)教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。	(1)知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に助言する。 (2)主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	(1)校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 (2)同僚や若手教員への指導的役割を担う。	(1)学校運営組織における中心的な役割を担う。 (2)管理職を補佐し、教員を育成する。	(1)副校長として必要な学校運営ができる力を身に付ける。 (2)自校の課題について、管理職の視点から解決策を立案できる。
教員が身に付けるべき力 **A 学習指導力、保健管理に関する力**	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童・生徒理解に基づき、学級担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育ができる。 ②児童・生徒の健康状況を把握し、救急処置、健康診断、疾病予防などの保健管理を適切に行うことができる。		①教諭等の指導上の課題を捉え、助言・提案等ができる。 ②児童・生徒の健康状況を把握し、保健管理を適切に行い、実態や課題を捉えて解決策を提案することができる。	①年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言できる。 ②学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、個別指導計画、評価計画等を作成することができる。	**学校マネジメント能力** **F 学校経営力**：①学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決できる。 **G 外部折衝力**：①学校に対する保護者等からの要望や苦情に副校長と共に対応し、解決することができる。 **H 人材育成力**：①学校の課題解決に向けて、研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。 **I 教育者としての高い見識**：①東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策について学び、日頃の教育実践に生かしている。
B 生活指導力・進路指導力	①健康相談や心身の健康観察、情報収集を教職員と連携して行いながら、児童・生徒理解を深めることができる。 ②児童・生徒と信頼関係を構築し、生活指導上の問題に直面した際、他の教員に相談しながら解決できる。	①校内支援体制の充実及び関係機関との連携を図りながら、個別の保健指導や健康相談を行うことができる。 ②学年や学級の生活指導上の問題について、共に対応したり、効果的な指導方法について助言したりできる。	①若手教員が抱える課題に気付き、解決に向け指導・助言することができる。 ②児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。 ③自校の課題について、解決策を提案することができる。	①児童・生徒の観察や他の教員からの情報収集に基づき、自校の生活指導・進路指導の課題を捉え、管理職と連携して、改善策を提案し、実行することができる。 ②指導方針や指導方法の徹底に向け主任教諭等への指示や連絡・調整を行うことができる。 ③児童・生徒の個性や能力を把握し、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画・実施を行うことができる。	
C 外部との連携・折衝力	①課題に応じて保護者や地域、関係機関と連携を図り、上司や先輩の助言に基づいて、解決に向けて取り組むことができる。 ②健康課題の解決及び健康の保持増進について、学級担任、保護者、関係機関等と取り組むことができる。	①課題に応じて保護者や地域、関係機関と協働し、他の教員と連携しながら、課題解決することができる。 ②健康課題の解決及び健康の保持増進について、学級担任、保護者、関係機関等と連携して取り組むことができる。	①関係機関等に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 ②保護者・地域・関係機関と協働し、教育活動をより高いものにできる。	①保護者・地域・関係機関からの苦情や要請に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 ②外部への情報発信や広報について、管理職と連携して、ねらいに基づいた計画を立て、実施することができる。	
D 学校運営力・組織貢献力	①保健室経営案の作成及び適切な保健室経営、保健組織活動を行うことができる。 ②学校保健計画の策定など、組織の一員として校務に積極的に参画できる。 ③上司や先輩へ適切に報告・連絡・相談するなど、円滑なコミュニケーションを図り校務を遂行できる。	①学校の健康課題を踏まえて、保健室経営案の作成及び適切な保健室経営、保健組織活動を行うことができる。 ②学校保健計画の策定など、担当する校務分掌についての企画・立案や改善策を提案できる。 ③上司や同僚とコミュニケーションを図りながら、円滑に校務を遂行できる。	①学校の健康課題を解決するために、保健室経営案を作成し、適切な保健室経営、保健組織活動を行うことができる。 ②主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、学校保健計画の策定など担当する校務分掌の職務について、教諭等に指導・助言ができる。 ③学校の課題を捉え、校長・副校長や主幹教諭に対応策等について提案できる。	①各会議や校務を遂行する場において、校長の経営方針を周知徹底し、学校運営を行うことができる。 ②校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して学校運営をすることができる。	
E 教育課題に関する対応力	①教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。	①教育課題についての理解を深め、主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献できる。	①教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や若手教員に対して適切な助言ができる。	①教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して適切に指導・助言できる。	**E 教育課題に関する対応力**：①教育課題についての正しい認識に基づき、自校の問題点に気付き、管理職に解決策を提案し、課題解決に向けた進行管理を行うことができる。

教育管理職

求められる能力や役割	副校長	校長
	(1)学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。	(1)教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長等の人材育成について責任をもつ。
学校マネジメント能力 **F 学校経営力**	①校長の経営方針を踏まえ、学校が組織として機能するよう、全教職員を適材適所に配置して、課題を解決できる。	①学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。
G 外部折衝力	①保護者や地域、関係機関の意見や要望を的確に把握し、外部人材活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応できる。	①保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、適切に外部人材を活用した学校経営ができる。
H 人材育成力	①校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の職員に合った人材発掘と人材育成ができる。	①人事考課制度を有効に活用し、教員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成ができる。
I 教育者としての高い見識	①研修や自己啓発を通して、学校の危機管理、学校マネジメントや経営哲学等を学び、実践することができる。	①教育に対する地域、保護者等都民の期待や保護者のニーズを把握し、高い見識や教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。
	①教育課題についての高い見識をもち、自校の教育目標の実現に向けて適切に対応することができる。解決に向けた目標設定を行い、的確に役割指示と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価・改善することができる。	

東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（栄養教諭）　番号付

成長段階の設定　成長段階については、教員が目指すべきキャリアステージが職層と一致するよう、その職層に応じて身に付けるべき力を示します。

栄養教諭

成長段階	栄養教諭	主任栄養教諭	主幹教諭（栄養）
	基礎形成期･伸長期	充実期	
	１年目～	３年目～	５年目～
求められる能力や役割	(1)教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。 (2)同僚や若手教員、地区内の食育リーダー等への指導的役割を担う。 (3)学校栄養職員としての知識や経験に基づく実践力を高めつつ、主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	(1)校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 (2)同僚や若手教員、地区内の栄養教諭及び食育リーダー等への指導的役割を担い、課題に対する解決策等を提案することができる。	(1)学校運営組織における中心的な役割を担う。 (2)管理職を補佐し、教員を育成する。
教員が身に付けるべき力 A 学習指導力･学校給食の管理に関する力	①地区における食育推進に取り組み、同僚、食育リーダー、関係機関等と円滑な連携を図ることができる。 ②学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童･生徒理解に基づき、学級担任等と連携を図りながら、食に関する指導を進めるとともに、地区内の食育リーダー等からの相談に的確に応じることができる。 ③学校給食の意義及び背景を理解し、専門的な知識･技能を活用しながら、学校給食の管理を行うことができる。	①専門的な知識･技能を活用し、地区における食育推進の意義及び背景を理解した上で、地区内の状況を把握及び管理することができる。 ②地区内の栄養教諭への助言や支援及び食育リーダー等への支援を行うとともに、課題に対する解決策を提案することができる。 ③若手教員の指導上の課題を捉え、助言･提案等をすることができる。	①年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導･助言できる。 ②学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、個別指導計画、評価計画等を作成することができる。
	B 生活指導力･進路指導力	①食に関する健康課題について専門知識を有し、個々の状況に応じて、教職員へ周知を図るとともに、的確な対応ができる。 ②食に関して特別の配慮を必要とする児童･生徒に対し、校内支援体制の充実及び関係機関との連携を図りながら、個別的な指導を行うことができる。 ③生活指導上の問題について、学級担任や養護教諭等と連携して対応できる。	①若手教員が抱える課題に気付き、解決に向け指導･助言することができる。 ②児童･生徒に自己有用感をもたせることができる。 ③自校の課題について、解決策を提案することができる。	①児童･生徒の観察や他の教員からの情報収集に基づき、自校の生活指導･進路指導の課題を捉え、管理職と連携して、改善策を提案し、実行することができる。 ②指導方針や指導方法の徹底に向け主任教諭等への指示や連絡･調整を行うことができる。 ③児童･生徒の個性や能力を把握し、自己実現に向けた生活指導･進路指導の計画･実施を行うことができる。
	C 外部との連携･折衝力	①課題に応じて保護者や地域、関係機関と協働し、他の教員と連携しながら、課題を解決することができる。 ②学校からの情報発信や広報、外部からの情報収集を適切に行うことができる。	①関係機関等に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 ②保護者･地域･関係機関と協働し、教育活動をより高いものにできる。	①保護者･地域･関係機関からの苦情や要請に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 ②外部への情報発信や広報について、管理職と連携して、ねらいに基づいた計画を立て、実施することができる。
	D 学校運営力･組織貢献力	①食に関する指導の全体計画の策定など、担当する校務分掌についての企画･立案や改善策を提案できる。 ②上司や同僚とコミュニケーションを図りながら、円滑に校務を遂行できる。	①主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、教諭等に指導･助言ができる。 ②学校の課題を捉え、校長･副校長や主幹教諭に対応策等について提案できる。	①各会議や校務を遂行する場において、校長の経営方針を周知徹底し、学校運営を行うことができる。 ②校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して学校運営をすることができる。
E 教育課題に関する対応力		①教育課題についての理解を深め、主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献できる。	①教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や若手教員に対して適切な助言ができる。	①教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して適切に指導･助言できる。

教育管理職候補者

(1)副校長として必要な学校運営ができる力を身に付ける。
(2)自校の課題について、管理職の視点から解決策を立案できる。

学校マネジメント能力

F 学校経営力	①学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援･指導して課題を解決できる。
G 外部折衝力	①学校に対する保護者等からの要望や苦情に副校長と共に対応し、解決することができる。
H 人材育成力	①学校の課題解決に向けて、研修等について管理職に提案し、教職員を指導･育成することができる。
I 教育者としての高い見識	①東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策について学び、日頃の教育実践に生かしている。
E 教育課題に関する対応力	①教育課題についての正しい認識に基づき、自校の問題点に気付き、管理職に解決策を提案し、課題解決に向けた進行管理を行うことができる。

教育管理職

求められる能力や役割	副校長	校長
	(1)学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。	(1)教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長等の人材育成について責任をもつ。
学校マネジメント能力 F 学校経営力	①校長の経営方針を踏まえ、学校が組織として機能するよう、全教職員を適材適所に配置して、課題を解決できる。	①学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。
G 外部折衝力	①保護者や地域、関係機関の意見や要望を的確に把握し、外部人材活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応できる。	①保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、適切に外部人材を活用した学校経営ができる。
H 人材育成力	①校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の職員に合った人材発掘と人材育成ができる。	①人事考課制度を有効に活用し、教員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成ができる。
I 教育者としての高い見識	①研修や自己啓発を通して、学校の危機管理、学校マネジメントや経営哲学等を学び、実践することができる。	①教育に対する地域、保護者等都民の期待や保護者のニーズを把握し、高い見識や教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。
E 教育課題に関する対応力	①教育課題についての高い見識をもち、自校の教育目標の実現に向けて適切に対応することができる。解決に向けた目標設定を行い、的確に役割指示と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価･改善することができる。	

（2）「マイ・キャリア・ノート」及び「研修受講申込受付システム」を活用した研修計画作成の支援

「マイ・キャリア・ノート」及び「研修受講申込受付システム」は、教員一人一人が自身の研修履歴を確認し、研修計画を主体的に立てることにより、課題をもって自律的に研修に臨み、時代の変化や自己のキャリアステージで求められる資質・能力を生涯にわたって高めていく力を身に付ける支援を目的としています（図５）。

また、研修動画を配信し、教員が時間、場所を選ばずに視聴することも可能となっています。

教員が自らのキャリアを計画する際に活用するとともに、管理職においても、当該教員に求められる資質・能力を意識しながら、人材育成に取り組むことで、一人一人の教員の職務遂行能力を向上させ、学校全体として質の高い教育を提供することが期待されます。

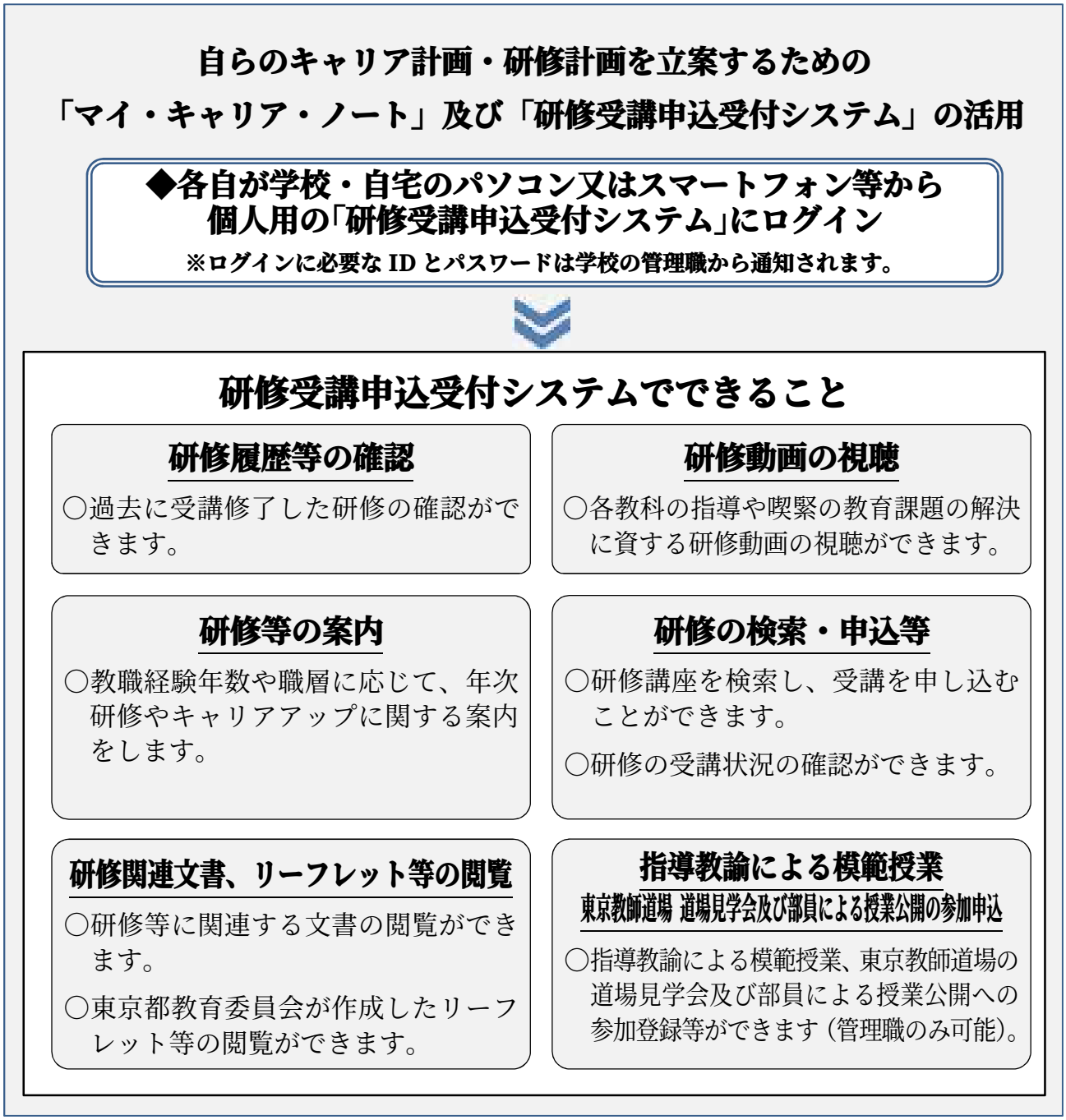
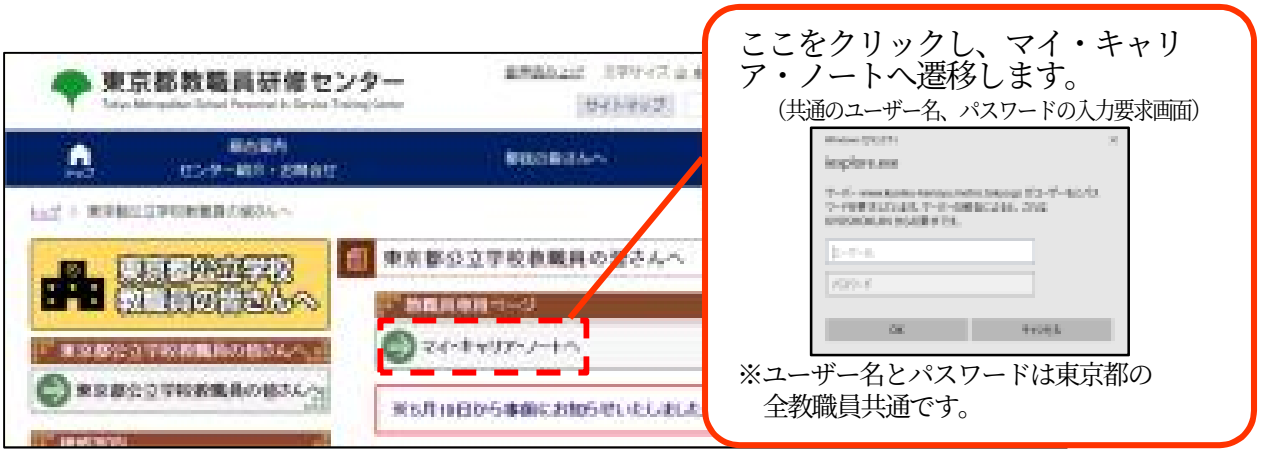


図５

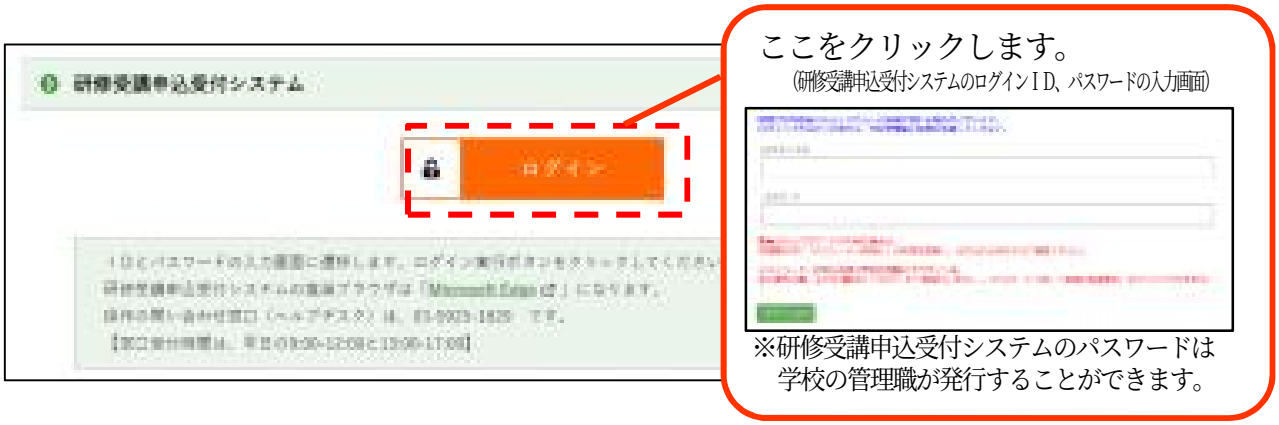
（3）マイ・キャリア・ノート及び研修受講申込受付システムのログイン方法

ア　研修センターホームページの「東京都公立学校教職員の皆さんへ」をクリック

イ　「東京都公立学校教職員の皆さんへ」ページの「マイ・キャリア・ノートへ」をクリック



ウ　「マイ・キャリア・ノート」のトップページにある「研修受講申込受付システム」のボタンをクリック



エ　「研修受講申込受付システム」ログイン後の画面

職 層 研 修

1　受講対象者

職層研修の受講対象者は、研修ごとに指定されています。詳細については、各研修の開催通知を確認してください。

2　研修日程の確認又は申込みについて

研修日程の確認又は申込みについては、研修ごとに異なります。開催通知や各研修ページを確認してください。

3　開催通知

教育経営課から、受講対象者の所属長宛て又は区市町村教育委員会等宛てに通知します。

4　研修報告書の提出について

研修報告書を提出する指示がある研修については、提出期日までに研修報告書を提出してください。各研修報告書の様式は、開催通知や研修テキスト等で確認してください。

5　研修の修了判定について（修了判定を行う研修のみ）

教育経営課から、研修生の所属長宛て又は区市町村教育委員会等宛てに通知します。

6　研修受講に当たっての留意事項

事前課題等を提出する指示がある研修については、開催通知や研修テキスト等を確認して作成し、提出期日までに提出してください。

各研修の実施要綱に基づき、30 分以上の遅刻・早退は、欠席扱いとします。

7　問合せ先

職層研修に関する問合せは、都立学校等は所属の管理職を通じて以下の各担当までお願いします。

なお、区市町村立学校は所管の教育委員会を通じて以下の各担当までお願いします。

研修	問合せ先	電話
教育管理職研修（都立学校長、都立学校副校長、統括指導主事等）	教育経営課	03-5802-0291
教育管理職候補者研修（指導主事任用時、A、B、C）		03-5802-0283
公立学校主幹教諭研修（任用時・スキルアップ）		03-5802-0294
公立学校指導教諭研修（任用時）		
公立学校主任教諭研修（任用時・任用前）		03-5802-0291
公立学校主任研修（教務、生活指導、進路指導）		
教育管理職候補者育成研修（教育行政研修）		03-5802-0283
〃　（教育管理職候補者Ｂ養成講座）		
人事考課評価者訓練		

【職層研修】研修日程等の確認について

以下の研修は、**研修生が開催通知等で、日程等を確認**してください。

研修番号	研修名
1002	東京都立学校長研修
1011	東京都公立学校校長職候補者研修
1013	東京都立学校副校長研修
1014	統括指導主事研修
1101	指導主事任用時研修
1111～1114	教育管理職候補者研修（A1年次～4年次）
1121･1122	教育管理職候補者研修（B研修Ⅱ・Ⅰ）
1131	教育管理職候補者C研修
1201	東京都公立学校主幹教諭任用時研修
1202	東京都公立学校主幹教諭スキルアップ研修
1211	東京都公立学校指導教諭任用時研修
1301	東京都公立学校主任教諭任用時研修
1302	東京都公立学校主任教諭任用前研修
1402･1404･1406	東京都公立学校主任研修（教務･生活指導･進路指導）小学校･中学校･高等学校･中等教育学校
1412･1414･1416	東京都公立学校主任研修（教務･生活指導･進路指導）特別支援学校
1501	教育行政研修
1502	教育管理職候補者B養成講座
1601	人事考課評価者訓練講師養成研修
1602	人事考課評価者訓練

★業務の都合等により指定日に受講できない場合など、研修日を変更する必要がある場合は、都立学校等は所属の管理職を通じて各研修の担当宛てにお願いします。
なお、区市町村立学校は所管の教育委員会を通じて各研修の担当宛てにお願いします。

(1)教育管理職研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1002
研修名	東京都立学校長研修
申込方法等	別途通知
ねらい	教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けます。
対象校種	小・中は都立のみ 高・特
対象教員	全都立学校長　２・３回は新任対象
特色	
研修内容	・教職員の服務管理 ・学校経営に生かすため新たな視点（仮） ・適切な会計処理 ・学校の経営改善の実際 ・学校経営計画の改善 ・学校経営に生かすための新たな視点（仮） ・ハラスメントについての理解（仮）

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中・高・特	4 月 12 日(火)	15:00-17:00	・教職員の服務管理 ・学校経営に生かすための新たな視点（仮）	長Ｆ① 長Ｉ①	集合	教職員研修センター
	2	小・中・高・特	7 月下旬～8 月	60 分	＜新任対象＞ ・適切な会計処理	長Ｆ①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校
		小・中・高・特	8 月 9 日(火)	10:30-12:30	＜新任対象＞ ・学校の経営改善の実際	長Ｆ①	集合	教職員研修センター
	3	小・中・高・特	8 月 9 日(火)	13:30-16:30	＜新任対象＞ ・学校経営計画の改善	長Ｆ①	集合	教職員研修センター
	4	小・中・高・特	1 月 17 日(火)	15:00-17:00	・学校経営に生かすための新たな視点（仮） ・ハラスメントについての理解（仮）	長Ｉ①	集合	教職員研修センター

(1)教育管理職研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1011
研修名	東京都公立学校校長職候補者研修
申込方法等	指定
ねらい	教育者として高い見識をもち、昇任直後から校長としてリーダーシップを発揮して学校経営ができる力を身に付けます。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	令和３年度東京都公立学校校長職候補者選考合格者
特色	
研修内容	・オリエンテーション ・校長職候補者に期待すること ・校長のリーダーシップ ・学校の危機管理～重大事故への対応～ ・学校の危機管理～いじめの未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対処～ ・学校経営方針（計画）の実現と人材育成 ・教職員の服務管理 ・学校事務職員の人事制度と業績評価 ・アンガーマネジメント ・学校ガバナンスとコンプライアンス ・校長への期待 ・学校経営とカリキュラム・マネジメント ・学校評価の基本的な在り方 ・学校評価と分析 ・学校経営方針（計画）の理解と作成 ・学校経営方針（計画）の作成と周知

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中・高・特	6月中旬～7月中旬	180分	・オリエンテーション ・校長職候補者に期待すること ・校長のリーダーシップ	長Ｆ①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校
	2	①中・高・特 ②小	①7月7日（木） ②7月12日（火）	9:30-12:30	・学校の危機管理 ～重大事故への対応～	長Ｆ①	集合	教職員研修センター
	3	①中・高・特 ②小	①7月7日（木） ②7月12日（火）	13:30-16:30	・学校の危機管理 ～いじめの未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対処～	長Ｆ①	集合	教職員研修センター

(1)教育管理職研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

	4	①中・高・特 ②小	①7月28日（木） ②8月4日（木）	13:30-16:30	・学校経営方針（計画）の実現と人材育成	長H①	集合	教職員研修センター
	5	小・中・高・特	7月下旬～8月	180分	・教職員の服務管理 ・学校事務職員の人事制度と業績評価 ・アンガーマネジメント ・学校ガバナンスとコンプライアンス ・校長への期待	長F① 長H①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校
	6	①小 ②中・高・特	①9月22日（木） ②9月29日（木）	9:30-12:30	・学校経営とカリキュラム・マネジメント ・学校評価の基本的な在り方	長F① 長H①	集合	教職員研修センター
	7	①小 ②中・高・特	①9月22日（木） ②9月29日（木）	13:30-16:30	・学校評価と分析	長I①	集合	教職員研修センター
	8	①小 ②中・高・特	①11月10日（木） ②11月17日（木）	9:30-12:30	・学校経営方針（計画）の理解と作成	長F①	集合	教職員研修センター
	9	①小 ②中・高・特	①11月10日（木） ②11月17日（木）	13:30-16:30	・学校経営方針（計画）の作成と周知	長F①	集合	教職員研修センター

(1)教育管理職研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1013
研修名	東京都立学校副校長研修
申込方法等	別途通知
ねらい	学校経営の視点で組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けます。
対象校種	小・中は都立のみ 高・特
対象教員	全都立学校副校長　２・３回は新任対象
特色	
研修内容	・教職員の服務管理 ・学校経営に生かすための新たな視点（仮） ・マスコミ対応と学校の危機管理の実際 ・適切な会計処理 ・副校長と経営企画室との協働の進め方 ・経営企画室との連携 ・学校経営に生かすための新たな視点（仮） ・ハラスメントについての理解（仮）

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中・高・特	4 月 14 日(木)	13:30-15:30	・教職員の服務管理 ・学校経営に生かすための新たな視点（仮）	副Ｆ① 副Ｉ①	集合	教職員研修センター
	2	小・中・高・特	7 月下旬～8 月	180 分	＜新任対象＞ ・マスコミ対応と学校の危機管理の実際 ・適切な会計処理	副Ｆ① 副Ｉ①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校
	3	小・中・高・特	8 月 23 日(火)	13:30-16:30	＜新任対象＞ ・副校長と経営企画室との協働の進め方 ・経営企画室との連携	副Ｆ①	集合	教職員研修センター
	4	小・中・高・特	1 月 19 日(木)	13:30-15:30	・学校経営に生かすための新たな視点（仮） ・ハラスメントについての理解（仮）	副Ｉ①	集合	教職員研修センター

(1)教育管理職研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1014
研修名	統括指導主事研修
申込方法等	別途通知
ねらい	教育行政や教育課題等についての理解を深め、統括指導主事等としての資質・能力の向上を図ります。
対象校種	小・中・高・特 新任のみ
対象教員	新任統括指導主事及び新任統括学校経営支援主事
特色	
研修内容	・統括指導主事等に期待すること ・指導主事・学校経営支援主事の育成と組織目標達成のための進行管理 ・日常の危機管理と組織的な対応の実際

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中・高・特	5 月 11 日 (水)	13:30-16:30	・統括指導主事等に期待すること ・指導主事・学校経営支援主事の育成と組織目標達成のための進行管理 ・日常の危機管理と組織的な対応の実際	副Ｅ① 副Ｆ① 副Ｈ①	集合	教職員研修センター

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1101
研修名	指導主事任用時研修
申込方法等	別途通知
ねらい	教育行政や学校訪問等に関する知識等の習得を通じて、指導主事としての資質・能力を向上させます。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	令和４年度に新たに指導主事、学校経営支援主事、教育庁長期社会体験（派遣）研修生、（都民安全推進本部派遣研修生を含む）となった者
特色	
研修内容	・指導主事の職務と教育行政における役割 ・人権教育の理解と推進 ・研修会等の企画・運営 ・一人１台端末の効果的な活用に向けた指導・助言の在り方 ・指導と評価の一体化の推進 ・各種調査の意義の理解と進め方 ・授業力向上のための指導・助言の在り方 ・授業観察のポイントと指導・助言の実際

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中・高・特	5月下旬予定	180分	・指導主事の職務と教育行政における役割 ・人権教育の理解と推進 ・研修会等の企画・運営	管 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属先
	2	小・中・高・特	7月中旬予定	180分	・一人１台端末の活用に向けた指導・助言の在り方 ・指導と評価の一体化の推進 ・各種調査の意義の理解と進め方	管 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属先
	3	小・中・高・特	10月25日(火)	9:30-12:30	・授業力向上のための指導・助言の在り方	管 I①	集合	教職員研修センター
	4	小・中・高・特	10月25日(火)	13:30-16:30	・授業観察のポイントと指導・助言の実際	管 I①	集合	学校

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1111
研修名	教育管理職候補者Ａ１年次研修（３Ａ）
申込方法等	別途通知
ねらい	教育課施策や教育課程等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職候補者及び指導主事として必要な資質・能力の向上を目指します。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	令和３年度教育管理職 A 選考合格者 都教育委員会が特に指定した者
特色	
研修内容	・教育施策の理解 ・教育課程の編成・実施、管理 ・特別支援教育の理解と推進

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中・高・特	5 月 25 日(水)	14:20-16:30	・第１回グループ研修	管 I①	集合	教職員研修センター
			5 月下旬予定	50 分	・教育施策の理解	管 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属先
	2	小・中・高・特	7 月 14 日(木)	14:20-16:30	・第２回グループ研修	管 F① 管 I①	集合	教職員研修センター
			7 月中旬予定	50 分	・教育課程の編成・実施、管理	管 F① 管 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属先
	3	小・中・高・特	10 月 7 日(金)	14:20-16:30	・第３回グループ研修	管 I①	集合	教職員研修センター
			10 月中旬予定	50 分	・特別支援教育の理解と推進	管 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属先

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1112
研修名	教育管理職候補者Ａ２年次研修（２Ａ）
申込方法等	別途通知
ねらい	教育施策の立案や外部折衝等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職候補者及び指導主事として必要な資質・能力の向上を目指します。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	令和２年度教育管理職Ａ選考合格者 都教育委員会が特に指定した者
特色	
研修内容	・教職員の服務管理 ・教育法規Ⅰ ・学校問題の未然防止と初期対応能力の向上

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中・高・特	5月下旬予定	180分	・教職員の服務管理 ・教育法規Ⅰ ・学校問題の未然防止と初期対応能力の向上	管 F① 管 G①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属先
	2	小・中・高・特	5月18日(水)	13:30-16:30	・第４回グループ研修	管 I①	集合	教職員研修センター
	3	小・中・高・特	6月23日(木)	13:30-16:30	・第５回グループ研修	管 I①	集合	教職員研修センター
	4	①小 ②中・高・特	①10月12日（水） ②10月14日（金）	13:30-16:30	・グループ研修報告会	管 I①	集合	教職員研修センター

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1113
研修名	教育管理職候補者Ａ３年次研修（31Ａ）
申込方法等	別途通知
ねらい	副校長の職務や所属職員の管理等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	平成 31 年度教育管理職 A 選考合格者 都教育委員会が特に指定した者
特色	
研修内容	・教育法規演習解説 ・教職員の労務管理 ・リスクマネジメント～学校における危機管理～ ・副校長に求められる組織マネジメント ・所属職員の管理 ・教育課題への対応 ・教職員のメンタルヘルス ・アンガー・マネジメント

日程等

回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	小・中・高・特	6 月上旬予定	180 分	・教育法規演習解説 ・教職員の労務管理 ・リスクマネジメント～学校における危機管理～	管 F① 管 G①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属先
2	小・中・高・特	6 月 2 日(木)	13:30-16:30	・副校長に求められる組織マネジメント	管 F① 管 H①	集合	教職員研修センター
3	①小（区部）・高 ②中・特 ③小（多摩島しょ・教育庁）	①9月9日（金） ②9 月 13 日（火） ③9 月 16 日（金）	13:30-16:30	・所属職員の管理	管 F①	集合	教職員研修センター
4	小・中・高・特	10 月 6 日(木)	13:30-16:30	・教育法規演習解説 ・教育課題への対応 ・教職員のメンタルヘルス ・アンガーマネジメント	管 F① 管 G① 管 H① 管 I①	オンライン研修（ライブ配信一方向）	所属先

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1114
研修名	教育管理職候補者Ａ４年次研修（30Ａ）
申込方法等	別途通知
ねらい	人材育成や人事考課等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	平成 30 年度教育管理職 A 選考合格者 都教育委員会が特に指定した者
特色	
研修内容	・人材育成とＯＪＴの推進 ・保護者・地域への対応 ・学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進 ・学校事務の理解 ・副校長への期待 ・人事考課評価者訓練

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中・高・特	6 月 28 日(火)	9:30-12:30	・人材育成とＯＪＴの推進	管 F① 管 H①	集合	教職員研修センター
	2	小・中・高・特	6 月 28 日(火)	13:30-16:30	・保護者・地域への対応	管 F① 管 G①	集合	教職員研修センター
	3	小・中・高・特	10 月上旬予定	180 分	・学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進 ・学校事務の理解(学校事務) ・学校事務の理解(講師任用制度) ・副校長への期待	管 F① 管 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属先
	4	小・中・高・特	9 月 30 日(金)	13:30-16:30	・人事考課評価者訓練	管 F① 管 H①	集合	教職員研修センター

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1121
研修名	教育管理職候補者Ｂ研修Ⅱ（３Ｂ）
申込方法等	別途通知
ねらい	保護者等対応や危機管理等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	令和３年度教育管理職Ｂ選考合格者
特色	
研修内容	・求められる副校長の役割 ・学校における働き方改革の推進 ・特別支援教育の理解と推進 ・学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進 ・保護者・地域への対応 ・副校長に求められる組織マネジメント ・所属職員の管理 ・アンガーマネジメント ・組織と意思決定 ・情報公開と個人情報の保護 ・教育法規演習解説 ・学校事務の理解（学校事務） ・学校事務の理解（時間講師制度） ・教職員のメンタルヘルス ・リスクマネジメント～学校における危機管理～ ・副校長への期待

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	①小（区部） ②中・特 ③小（多摩島しょ）・高	6月上旬予定	180分	・求められる副校長の役割 ・学校における働き方改革の推進 ・特別支援教育の理解と推進 ・学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進	管 F① 管 G① 管 H① 管 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属先
	2	①小（区部） ②中・特 ③小（多摩島しょ）・高	①5月31日（火） ②6月3日（金） ③6月7日（火）	13:30-16:30	・保護者・地域への対応	管 F① 管 G①	集合	教職員研修センター

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

	3	①小（多摩島しょ）・高 ②中・特 ③小（区部）	①9月9日（金） ②9月13日（火） ③9月16日（金）	9:30-12:30	・副校長に求められる組織マネジメント	管 F① 管 H①	集合	教職員研修センター
	4	①小（多摩島しょ）・高 ②中・特 ③小（区部）	①9月9日（金） ②9月13日（火） ③9月16日（金）	13:30-16:30	・所属職員の管理	管 F①	集合	教職員研修センター
	5	小・中・高・特	10月下旬	180分	・アンガーマネジメント ・組織と意思決定 ・情報公開と個人情報の保護 ・教育法規演習解説 ・学校事務の理解(学校事務) ・学校事務の理解(時間講師制度)	管 F① 管 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属先
	6	小・中・高・特	11月1日(火)	13:30-16:30	・教職員のメンタルヘルス ・リスクマネジメント～学校における危機管理～ ・副校長への期待	管 F① 管 G① 管 I①	集合	めぐろパーシモンホール

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1122
研修名	教育管理職候補者Ｂ研修Ⅰ（４Ｂ）
申込方法等	別途通知
ねらい	教育課程や人事考課制度、人材育成等に関する基礎的な知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	令和４年度教育管理職Ｂ選考合格者
特色	
研修内容	・教育法規Ⅰ・Ⅱ ・東京都の教育課題と副校長の役割 ・教職員の服務管理 ・人事考課評価者訓練 ・人材育成と 0JT の推進 ・教育課程の編成・実施、管理 ・人権教育の理解と推進 ・教職員の労務管理 ・一人１台端末の効果的な活用に向けた指導・助言の在り方

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	①小 ②中・高・特	1月中旬予定	180 分	・教育法規Ⅰ ・東京都の教育課題と副校長の役割 ・教職員の服務管理	管 F① 管 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校
	2	①小 ②中・高・特	①1 月 12 日（木） ②1 月 13 日（金）	13:30-16:30	・人事考課評価者訓練	管 F① 管 H①	集合	教職員研修センター
	3	①小（多摩島しょ・高） ②小（区部） ③中・特	①1 月 24 日（火） ②1 月 31 日（火） ③2月3日（金）	13:30-16:30	・人材育成とＯＪＴの推進	管 F① 管 H①	集合	教職員研修センター
	4 5	小・中・高・特	1月下旬予定	360 分	・教育課程の編成・実施、管理 ・教育法規Ⅱ ・人権教育の理解と推進 ・教職員の労務管理 ・一人１台端末の効果	管 F① 管 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

					的な活用に向けた指導・助言の在り方			

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1131
研修名	教育管理職候補者Ｃ研修（４Ｃ）
申込方法等	別途通知
ねらい	教育課程や人事考課制度、人材育成等に関する基礎的な知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	令和４年度教育管理職Ｃ選考合格者
特色	
研修内容	・教育法規Ⅰ・Ⅱ・演習解説 ・東京都の教育課題と副校長の役割 ・教職員の服務管理 ・人事考課評価者訓練 ・リスクマネジメント～学校における危機管理～ ・組織と意思決定 ・情報公開と個人情報の保護 ・学校事務の理解（学校事務） ・学校事務の理解（時間講師制度） ・教職員のメンタルヘルス ・アンガーマネジメント ・副校長に求められる組織マネジメント ・学校における働き方改革の推進 ・人材育成と 0JT の推進 ・学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進 ・特別支援教育の理解と推進 ・副校長への期待 ・教育課程の編成・実施、管理 ・人権教育の理解と推進 ・教職員の労務管理 ・一人１台端末の効果的な活用に向けた指導・助言の在り方

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	①小 ②中・高・特	1月中旬予定	180 分	・教育法規Ⅰ ・東京都の教育課題と副校長の役割 ・教職員の服務管理	管 F① 管 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校
	2	①小 ②中・高・特	①1 月 12 日（木） ②1 月 13 日（金）	13:30-16:30	・人事考課評価者訓練	管 F① 管 H①	集合	教職員研修センター
	3	小・中・	1月下旬	180 分	・リスクマネジメント	管 F①	オンラ	所属校

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

	高・特	予定		～学校における危機管理～ ・組織と意思決定 ・情報公開と個人情報の保護 ・学校事務の理解(学校事務) ・学校事務の理解(時間講師制度)	管 G①	イン研修(オンデマンド配信)	
4	小・中・高・特	1月 20 日(金)	13:30-16:30	・教職員のメンタルヘルス ・アンガーマネジメント ・教育法規演習解説 ・副校長に求められる組織マネジメント ・学校における働き方改革の推進	管 F① 管 G① 管 H① 管 I①	オンライン研修（ライブ配信双方向）	所属校
5	①小(多摩島しょ)・高 ②小(区部) ③中・特	①1 月 24 日（火） ②1 月 31 日（火） ③2 月 3 日（金）	13:30-16:30	・人材育成とＯＪＴの推進	管 F① 管 H①	集合	教職員研修センター
6	小・中・高・特	2月 10 日(金)	13:30-16:30	・学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進 ・特別支援教育の理解と推進 ・教育法規演習解説 ・副校長への期待	管 F① 管 I①	オンライン研修（ライブ配信一方向）	所属校
7 8	小・中・高・特	1月下旬予定	360 分	・教育課程の編成・実施、管理 ・教育法規Ⅱ ・人権教育の理解と推進 ・教職員の労務管理 ・一人１台端末の効果的な活用に向けた指導・助言の在り方	管 F① 管 I①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校

(7) 教育管理職候補者育成研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1501
研修名	教育行政研修
申込方法等	別途通知
ねらい	教育行政の仕組み及び指導主事の職務の重要性を理解し、指導主事の職務を担うための基礎的な資質・能力を育成します。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	令和４年度教育管理職Ａ選考を推薦区分で出願する者
特色	
研修内容	・指導主事の職務の実際Ⅰ・Ⅱ ・東京都の教育課題 ・課題発見及び改善の方策 ・指導主事の学校訪問に期待すること ・意思決定と文書 ・公文書の作成Ⅰ・Ⅱ ・論文解説Ⅰ・Ⅱ ・指導主事に期待すること

日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中・高・特	7 月 1 日(金)	13:30-16:30	・指導主事の職務の実際Ⅰ ・東京都の教育課題 ・課題発見及び改善の方策	管Ⅰ①	オンライン（ライブ配信双方向）	所属先
	2	小・中・高・特	7 月 15 日(金)	13:30-16:30	・指導主事の学校訪問に期待すること ・意思決定と文書 ・公文書の作成Ⅰ ・論文解説Ⅰ	管Ⅰ①	オンライン（ライブ配信双方向）	所属先
	3	小・中・高・特	8 月 22 日(月)	13:30-16:30	・公文書の作成Ⅱ ・指導主事の職務の実際Ⅱ ・論文解説Ⅱ ・指導主事に期待すること	管Ⅰ①	オンライン（ライブ配信双方向）	所属先
	4	小・中・高・特	7月～8月	6 回	・実地研修	管Ⅰ①	実習	区市町村教育委員会又は学校経営支援センター等

(7) 教育管理職候補者育成研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1502
研修名	教育管理職候補者Ｂ養成講座
申込方法等	別途通知
ねらい	教育課題についての正しい認識に基づき、自校の問題点に気付き、解決するための方策を身に付けるとともに、副校長の職務の重要性を理解し、学校運営に必要とされる基礎的な資質・能力を育成します。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	令和４年度教育管理職Ｂ選考を推薦区分で出願する者
特色	
研修内容	・副校長の役割・職務の実際 ・課題発見及び改善の方策Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	①小･中 ②小・中・高・特 ③小・中・高・特	7月上旬予定	50分	･副校長の役割･職務の実際 ・課題発見及び改善の方策Ⅰ（論文の基礎）	管 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校
			①7 月 4 日（月） ②7月5日（火） ③7月8日（金）	14:20-16:30	・課題発見及び改善の方策Ⅱ（事例演習）	管 I①	集合	教職員研修センター
	2	①小･中 ②小・中・高・特 ③小・中・高・特	7月下旬予定	50分	・東京都の教育課題	管 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校
			①7 月 25 日（月） ②7 月 26 日（火） ③7 月 29 日（金）	14:20-16:30	・課題発見及び改善の方策Ⅲ(事例演習)	管 I①	集合	教職員研修センター

(8) 人事考課評価者訓練

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1601
研修名	人事考課評価者訓練講師養成研修
申込方法等	別途通知
ねらい	人事考課評価者訓練の講師を担当するために必要な事項について理解を深めます。
対象校種	
対象教員	人事考課評価者訓練の講師を担当する区市町村教育委員会指導室（課）長、統括指導主事、校長等
特色	
研修内容	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例解説

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	人事考課評価者訓練の講師を担当する区市町村教育委員会指導室（課）長、統括指導主事、校長等	①4 月 21 日（木） ②4 月 22 日（金）	①9:30-12:30 ②13:30-16:30	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例解説	長 F① 長 H① 副 F① 副 H①	集合	教職員研修センター

(8) 人事考課評価者訓練

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1602
研修名	人事考課評価者訓練
申込方法等	別途通知
ねらい	学校における人事考課を適正に実施するための評価者・関与者としての能力を高めます。
対象校種	
対象教員	都立学校長・都立学校副校長　等
特色	
研修内容	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究 ・事例解説

日程等

回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	都立学校長	①5月6日（金） ②5月10日（火） ③5月13日（金） ④5月17日（火）	13:30-16:30	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究 ・事例解説	長 F① 長 H①	集合	①④教職員研修センター ②③都立多摩図書館
2	都立学校副校長	①5月20日（金） ②5月23日（月） ③5月24日（火） ④5月27日（金）	13:30-16:30	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究 ・事例解説	副 F① 副 H①	集合	①③教職員研修センター ②④都立多摩図書館
3	都立学校長・副校長（代替）	①②5　月30日（月） ③④6月1日（水）	①③9:30-12:30 ②④13:30-16:30	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究 ・事例解説	長 F① 長 H① 副 F① 副 H①	集合	教職員研修センター

(3) 主幹教諭研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0294〕

研修番号	1201
研修名	東京都公立学校主幹教諭任用時研修
申込方法等	指定
ねらい	主幹教諭の職責や職務内容を理解するとともに、ミドルリーダーとしての教育課題に関する対応力を高めます。
対象校種	小・中は都立・島しょのみ 高・特
対象教員	都立学校及び島しょ地域の小中学校の新任主幹教諭
特色	
研修内容	・主幹教諭の職責と職務内容について ・ミドルリーダーに求められる教育課題への対応

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中 高・特	6 月 6 日 （月）	13:30-16:30	・主幹教諭の職責と職務内容について ・ミドルリーダーに求められる教育課題への対応	幹 B① 幹 E①	集合	教職員研修センター

(3) 主幹教諭研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0294〕

研修番号	1202
研修名	東京都公立学校主幹教諭スキルアップ研修
申込方法等	指定
ねらい	主幹教諭の職責や職務内容を再確認するとともに、教育課題への組織的な対応において中心的な役割を担い、学校経営に主体的に参画する力を高めます。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	都立学校及び区市町村立学校の主幹教諭任用２年目の者
特色	
研修内容	・ミドルリーダーに求められるカリキュラム・マネジメントの推進 ・組織的なカリキュラム・マネジメントの推進

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	特	① 10月17日（月）	※	・ミドルリーダーに求められるカリキュラム・マネジメントの推進	幹 D① 幹 D② 幹 E①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校等
				14:30-16:30	・組織的なカリキュラム・マネジメントの推進		集合	教職員研修センター
	2	都立中・高	② 10月24日（月）	※	・ミドルリーダーに求められるカリキュラム・マネジメントの推進	幹 D① 幹 D② 幹 E①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校等
				14:30-16:30	・組織的なカリキュラム・マネジメントの推進		集合	教職員研修センター
	3	小区部	③ 10月31日（月）	※	・ミドルリーダーに求められるカリキュラム・マネジメントの推進	幹 D① 幹 D② 幹 E①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校等
				14:30-16:30	・組織的なカリキュラム・マネジメントの推進		集合	教職員研修センター

(3) 主幹教諭研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0294〕

	4	小 市部	④ 11月14日 （月）	※	・ミドルリーダーに求められるカリキュラム・マネジメントの推進	幹 D① 幹 D② 幹 E①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校等
				14:30-16:30	・組織的なカリキュラム・マネジメントの推進		集合	教職員研修センター
	5	中	⑤ 11月21日 （月）	※	・ミドルリーダーに求められるカリキュラム・マネジメントの推進	幹 D① 幹 D② 幹 E①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校等
				14:30-16:30	・組織的なカリキュラム・マネジメントの推進		集合	教職員研修センター

※　動画については、9月中旬～11月下旬までの期間のうち受講日の前日までに視聴して、事前課題を作成する。

(4) 指導教諭研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0294〕

研修番号	1211
研修名	東京都公立学校指導教諭任用時研修
申込方法等	指定
ねらい	指導教諭の職責や職務内容を理解するとともに、具体的な指導・助言についての資質・能力を高めます。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	都立学校及び区市町村立学校の新任指導教諭
特色	
研修内容	・指導教諭の職責と職務内容 ・指導・助言能力の向上

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中 高・特	5 月 16 日 (月)	13:30-16:30	・指導教諭の職責と職務内容 ・指導・助言能力の向上	指 A① 指 A②	集合	教職員研修センター

(5)主任教諭研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1301
研修名	東京都公立学校主任教諭任用時研修
申込方法等	指定
ねらい	主任教諭として授業や分掌業務を行う上での助言・支援の方法を学ぶとともに主幹教諭の補佐、各分掌間での業務の調整など学校運営上の重要な役割を担う能力を育成します。
対象校種	小・中は都立・島しょのみ 高・特
対象教員	・都立学校新任主任教諭、新任主任養護教諭及び新任主任栄養教諭 ・島しょ地域の小中学校に在籍する新任主任教諭、新任主任養護教諭及び新任主任栄養教諭
特色	
研修内容	・問題解決力の向上（学校編） ・問題解決力の向上（基礎編） ・問題解決力の向上（実践編）

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中 高・特	7 月 27 日 (水)	13:30-16:30	・問題解決力の向上(学校編) ・問題解決力の向上(基礎編) ・問題解決力の向上(実践編)	任 D① 任 D②	集合	教職員研修センター
	2	小・中 高・特	8 月 2 日 (火)	13:30-16:30	・問題解決力の向上(学校編) ・問題解決力の向上(基礎編) ・問題解決力の向上(実践編)	任 D① 任 D②	集合	教職員研修センター
	3	小・中 高・特	8 月 10 日 (水)	13:30-16:30	・問題解決力の向上(学校編) ・問題解決力の向上(基礎編) ・問題解決力の向上(実践編)	任 D① 任 D②	集合	教職員研修センター

(5)主任教諭研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1302
研修名	東京都公立学校主任教諭任用前研修
申込方法等	指定
ねらい	主任教諭に求められる役割について理解を深めるとともに主任教諭に必要な基本的な知識を習得します。
対象校種	小・中・高・特
対象教員	令和４年度主任教諭選考合格者等
特色	
研修内容	・主任教諭に期待されること ・服務事故の防止 ・これからの教員としてのキャリア ・理解度診断テスト

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中 高・特	別途通知 12月中旬 ～1月中旬	180分	・主任教諭に期待されること ・服務事故の防止 ・これからの教員としてのキャリア ・理解度診断テスト	任A② 任B② 任D① 任D② 任E①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校

(6)公立学校主任研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1402
研修名	東京都公立学校主任研修（教務）
申込方法等	別途通知
ねらい	公立小学校・中学校及び都立中学校・高等学校・中等教育学校における教務の在り方について見識を高めるとともに、教務主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。
対象校種	小・中は都立、島しょ新任のみ 高
対象教員	都立小学校・中学校・高等学校・中等教育学校の教務主任 島しょ地域の小・中学校に在籍する新任教務主任
特色	
研修内容	・教育課題への対応等

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中 高	5月上旬 ～6月下旬	40分	・教育課題への対応等	幹 D② 幹 E①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校
			6月9日 (木)	14:10-16:30			集合	教職員研修センター

(6)公立学校主任研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1404
研修名	東京都公立学校主任研修（生活指導）
申込方法等	別途通知
ねらい	都立中学校・高等学校・中等教育学校における生活指導の在り方について見識を高めるとともに、生活指導主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。
対象校種	小・中は都立のみ 高
対象教員	都立小学校・中学校・高等学校・中等教育学校の生活指導主任
特色	
研修内容	・教育課題への対応等

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中 高	5月上旬 ～6月下旬	40分	・教育課題への対応等	幹D② 幹E①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校
			6月13日(月)	14:10-16:30			集合	教職員研修センター

(6)公立学校主任研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1406
研修名	東京都公立学校主任研修（進路指導）
申込方法等	別途通知
ねらい	都立中学校・高等学校・中等教育学校における進路指導の在り方について見識を高めるとともに、進路指導主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。
対象校種	小・中は都立のみ 高
対象教員	都立小学校・中学校・高等学校・中等教育学校の進路指導主任
特色	
研修内容	・教育課題への対応等

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	小・中 高	5月上旬 ～6月下旬	40分	・教育課題への対応等	幹D② 幹E①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校
			6月21日(火)	14:10-16:30			集合	教職員研修センター

(6)公立学校主任研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1412
研修名	東京都公立学校主任研修（教務）
申込方法等	別途通知
ねらい	都立特別支援学校における教務の在り方について見識を高めるとともに、教務主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。
対象校種	特
対象教員	都立特別支援学校の教務主任
特色	
研修内容	・教育課題への対応等

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	特	5月上旬～6月下旬	40分	・教育課題への対応等	幹D② 幹E①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校
			5月19日(木)	14:10-16:30			集合	教職員研修センター

(6)公立学校主任研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1414
研修名	東京都公立学校主任研修（生活指導）
申込方法等	別途通知
ねらい	都立特別支援学校における生活指導の在り方について見識を高めるとともに、生活指導主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。
対象校種	特
対象教員	都立特別支援学校の生活指導主任
特色	
研修内容	・教育課題への対応等

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	特	5月上旬～6月下旬	40分	・教育課題への対応等	幹D② 幹E①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校
			5月26日(木)	14:10-16:30			集合	教職員研修センター

(6)公立学校主任研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1416
研修名	東京都公立学校主任研修（進路指導）
申込方法等	別途通知
ねらい	都立特別支援学校における進路指導の在り方について見識を高めるとともに、進路指導主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。
対象校種	特
対象教員	都立特別支援学校の進路指導主任
特色	
研修内容	・教育課題への対応等

	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	特	5月上旬～6月下旬	40分	・教育課題への対応等	幹D② 幹E①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校
			6月30日(木)	14:10-16:30			集合	教職員研修センター

年 次 研 修

1　受講対象者
年次研修の受講対象者は、研修ごとに指定されています。

2　受講の確認又は申込みについて
受講の確認又は申込みについては、研修ごとに異なります。各研修ページや開催通知を確認してください。

3　各研修の詳細
各研修の詳細は、「年次研修　実施の手引」及び「研修テキスト」を参照ください。

4　問合せ先
以下の年次研修に関する問合せは、所属の管理職を通じて担当課までお願いします。

研修	問合せ先	電話
１年次(初任者)研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校) ２年次研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校) ３年次研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校) １年次(初任者)研修(都立特別支援学校) ２年次研修(都立特別支援学校) ３年次研修(都立特別支援学校) １年次(初任者)研修(小・中学校、義務教育学校の特別支援学級等) １年次(初任者)研修(島しょ都立高等学校、島しょ公立小・中学校) １年次(初任者)研修(島しょ都立特別支援学校、島しょ公立小・中学校(特別支援学級等)) 新規採用養護教諭研修(都立学校・島しょ) 新規採用養護教諭研修(公立小・中学校) 新規採用栄養教諭研修(都立学校・島しょ) 新規採用栄養教諭研修(公立小・中学校) 新規採用幼稚園教諭研修 新規採用実習助手・寄宿舎指導員研修 期限付任用教員(教諭)任用時研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校) 期限付任用教員(教諭)任用時研修(都立特別支援学校) 期限付任用教員(教諭)任用時研修(小・中学校、義務教育学校の特別支援学級等) 期限付任用教員(教諭)任用時研修(島しょ都立高等学校、島しょ公立小・中学校) 期限付任用教員(教諭)任用時研修(島しょ都立特別支援学校、島しょ公立小・中学校(特別支援学級等)) 期限付任用教員(養護教諭)任用時研修(都立学校・島しょ) 期限付任用教員(養護教諭)任用時研修(公立小・中学校)	授業力向上課(若手教員育成研修担当)	03-5802-2143
東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ 東京都公立学校中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ 東京都公立学校中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ 東京都公立幼稚園中堅教諭等資質向上研修Ⅰ 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅱ	授業力向上課(中堅教諭等資質向上研修担当)	03-5802-2226

※実施主体が区市町村教育委員会の研修は、区市町村教育委員会に問合わせてください。

(1)東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2001					
研修名		東京都若手教員育成研修　１年次(初任者)研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム	○	「別途通知」			
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」及び「教育課題に関する対応力」における基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。					
対象校種		都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校					
対象教員		令和４年度に採用された教諭のうち、都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校に在籍する者（島しょ地区を除く）					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月1日（金）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	教基 E①	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
	2 3	4月4日（月）	9：30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等	教基 D①② 教基 C①② 教基 B①②	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
	4	5月9日（月） ～ 5月30日（月）	勤務時間	・学習指導要領と教育課程 ・学習指導案の作成（単元の構想）	教基 A①②③ 教基 D①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	5	5月31日（火） 又は 6月3日（金）	13:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成（本時案の検討）	教基 E① 教基 A①②③	集合	教職員研修センター
	6	7月8日（金） 又は 7月12日（火）	13:30-16:30	・授業改善の PDCA ・自己診断 ・研究協議の進め方	教基 A④⑤	集合	教職員研修センター
	7 8	8月8日（月） 又は 8月9日（火）	9:30-16:30	・模擬授業、協議　等	教基 A①②③④⑤	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
	9	9月9日（金） 又は 9月13日（火）	13:30-16:30	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実	教基 C①② 教基 B①②	集合	教職員研修センター
	10	10月14日（金） 又は 10月18日（火）	13:30-16:30	・ＩＣＴの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現①	教基 A①②③④⑤ 教基 E① 教基 D①②	集合	教職員研修センター
	11	11月18日（金） ～ 12月9日（金）	勤務時間	・特別支援教育 ・個に応じた指導の充実	教基 E① 教基 A②	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	12	1月6日（金） 又は 1月10日（火）	13:30-16:30	・入学者選抜　等 ・学習評価の充実 ・１年次（初任者）研修のまとめ	教基 D①② 教基 A①②③④⑤	集合	教職員研修センター

(1)東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2002					
研修名		東京都若手教員育成研修　２年次研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム	○	「別途通知」			
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力のうち「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」等の実践的な指導力の促進を図ります。					
対象校種		都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校					
対象教員		原則として、令和３年度に採用された教諭のうち、都立高等学校・中等教育学校・附属中学校に在籍し、１年次（初任者）研修を修了した者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	７月 11 日（月） 又は ８月３日（水）	13:30-16:30	・主体的・対話的で深い学びの実現②（学習評価の在り方と改善）	教基 A ①②③④⑤	集合	教職員研修センター
	2	10 月３日（月） 又は 10月12日（水）	13:30-16:30	・体罰の根絶（コーチング） ・生徒理解（いじめ防止を含む）	教基 B①②	集合	教職員研修センター
	3	１月 19 日（木） ～ ２月９日（木）	勤務時間	・主権者教育 ・進路指導の在り方とキャリア教育の推進 ・２年次研修の振り返りと、３年次研修に向けて	教基 B③	オンデマンド配信・演習	各勤務場所

(1)東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2003					
研修名		東京都若手教員育成研修　３年次研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム	○	「別途通知」			
ねらい		東京都若手教員育成研修２年次研修(以下「２年次研修」という。)を修了した教員に対して、東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力のうち、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」等の課題解決力の伸長を図ります。					
対象校種		都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校					
対象教員		原則として、令和２年度に採用された教諭のうち、都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校に在籍し、２年次研修を修了した者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	５月 23 日（月） ～ ６月 13 日（月）	勤務時間	・学校運営への参画 ・関係機関との連携 ・これからの教員としてのキャリア	教基 C① 教基 D①②	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	2	１月 11 日（水） 又は ２月 10 日（金）	13:30-16:30	・主体的・対話的で深い学びの実現③（授業実践事例検討） ・若手教員育成研修のまとめ	教基 A ①②③④⑤	集合	教職員研修センター

(1)東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2011					
研修名		東京都若手教員育成研修　１年次(初任者)研修(都立特別支援学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム	○	「別途通知」			
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」及び「教育課題に関する対応力」における基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。					
対象校種		都立特別支援学校					
対象教員		令和４年度に採用された教諭のうち、都立特別支援学校に在籍する者（島しょ地区を除く）					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	４月１日（金）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	教基 E①	集合	教職員研修センター
	2 3	４月４日（月）	9：30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等	教基 C①② 教基 D①② 教基 B①②	集合	教職員研修センター
	4	５月17日（火） ～ ６月７日（火）	勤務時間	・特別支援教育の基礎・基本 ・学習指導要領の理解と学習指導案の作成	教基 A①②③ 教基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	5	６月17日（金） 又は ６月21日（火）	13:30-16:30	・個別指導計画を生かした学習指導の実際 ・学習指導案の作成及び検討 ・授業改善の PDCA	教基 A①②③	集合	教職員研修センター
	6	７月19日（火） 又は ７月22日（金）	13:30-16:30	・自己診断Ⅰ ・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・主体的・対話的で深い学びの実現①（動画による指導教諭の授業参観）	教基 E① 教基 A①②③④⑤	集合	教職員研修センター
	7 8	８月22日（月） 又は ８月23日（火）	9:30-16:30	・模擬授業、協議　等	教基 A①②③④⑤	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
	9	９月16日（金） 又は ９月20日（火）	13:30-16:30	・保護者・地域・関係機関との連携 ・特別支援学校における生活指導	教基 C①② 教基 B①②	集合	教職員研修センター
	10	10月21日（金） 又は 10月25日（火）	13:30-16:30	・特別支援学校における情報モラル教育とＩＣＴ活用 ・特別支援学校における危機管理・対応	教基 A①②③ 教基 D①② 教基 E① 教基 B①②	集合	教職員研修センター
	11	12月６日（火） ～ 12月27日（火）	勤務時間	・障害のある児童・生徒の理解 ・個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実	教基 E① 教基 C①②	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	12	１月20日（金） 又は １月31日（火）	13:30-16:30	・１年次研修のまとめ・自己診断Ⅱ ・個別指導計画に基づく学習評価 ・特別支援教育の推進者として若手教員に期待すること	教基 A④⑤ 教基 E①	集合	教職員研修センター

(1)東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2012					
研修名		東京都若手教員育成研修　２年次研修(都立特別支援学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム	○	「別途通知」			
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力のうち「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」等の実践的な指導力の促進を図ります。					
対象校種		都立特別支援学校					
対象教員		原則として、令和３年度に採用された教諭のうち、都立特別支援学校に在籍し、１年次（初任者）研修を修了した者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7 月 6 日（水） 又は 8 月 1 日（月）	13:30-16:30	・主体的・対話的で深い学びの実現②（学習評価の在り方と改善）	教基 A ①②③④⑤	集合	教職員研修センター
	2	10 月 5 日（水） 又は 10月 13 日（木）	13:30-16:30	・体罰の根絶（コーチング） ・児童・生徒理解（いじめ防止を含む）	教基 B①②	集合	教職員研修センター
	3	1月 19 日（木） ～ 2 月 9 日（木）	勤務時間	・主権者教育 ・進路指導の在り方とキャリア教育の推進 ・２年次研修の振り返りと、３年次研修に向けて	教基 B③	オンデマンド配信・演習	各勤務場所

(1)東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2013					
研修名		東京都若手教員育成研修　３年次研修(都立特別支援学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム	○	「別途通知」			
ねらい		東京都若手教員育成研修２年次研修(以下「２年次研修」という。)を修了した教員に対して、東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力のうち、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」等の課題解決力の伸長を図ります。					
対象校種		都立特別支援学校					
対象教員		原則として、令和２年度に採用された教諭のうち、都立特別支援学校に在籍し、２年次研修を修了した者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	５月 26 日（木） ～ ６月 16 日（木）	勤務時間	・学校運営への参画 ・関係機関との連携 ・これからの教員としてのキャリア	教基 C① 教基 D①②	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	2	１月 18 日（水） 又は １月 23 日（月）	13:30-16:30	・主体的・対話的で深い学びの実現③（授業実践事例検討） ・若手教員育成研修のまとめ	教基 A ①②③④⑤	集合	教職員研修センター

(1)東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2021					
研修名		東京都若手教員育成研修　１年次(初任者)研修(小・中学校特別支援学級等)					
申込方法等		研修受講申込受付システム		「別途通知」（希望制）	○		
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」及び「教育課題に関する対応力」における基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。					
対象校種		区市町村立学校の特別支援学級等					
対象教員		令和４年度に区市町村立学校の特別支援学級等に教諭として採用された者のうち、各区市町村教育委員会が定める者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	６月 22 日(水) ～ ７月 13 日(水)	勤務時間	・障害のある児童・生徒の医療と心理 ・障害のある児童・生徒に対する教育について	教基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	2	11 月１日(火) ～ 11月 22 日(火)	勤務時間	・特別支援学級の教育課程 ・特別支援学級における授業づくり	教基 A①②③④⑤ 教基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	3	12月 15 日(木) ～ １月５日(木)	勤務時間	・個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実 ・授業改善の PDCA～学習指導案の作成を通して～	教基 A①②③④⑤ 教基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所

(1)東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2022					
研修名		東京都若手教員育成研修　１年次（初任者）研修（島しょ都立高等学校、島しょ公立小・中学校）					
申込方法等		研修受講申込受付システム	都立	「別途通知」		小・中	
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」及び「教育課題に関する対応力」における基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。					
対象校種		島しょ都立高等学校、島しょ小・中学校					
対象教員		令和４年度に採用された教諭のうち、島しょ地区の都立高等学校、公立小・中学校に在籍する者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月1日（金）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	教基 E①	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	国立オリンピック記念青少年総合センター
	2 3	4月4日（月）	9：30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等	教基 D①② 教基 C①② 教基 B①②	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	国立オリンピック記念青少年総合センター
	4	5月9日（月） ～ 5月30日（月）	勤務時間	・学習指導要領と教育課程 ・学習指導案の作成（単元の構想）	教基 A①②③ 教基 D①	動画・演習	各勤務場所
	5 6	8月4日（木）	9:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成（本時案の検討） ・授業改善の PDCA ・研究協議の進め方	教基 E① 教基 A ①②③④⑤	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	7 8	8月5日（金）	9:30-16:30	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実 ・ＩＣＴの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現①	教基 C①② 教基 B①② 教基 A ①②③④⑤ 教基 E① 教基 D①②	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	9 10	8月8日（月）	9:30-16:30	・模擬授業、協議等	教基 A ①②③④⑤	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
	11	11月18日（金） ～ 12月9日（金）	勤務時間	・特別支援教育 ・個に応じた指導の充実	教基 E① 教基 A②	動画・演習	各勤務場所
	12	1月6日（金）	13:30-16:30	・入学者選抜　等 ・学習評価の充実 ・１年次（初任者）研修のまとめ	教基 D①② 教基 A ①②③④⑤	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター

(1)東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2023					
研修名		東京都若手教員育成研修　１年次（初任者）研修（島しょ都立特別支援学校、島しょ公立小・中学校（特別支援学級等））					
申込方法等		研修受講申込受付システム	都立	「別途通知」		小・中	
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」及び「教育課題に関する対応力」における基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。					
対象校種		島しょ都立特別支援学校、島しょ小・中学校（特別支援学級等）					
対象教員		令和４年度に採用された教諭のうち、島しょ地区の都立特別支援学校、公立小・中学校（特別支援学級等）に在籍する者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月1日（金）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	教基 E①	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	2 3	4月4日（月）	9：30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度等	教基 D①② 教基 C①② 教基 B①②	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	4	5月17日（火） ～ 6月7日（火）	勤務時間	・特別支援教育の基礎・基本 ・学習指導要領の理解と学習指導案の作成	教基 A①②③ 教基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	5 6	8月4日（木）	9:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成（本時案の検討） ・授業改善の PDCA ・研究協議の進め方	教基 E① 教基 A①②③④⑤	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	7 8	8月5日（金）	9:30-16:30	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実 ・ＩＣＴの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現①	教基 C①② 教基 B①② 教基 A①②③④⑤ 教基 E① 教基 D①②	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	9 10	8月22日（月）	9:30-16:30	・模擬授業、協議　等	教基 A①②③④⑤	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
	11	12月6日（火） ～ 12月27日（火）	勤務時間	・障害のある児童・生徒の理解 ・個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実	教基 E① 教基 C①②	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	12	1月20日（金）	13:30-16:30	・１年次研修のまとめ・自己診断Ⅱ ・個別指導計画に基づく学習評価 ・特別支援教育の推進者として若手教員に期待すること	教基 A①②③④⑤ 教基 E①	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター

(2) 新規採用者研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2131					
研修名		東京都公立学校　新規採用養護教諭研修（都立学校・島しょ）					
申込方法等		研修受講申込受付システム	都立	別途通知		島しょ	
ねらい		東京都公立学校の新規採用養護教諭に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。					
対象校種		都立学校、島しょ都立、島しょ小・中学校					
対象教員		令和４年度に採用された養護教諭のうち、都立学校及び島しょ地区の都立学校、公立小・中学校に在籍する者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	４月１日（金）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	養基 E①	集合 ※島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	国立オリンピック記念青少年総合センター又は教職員研修センター
	2 3	４月４日（月）	9：30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等	養基 C①② 養基 D②③ 養基 B①②	集合 ※島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	国立オリンピック記念青少年総合センター又は教職員研修センター
	4 5	５月 16 日（月）	9:30-16：30	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習	養基 E① 養基 A② 養基 D①	集合	教職員研修センター
	6	6月15日(水)～7月6日(水)	勤務時間	・学習指導案の立案と授業の実際、ICT の活用 ・アレルギー疾患への対応	養基 A①② 養基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	7	７月 15 日（金）	13:30-16:30	・救急処置の理論と実際 ・保健教育の充実、学習指導要領の理解	養基 A①② 養基 E①	集合 ※島しょ都立、島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	8 9	８月 19 日（金）	9:30-16:30	・模擬授業の発表 ・保健室経営の充実	養基 A① 養基 D①	集合	教職員研修センター
	10	９月 15 日（木）	13:30-16:30	・健康相談の理論と実際（いじめ・虐待の予防及び対応を含む） ・健康上配慮を要する児童・生徒への関わり（不登校への対応含む）	養基 B①② 養基 E① 養基 A② 養基 C②	集合 ※島しょ都立、島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	11	10月17日(月)～11 月７日(月)	勤務時間	・障害のある児童・生徒との関わり及び関係機関との連携 ・保護者とのよりよい関係のつくり方	養基 C①② 養基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	12	12 月２日（金）	13:30-16:30	・学校保健計画の作成と活用 ・新規採用養護教諭研修のまとめ	養基 D② 養基 E①	集合 ※島しょ都立、島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター

(2) 新規採用者研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2132					
研修名		東京都公立学校　新規採用養護教諭研修（小・中学校）					
申込方法等		研修受講申込受付システム		別途通知	○		
ねらい		東京都公立学校の新規採用養護教諭に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。					
対象校種		東京都公立小・中学校					
対象教員		令和４年度に採用された養護教諭のうち、島しょ地区以外の東京都公立小・中学校に在籍する者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1 2	5月16日（月）	9:30-16：30	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習	養基 E① 養基 A② 養基 D①	集合	教職員研修センター
	3	6月15日(水)～ 7月6日(水)	勤務時間	・学習指導案の立案と授業の実際、ICTの活用 ・アレルギー疾患への対応	養基 A①② 養基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	4	7月15日（金）	13:30-16:30	・救急処置の理論と実際 ・保健教育の充実、学習指導要領の理解	養基 A①② 養基 E①	集合	教職員研修センター
	5 6	8月19日（金）	9:30-16:30	・模擬授業の発表 ・保健室経営の充実	養基 A① 養基 D①	集合	教職員研修センター
	7	9月15日（木）	13:30-16:30	・健康相談の理論と実際 （いじめ・虐待の予防及び対応を含む） ・健康上配慮を要する児童・生徒への関わり（不登校への対応含む）	養基 B①② 養基 E① 養基 A② 養基 C②	集合	教職員研修センター
	8	10月17日(月)～ 11月7日(月)	勤務時間	・障害のある児童・生徒との関わり及び関係機関との連携 ・保護者とのよりよい関係のつくり方	養基 C①② 養基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	9	12月2日（金）	13:30-16:30	・学校保健計画の作成と活用 ・新規採用養護教諭研修のまとめ	養基 D② 養基 E①	集合	教職員研修センター

(2) 新規採用者研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2141				
研修名		東京都公立学校　新規採用栄養教諭研修（都立学校・島しょ）				
申込方法等		研修受講申込受付システム	都立	別途通知		島しょ
ねらい		栄養教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を身に付けます。				
対象校種		都立学校、島しょ都立、島しょ小・中学校				
対象教員		令和４年度に採用された栄養教諭				
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	４月１日（金）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	栄基 E①	集合 ※島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	国立オリンピック記念青少年総合センター 又は教職員研修センター
	2 3	４月４日（月）	9：30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等	栄基 C① 栄基 D② 栄基 B③	集合 ※島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	国立オリンピック記念青少年総合センター又は教職員研修センター
	4	５月 11 日（水）	13:30-16:30	・研修ガイダンス ・食に関する指導の実践 ・学習指導要領に基づいた計画の作成	栄基 A①②③	集合 ※島しょ都立、島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	5	６月 15 日(水)～７月６日(水)	勤務時間	・学習指導案の立案と授業の実際、ICT の活用 ・アレルギー疾患への対応	栄基 A②③ 栄基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	6	6月下旬 又は7月上旬 （別途通知）	13:30-16:30	・授業研究 ・本時の授業について学習指導案から学ぶ食に関する指導の工夫	栄基 A②③ 栄基 E①	集合	学校会場 （別途通知）
	7	７月 20 日（水）	13:30-16:30	・学習指導案の検討	栄基 A②	集合 ※島しょ都立、島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	8 9	８月５日（金）	9:30-16:30	・模擬授業 ・協議の進め方	栄基 A②	集合	教職員研修センター
	10	９月 12 日（月）	13:30-16:30	・教員に求められる４つの力と栄養教諭に期待すること ・研修のまとめ	栄基 B①② 栄基 C② 栄基 D①②	集合 ※島しょ都立、島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター

(2) 新規採用者研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2142					
研修名		東京都公立学校　新規採用栄養教諭研修（小・中学校）					
申込方法等		研修受講申込受付システム		別途通知	○		
ねらい		栄養教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を身に付けます。					
対象校種		東京都公立小・中学校に在籍する者					
対象教員		令和４年度に採用された栄養教諭					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	5月11日（水）	13:30-16:30	・研修ガイダンス ・食に関する指導の実践 ・学習指導要領に基づいた計画の作成	栄基 A①②③	集合	教職員研修センター
	2	6月15日(水)～7月6日(水)	勤務時間	・学習指導案の立案と授業の実際、ICTの活用 ・アレルギー疾患への対応	栄基 A②③ 栄基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	3	6月下旬又は7月上旬(別途通知)	13:30-16:30	・授業研究 ・本時の授業について学習指導案から学ぶ食に関する指導の工夫	栄基 A①②	集合	学校会場
	4	7月20日（水）	13:30-16:30	・学習指導案の検討	栄基 A②	集合	教職員研修センター
	5 6	8月5日（金）	9:30-16:30	・模擬授業 ・協議の進め方	栄基 A②	集合	教職員研修センター
	7	9月12日（月）	13:30-16:30	・教員に求められる４つの力と栄養教諭に期待すること ・研修のまとめ	栄基 B①② 栄基 C② 栄基 D①②	集合	教職員研修センター

(2) 新規採用者研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2151				
研修名		東京都公立幼稚園　新規採用幼稚園教諭研修				
申込方法等		研修受講申込受付システム		「別途通知」	○	
ねらい		東京都公立幼稚園の新規採用幼稚園教諭に対して、教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにします。				
対象校種		公立幼稚園				
対象教員		令和４年度に採用された幼稚園教諭				
日程等	回	実施日	時間	内容	研修形態	会場
	1	４月 21 日（木）	13:30-16:30	・研修ガイダンス ・幼稚園教諭としての心構え ・人権教育の推進（いじめ、体罰、児童虐待等）	集合	東京都教職員研修センター
	2	５月 19 日（木）	13:30-16:30	・指導計画の作成と保育記録の方法 ・食物アレルギーへの対応	集合	東京都教職員研修センター
	3 4	６月９日（木）	9:00-16:30	・保育観察Ⅰ 「教師の援助と環境の構成」 －自己の課題解決に向けて－	集合	園会場
	5	７月７日（木） ～ ７月 21 日（木）	勤務時間	・教材研究の実際① ・保護者との連携 ・指導要録の作成	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	6	10 月６日（木）	13:30-16:30	・教材研究の実際② ・幼児理解に基づいた評価（観察研究、ビデオカンファレンス等）	集合	東京都教職員研修センター
	7 8	11月17日（木）	9:00-16:30	・保育観察Ⅱ 「教師の援助と環境の構成」 －保育のねらいと評価－	集合	園会場
	9	12 月８日（木）	13:30-16:30	・配慮を要する幼児の理解と指導	集合	東京都教職員研修センター
	10	１月 12 日（木）	13:30-16:30	・就学前教育と小学校教育の円滑な接続について ・これからの幼児教育について ・１年間の自己の成果と課題の明確化、課題解決に向けての方策	集合	東京都教職員研修センター

(2) 新規採用者研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2161				
研修名		東京都立学校　新規採用実習助手・寄宿舎指導員研修				
申込方法等		研修受講申込受付システム	○	「別途通知」		
ねらい		東京都立学校の新規採用実習助手・寄宿舎指導員に対して実習助手・寄宿舎指導員の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得られるようにします。				
対象校種		都立高等学校等・都立特別支援学校				
対象教員		令和４年度に採用された実習助手・寄宿舎指導員のうち、都立学校に在籍する者				
日程等	回	実施日	時間	内容	研修形態	会場
	1	4 月 1 日（金）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター（高等学校等） 教職員研修センター（特別支援学校）
	2 3	4 月 4 日（月）	9：30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター（高等学校等） 教職員研修センター（特別支援学校）
	4	6月（別途通知）	13:30-16:30	授業観察 「授業準備の視点」 ・危機管理 ・機材管理 ・教場の整備 ・実習助手の役割	集合	学校
	5	7月（別途通知）	13:30-16:30		集合	学校
	6	9月（別途通知）	13:30-16:30	授業観察 「組織的な学校運営」 ・授業のねらいに即した教育活動 ・新規採用実習助手研修のまとめ	集合	学校

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2401					
研修名		東京都公立学校　期限付任用教員（教諭）任用時研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム	○	「別途通知」			
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員(教諭)の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。					
対象校種		都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校					
対象教員		令和４年度に都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校に任用された期限付任用教員（教諭）のうち、これまでに本研修を受講していない者（島しょ地区を除く）					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	４月１日（金）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	教基 E①	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
	2 3	４月４日（月）	9：30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等	教基 D①② 教基 C①② 教基 B①②	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
	4	５月９日（月） ～ ５月 30 日（月）	勤務時間	・学習指導要領と教育課程 ・学習指導案の作成（単元の構想）	教基 A①②③ 教基 D①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	5	５月 31 日（火） 又は ６月３日（金）	13:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成（本時案の検討）	教基 E① 教基 A①②③	集合	教職員研修センター
	6	７月８日（金） 又は ７月 12 日（火）	13:30-16:30	・授業改善の PDCA ・自己診断 ・研究協議の進め方	教基 A④⑤	集合	教職員研修センター
	7 8	８月８日（月） 又は ８月９日（火）	9:30-16:30	・模擬授業、協議　等	教基 A①②③④⑤	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
	9	９月９日（金） 又は ９月 13 日（火）	13:30-16:30	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実	教基 C①② 教基 B①②	集合	教職員研修センター
	10	10月14日（金） 又は 10月18日（火）	13:30-16:30	・ＩＣＴの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現①	教基 A①②③④⑤ 教基 E① 教基 D①②	集合	教職員研修センター
	11	11月18日（金） ～ 12 月９日（金）	勤務時間	・特別支援教育 ・個に応じた指導の充実	教基 E① 教基 A②	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	12	１月６日（金） 又は １月 10 日（火）	13:30-16:30	・入学者選抜　等 ・学習評価の充実 ・１年次（初任者）研修のまとめ	教基 D①② 教基 A①②③④⑤	集合	教職員研修センター

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2411					
研修名		東京都公立学校　期限付任用教員（教諭）任用時研修(都立特別支援学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム	○	「別途通知」			
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員(教諭)の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。					
対象校種		都立特別支援学校					
対象教員		令和４年度に都立特別支援学校に任用された期限付任用教員（教諭）のうち、これまでに本研修を受講していない者（島しょ地区を除く）					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4 月 1 日（金）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	教基 E①	集合	教職員研修センター
	2 3	4 月 4 日（月）	9：30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等	教基 C①② 教基 D①② 教基 B①②	集合	教職員研修センター
	4	５月 17 日（火） ～ ６月 7 日（火）	勤務時間	・特別支援教育の基礎・基本 ・学習指導要領の理解と学習指導案の作成	教基 A①②③ 教基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	5	６月 17 日（金） 又は ６月 21 日（火）	13:30-16:30	・個別指導計画を生かした学習指導の実際 ・学習指導案の作成及び検討 ・授業改善の PDCA	教基 A①②③	集合	教職員研修センター
	6	７月 19 日（火） 又は ７月 22 日（金）	13:30-16:30	・自己診断Ⅰ ・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・主体的・対話的で深い学びの実現①（動画による指導教諭の授業参観）	教基 E① 教基 A①②③④⑤	集合	教職員研修センター
	7 8	８月 22 日（月） 又は ８月 23 日（火）	9:30-16:30	・模擬授業、協議　等	教基 A ①②③④⑤	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
	9	９月 16 日（金） 又は ９月 20 日（火）	13:30-16:30	・保護者・地域・関係機関との連携 ・特別支援学校における生活指導	教基 C①② 教基 B①②	集合	教職員研修センター
	10	10 月 21 日（金） 又は 10 月 25 日（火）	13:30-16:30	・特別支援学校における情報モラル教育とＩＣＴ活用 ・特別支援学校における危機管理・対応	教基 A①②③ 教基 D①② 教基 E① 教基 B①②	集合	教職員研修センター
	11	12 月 6 日（火） ～ 12 月 27 日（火）	勤務時間	・障害のある児童・生徒の理解 ・個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実	教基 E① 教基 C①②	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	12	１月 20 日（金） 又は １月 31 日（火）	13:30-16:30	・１年次研修のまとめ・自己診断Ⅱ ・個別指導計画に基づく学習評価 ・特別支援教育の推進者として若手教員に期待すること	教基 A④⑤ 教基 E①	集合	教職員研修センター

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2421					
研修名		東京都公立学校　期限付任用教員（教諭）任用時研修(小・中学校特別支援学級等)					
申込方法等		研修受講申込受付システム		「別途通知」（希望制）	○		
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員(教諭)の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。					
対象校種		区市町村立学校の特別支援学級等					
対象教員		令和４年度に区市町村立学校の特別支援学級等に期限付任用教員（教諭）として任用された者のうち、各区市町村教育委員会が定める者。また、これまでに本研修を受講していない者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	６月 22 日（水）～ ７月 13 日（水）	勤務時間	・障害のある児童・生徒の医療と心理 ・障害のある児童・生徒に対する教育について	教基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	2	11 月１日（火）～ 11月 22 日（火）	勤務時間	・特別支援学級の教育課程 ・特別支援学級における授業づくり	教基 A ①②③④⑤ 教基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	3	12月 15 日（木）～ １月５日（木）	勤務時間	・個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実 ・授業改善の PDCA～学習指導案の作成を通して～	教基 A ①②③④⑤ 教基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2431					
研修名		東京都公立学校　期限付任用教員（教諭）任用時研修（島しょ都立高等学校、島しょ公立小・中学校）					
申込方法等		研修受講申込受付システム	都立	「別途通知」		小・中	
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員(教諭)の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。					
対象校種		島しょ都立高等学校、島しょ小・中学校					
対象教員		令和４年度に島しょ地区の都立高等学校、公立小・中学校に任用された期限付任用教員（教諭）のうち、これまでに本研修を受講していない者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月1日（金）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	教基 E①	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	国立オリンピック記念青少年総合センター
	2 3	4月4日（月）	9:30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等	教基 D①② 教基 C①② 教基 B①②	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	国立オリンピック記念青少年総合センター
	4	5月9日（月） ～ 5月30日（月）	勤務時間	・学習指導要領と教育課程 ・学習指導案の作成（単元の構想）	教基 A①②③ 教基 D①	動画・演習	各勤務場所
	5 6	8月4日（木）	9:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成（本時案の検討） ・授業改善の PDCA ・研究協議の進め方	教基 E① 教基 A ①②③④⑤	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	7 8	8月5日（金）	9:30-16:30	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実 ・ＩＣＴの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現①	教基 C①② 教基 B①② 教基 A ①②③④⑤ 教基 E① 教基 D①②	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	9 10	8月8日（月）	9:30-16:30	・模擬授業、協議等	教基 A ①②③④⑤	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
	11	11月18日（金） ～ 12月9日（金）	勤務時間	・特別支援教育 ・個に応じた指導の充実	教基 E① 教基 A②	動画・演習	各勤務場所
	12	1月6日（金）	13:30-16:30	・入学者選抜　等 ・学習評価の充実 ・１年次（初任者）研修のまとめ	教基 D①② 教基 A ①②③④⑤	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2432					
研修名		東京都公立学校　期限付任用教員（教諭）任用時研修（島しょ都立特別支援学校、島しょ公立小・中学校（特別支援学級等））					
申込方法等		研修受講申込受付システム	都立	「別途通知」		小・中	
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員(教諭)の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。					
対象校種		島しょ都立特別支援学校、島しょ小・中学校（特別支援学級等）					
対象教員		令和４年度に島しょ地区の都立特別支援学校、公立小・中学校（特別支援学級等）に任用された期限付任用教員（教諭）のうち、これまでに本研修を受講していない者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月1日（金）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	教基 E①	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	2 3	4月4日（月）	9:30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度等	教基 D①② 教基 C①② 教基 B①②	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	4	5月17日（火） ～ 6月7日（火）	勤務時間	・特別支援教育の基礎・基本 ・学習指導要領の理解と学習指導案の作成	教基 A①②③ 教基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	5 6	8月4日（木）	9:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成（本時案の検討） ・授業改善の PDCA ・研究協議の進め方	教基 E① 教基 A ①②③④⑤	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	7 8	8月5日（金）	9:30-16:30	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実 ・ＩＣＴの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現①	教基 C①② 教基 B①② 教基 A ①②③④⑤ 教基 E① 教基 D①②	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	9 10	8月22日（月）	9:30-16:30	・模擬授業、協議　等	教基 A ①②③④⑤	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター
	11	12月6日（火） ～ 12月27日（火）	勤務時間	・障害のある児童・生徒の理解 ・個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実	教基 E① 教基 C①②	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	12	1月20日（金）	13:30-16:30	・１年次研修のまとめ ・自己診断Ⅱ ・個別指導計画に基づく学習評価 ・特別支援教育の推進者として若手教員に期待すること	教基 A ①②③④⑤ 教基 E①	集合 ※小・中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2441					
研修名		東京都公立学校　期限付任用教員（養護教諭）任用時研修（都立学校・島しょ）					
申込方法等		研修受講申込受付システム	都立	別途通知		島しょ	
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員（養護教諭）に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。					
対象校種		都立学校、島しょ都立、島しょ小・中学校					
対象教員		令和４年度に都立学校及び島しょ地区の都立学校、公立小・中学校に任用された期限付任用教員(養護教諭)のうち、これまでに本研修を受講していない者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	４月１日（金）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	養基 E①	集合 ※島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	国立オリンピック記念青少年総合センター又は教職員研修センター
	2 3	４月４日（月）	9:30-16：30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等	養基 C①② 養基 D②③ 養基 B①②	集合 ※島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	国立オリンピック記念青少年総合センター又は教職員研修センター
	4 5	５月 16 日（月）	9:30-16：30	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習	養基 E① 養基 A② 養基 D①	集合	教職員研修センター
	6	6月15日(水)～7月6日(水)	勤務時間	・学習指導案の立案と授業の実際、ICT の活用 ・アレルギー疾患への対応	養基 A①② 養基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	7	７月 15 日（金）	13:30-16:30	・救急処置の理論と実際 ・保健教育の充実、学習指導要領の理解	養基 A①② 養基 E①	集合 ※島しょ都立、島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	8 9	８月 19 日（金）	9:30-16:30	・模擬授業の発表 ・保健室経営の充実	養基 A① 養基 D①	集合	教職員研修センター
	10	９月 15 日（木）	13:30-16:30	・健康相談の理論と実際（いじめ・虐待の予防及び対応を含む） ・健康上配慮を要する児童・生徒への関わり（不登校への対応含む）	養基 B①② 養基 E① 養基 A② 養基 C②	集合 ※島しょ都立、島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター
	11	10月17日(月)～11月７日(月)	勤務時間	・障害のある児童・生徒との関わり及び関係機関との連携 ・保護者とのよりよい関係のつくり方	養基 C①② 養基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	12	12 月２日（金）	13:30-16:30	・学校保健計画の作成と活用 ・新規採用養護教諭研修のまとめ	養基 D② 養基 E①	集合 ※島しょ都立、島しょ小･中は集合又は動画視聴等選択	教職員研修センター

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2143〕

研修番号		2442					
研修名		東京都公立学校　期限付任用教員（養護教諭）任用時研修（小・中学校）					
申込方法等		研修受講申込受付システム		別途通知	○		
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員（養護教諭）に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。					
対象校種		東京都公立小・中学校に在籍する者					
対象教員		令和４年度に島しょ地区以外の東京都公立小・中学校に任用された期限付任用教員(養護教諭)のうち、これまでに本研修を受講していない者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1 2	5月16日（月）	9:30-16：30	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習	養基 E① 養基 A② 養基 D①	集合	教職員研修センター
	3	6月15日(水)～ 7月6日(水)	勤務時間	・学習指導案の立案と授業の実際、ICTの活用 ・アレルギー疾患への対応	養基 A①② 養基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	4	7月15日（金）	13:30-16:30	・救急処置の理論と実際 ・保健教育の充実、学習指導要領の理解	養基 A①② 養基 E①	集合	教職員研修センター
	5 6	8月19日（金）	9:30-16:30	・模擬授業の発表 ・保健室経営の充実	養基 A① 養基 D①	集合	教職員研修センター
	7	9月15日（木）	13:30-16:30	・健康相談の理論と実際（いじめ・虐待の予防及び対応を含む） ・健康上配慮を要する児童・生徒への関わり（不登校への対応含む）	養基 B①② 養基 E① 養基 A② 養基 C②	集合	教職員研修センター
	8	10月17日(月)～ 11月7日(月)	勤務時間	・障害のある児童・生徒との関わり及び関係機関との連携 ・保護者とのよりよい関係のつくり方	養基 C①② 養基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	9	12月2日（金）	13:30-16:30	・学校保健計画の作成と活用 ・新規採用養護教諭研修のまとめ	養基 D② 養基 E①	集合	教職員研修センター

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2226〕

研修番号	2201						
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ						
研修タイトル	教育法規と新たな教育課題①						
申込方法等	研修受講申込受付システム	○	別途通知				
ねらい	・職務と関連する教育法規について一層の理解を深め、若手教員への助言・支援に活かす。等						
対象校種	都立高等学校・都立特別支援学校						
対象教員	教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する高・特の主任教諭及び教諭、主任養護教諭及び養護教諭、主任栄養教諭及び栄養教諭						
特色							
研修内容							

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	7月26日(火) 7月27日(水) 8月2日(火) 8月5日(金) いずれか一つを選択して受講する。	14:00-16:30	挨拶 「オリエンテーション」 講義・演習 「教育法規」等 ※動画の配信期間及び課題については別途通知する。	教伸 E① 任 E①	オンデマンド配信・演習，同時双方向型オンライン	各勤務場所

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2226〕

研修番号	2211						
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ						
研修タイトル	人権教育と新たな教育課題②						
申込方法等	研修受講申込受付システム	○	別途通知				
ねらい	・人権教育や人権課題について理解を深め、人権感覚について若手教員へ適切な助言・支援ができる。等						
対象校種	都立高等学校・都立特別支援学校						
対象教員	教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する高・特の主任教諭及び教諭、主任養護教諭及び養護教諭、主任栄養教諭及び栄養教諭						
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	別途通知	勤務時間	講義・演習 「東京都における人権教育について」等 ※動画の配信期間及び課題については別途通知する。	教伸 E① 任 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2226〕

研修番号	2221						
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ						
研修タイトル	服務と新たな教育課題③						
申込方法等	研修受講申込受付システム	○	別途通知				
ねらい	・教職員の服務に関する法令、服務の厳正、服務事故について理解を深め、若手教員へ適切な助言・支援ができる。等						
対象校種	都立高等学校・都立特別支援学校						
対象教員	教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する高・特の主任教諭及び教諭、主任養護教諭及び養護教諭、主任栄養教諭及び栄養教諭						
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	別途通知	勤務時間	講義・演習 「服務事故の防止に向けて」等 ※動画の配信期間及び課題については別途通知する。	教伸 E① 任 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2226〕

研修番号	2231						
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ						
研修タイトル	授業研究						
申込方法等	研修受講申込受付システム	○	別途通知				
ねらい	・授業づくりの根拠や最新の知識を学び、若手教員へ適切な助言・支援ができる。						
対象校種	都立高等学校・都立特別支援学校						
対象教員	教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する高・特の主任教諭及び教諭 ※令和４年度より「2232　島しょ都立」を統合						
特色							
研修内容							

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	高 ６月 14 日 ６月 16 日 ６月 23 日 特 ６月 21 日 ６月 30 日 校種に応じて、いずれか一つを選択して受講する。	13:30-16:30	「授業研究オリエンテーション」 （高） 講義・演習 「学習指導要領の趣旨と教育課程」、「観点別学習状況の評価」 （特） 講義・演習 「学習指導要領と障害種別、教育課程」、 「指導と評価の一体化をめざした学習評価」 （高・特） 協議・演習 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」 （高・特） 協議・演習 「学習指導案の改善」 ※動画の配信期間及び課題については別途通知する。	教伸 A ①②③④⑤ 任 A ①②③	オンデマンド配信・演習，同時双方向型オンライン	各勤務場所
	2	高 ８月 18 日 ８月 24 日 特 ８月 26 日 校種に応じて、い	13:30-16:30	協議・演習 「効果的な研究協議の進め方」 (高) 講義・演習 「情報活用能力を高める ICT 活用」 （特） 講義・演習 「障害種別に応じた ICT 活用」	教伸 A ①②③④⑤ 任 A ①②③	同時双方向型オンライン	各勤務場所 ※島しょ都立の受講者は研修形態を選択でき

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2226〕

		ずれか一つを選択して受講する。					ます。詳細は、別途通知。
	3	高 9月26日 9月28日 10月11日 特 9月27日 9月30日 校種に応じて、いずれか一つを選択して受講する。	13:30-16:30	協議・演習 「模範授業の振り返りと授業改善」 （高） 協議・演習 「授業観察の視点としての授業力の６要素」 （特） 「授業観察の視点としての授業力の６要素」、「障害種別と教科や学年の若手教員の課題」	教伸A ①②③ ④⑤ 任A ①②③	同時双方向型オンライン	各勤務場所
	4	高 11月15日 11月18日 特 11月8日 11月11日 校種に応じて、いずれか一つを選択して受講する。	13:30-16:30	（高） 講義・演習 「校内の授業改善において中堅教諭に期待すること」 （特） 講義・演習 「指導資料作成校の取組①」 （高） 講義・演習 「ＯＪＴ推進を通した授業改善の取組」 （特） 講義・演習 「指導資料作成校の取組②」 （高・特） 演習・協議 「１年間の授業改善の振り返り」 ※動画の配信期間及び課題については別途通知する。	教伸A ①②③ ④⑤ 任A ①②③	オンデマンド配信・演習，同時双方向型オンライン	各勤務場所

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2226〕

研修番号	2251						
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ						
研修タイトル	事例研究						
申込方法等	研修受講申込受付システム	○	別途通知				
ねらい	・生活指導･進路指導に関わる事例の検討･協議等を通し、解決策を提案することができる。						
対象校種	都立高等学校・都立特別支援学校						
対象教員	教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する高・特の主任教諭及び教諭						
特色							
研修内容							

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	別途通知	勤務時間	講義・演習 「児童・生徒の個性や能力に応じた指導の工夫」 講義・演習 「少年非行の現状と課題」 講義・演習 「消費者教育の推進」 事例研究 「生活指導・進路指導を組織的に行う際の課題と解決策について」 ※動画の配信期間及び課題については別途通知する。	教伸 B①② 任 B①②③	オンデマンド配信・演習	各勤務場所

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2226〕

研修番号	2261、2661			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	学習指導向上研修			
申込方法等	研修受講申込受付システム	○	別途通知	○（具申）
ねらい	・講義、演習、協議、研究授業等を通して、学習指導の工夫・改善等について理解を深め、学習指導力の向上を図る。			
対象校種	小・中・高・特			
対象教員	教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する小・中・高・特の「学習指導」がⅰ段階の者			
特色				
研修内容				

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	6 月 6 日（月）	13:30-16:30	「オリエンテーション」、講義・演習「授業力の６要素と自己の課題」、「授業改善の PDCA」	教伸 A ①②③④⑤	同時双方向型オンライン	各勤務場所
	2	7 月 25 日（月）	13:30-16:30	講義・演習「学習指導要領の趣旨と教育課程」、「学習指導案の作成と指導と評価の一体化」	教伸 A ①②③④⑤	同時双方向型オンライン	各勤務場所
	3	11 月 2 日（水）	13:30-16:30	講義・演習「研究協議会のまとめ」	教伸 A ①②③④⑤	同時双方向型オンライン	各勤務場所
	4	11月 22 日（火）	13:30-16:30	講義・演習「授業改善策について」	教伸 A ①②③④⑤	同時双方向型オンライン	各勤務場所

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2226〕

研修番号		2262、2662					
研修名		東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ					
研修タイトル		生活指導等向上研修					
申込方法等		研修受講申込受付システム	○	別途通知	○（具申）		
ねらい		・講義や演習、事例研究等を通して、児童･生徒理解に基づいた指導について理解を深め、生活指導力・進路指導力の向上を図る。					
対象校種		小・中・高・特					
対象教員		教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する小・中・高・特の「生活指導・進路指導」が i 段階の者					
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	6 月 8 日（水）	13:30-16:30	講義・演習「自己の課題と改善策」	教伸 B ①②	同時双方向型オンライン	各勤務場所
	2	6 月 27 日（月）	13:30-16:30	講義・演習「児童・生徒及び保護者等の理解」	教伸 B ①②	集合	教職員研修センター
	3	8 月 8 日（月）	13:30-16:30	講義・演習「カウンセリング的手法を用いた児童・生徒等とのかかわり方」	教伸 B ①②	集合	教職員研修センター
	4	10 月 27 日（木）	13:30-16:30	講義・演習「指導改善の成果と課題」	教伸 B ①②	同時双方向型オンライン	各勤務場所

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2226〕

研修番号		2671				
研修名		東京都公立幼稚園中堅教諭等資質向上研修Ⅰ				
研修タイトル		幼稚園運営				
申込方法等		研修受講申込受付システム		別途通知	○	
ねらい		・個に応じた保育について理解を深め、組織的な対応について助言・提案ができる。 ・幼稚園運営について理解を深め、運営上重要な役割を担うことができる。				
対象校種		公立幼稚園等				
対象教員		教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する公立幼稚園の主任教諭及び教諭				
特色						
研修内容						
日程等	回	実施日	時間	内容	研修形態	会場
	1	別途通知	勤務時間	講義・演習 「幼稚園教育の現状と課題」 演習・協議 「中堅教諭としての自己の実践について」	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	2	別途通知	勤務時間	講義・演習 「個に応じた保育」 講義・演習 「幼児教育の現状と園内研究」	オンデマンド配信・演習	各勤務場所

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2226〕

研修番号		2672				
研修名		東京都公立幼稚園中堅教諭等資質向上研修Ⅰ				
研修タイトル		保育内容				
申込方法等		研修受講申込受付システム		別途通知	○	
ねらい		・保育に関する根拠資料や最新の知識を学び、若手教員へ適切な助言・支援ができる。 ・研究保育、参観、協議等を通して、地域の就学前教育のリーダーとして必要な資質・能力を高める。				
対象校種		公立幼稚園等				
対象教員		教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する幼稚園の主任教諭及び教諭				
特色						
研修内容						
日程等	回	実施日	時間	内容	研修形態	会場
	1	別途通知	勤務時間	講義・演習 「指導方法の改善」 演習 「教育課程に基づく指導改善」	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	2	別途通知	別途通知	保育観察と協議会	集合	園会場

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2226〕

研修番号		2281、2681					
研修名		東京都公立学校中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ					
研修タイトル		保健室経営					
申込方法等		研修受講申込受付システム	○	別途通知			
ねらい		・現代的な健康課題に関する理解を深め、解決策を提案することができる。 ・健康課題の把握及び学校保健計画の策定について中心的役割を担うことができる。 ・健康課題の解決のために、保健室経営計画を作成し、保健組織活動を行うことができる。					
対象校種		小・中・高・特					
対象教員		教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する小・中・高・特の主任養護教諭及び養護教諭					
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7 月 29 日（金）	13:30-16:30	講義・演習 「教育課題と現代的な健康課題」 講義・演習 「学校保健計画の策定」 演習 「学校保健計画（案）の作成」 講義・演習 「各学校の課題に対応した保健室経営と保健組織活動」	養伸 ABCDE 任養 ABCDE	オンデマンド配信・演習，同時双方向型オンライン	各勤務場所

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2226〕

研修番号		2291、2691					
研修名		東京都公立学校中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ					
研修タイトル		食に関する指導等					
申込方法等		研修受講申込受付システム	○	別途通知			
ねらい		・食育推進の意義及び背景を理解し、食に関する指導について助言・提案等をすることができる。 ・地域における食に関する課題を把握し、解決策を提案することができる。					
対象校種		小・中・高・特					
対象教員		教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する小・中・高・特の主任栄養教諭及び栄養教諭					
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	8 月 29 日（月）	13:30-16:30	講義・演習 「地区及び学校における食に関する指導の充実」 講義・演習 「喫緊の教育課題と食に関する課題」 講義・演習 「地区及び学校における組織的な食育の推進」	栄伸 ABCDE 主栄 ABCDE	オンデマンド配信・演習，同時双方向型オンライン	各勤務場所

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2226〕

研修番号		2301 他					
研修名		東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅱ					
申込方法等		研修受講申込受付システム	○	別途通知			
ねらい		・新たな教育課題についての理解を深め、組織における中心的な役割を果たすことができる。					
対象校種		小・中・高・特					
対象教員		教職経験 21・22・23 年目のいずれかに該当する小・中・高・特の主任教諭及び教諭、主任養護教諭及び養護教諭、主任栄養教諭及び栄養教諭					
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	別途通知	勤務時間	講義・演習 「服務の厳正」 講義・演習 「特別支援教育の推進」 講義・演習 「学校における児童・生徒のいじめ防止、不登校・中退、自殺予防の取組について」	教伸 E① 任 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	2	8 月 1 日（月） 8 月 3 日（水） 8 月 22 日（月） 9 月 21 日（水） 10 月 20 日（木） いずれか一つを選択して受講する。	午後	講義・演習 「一人 1 台学習者用端末の活用の推進」 演習・協議 「一人 1 台学習者用端末の活用の推進」 事例演習 「発達障害の理解と対応」 ※動画の配信期間及び課題については別途通知する。	教伸 E① 任 E①	オンデマンド配信・演習，同時双方向型オンライン	各勤務場所

リーダー養成研修

1　受講対象者
各講座のねらいに沿って、本人の希望を受けた管理職の推薦により申込をします。

2　各講座

研修等名	担当課	電話番号	申込等
特別支援教育リーダー養成研修	専門教育向上課	03-5802-0296	専門性向上研修と同様
独立行政法人教職員支援機構等派遣研修	企画課	03-5802-0268	別途、担当課から所属長宛てに通知
大学院派遣研修 （新教育大学大学院派遣研修、大学院設置基準第 14 条適用大学院派遣研修） 教職大学院派遣研修	教育開発課 （大学院派遣研修担当）	03-5802-0307	
東京都教員研究生	教育開発課 （東京都教員研究生担当）	03-5802-0319	
東京教師道場	授業力向上課	03-5802-2236	

(1)リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3001	研修名	特別支援教育コーディネーターベーシック （特別支援教育コーディネーターの役割）
研修タイトル	特別支援教育コーディネーターベーシック －特別支援教育コーディネーター基礎－		
ねらい	特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、特別支援教育に関する知識及び課題解決の手法を身に付け、ニーズに応じた具体的な支援策を実行できる能力を高めます。		
対象校種・定員	幼・小・中・高　　200 名まで		
対象教員	特別支援教育コーディネーターの経験が２年以下で基礎・基本を身に付けたい教員		
講師	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所　研究員等　を予定		
特色	◇特別支援教育コーディネーターの役割について理解を深める研修 ◇特別支援教育コーディネーターに必要な基本的な内容を学ぶ研修		
研修に関する動画	参考：５-(16)		
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）		

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	６月 30 日(木)	13:30-16:30	○特別支援教育コーディネーターの役割 ○小・中学校及び高等学校学習指導要領における特別支援教育 ○特別支援教室における自立活動 ○学校生活支援シート及び個別指導計画の作成と活用	教基 E① 教伸 E① 任 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3002	研修名	特別支援教育コーディネーターベーシック （校内支援体制）
研修タイトル	特別支援教育コーディネーターベーシック －校内支援体制整備ガイドライン－		
ねらい	特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、特別支援教育に関する知識及び課題解決の手法を身に付け、ニーズに応じた具体的な支援策を実行できる能力を高めます。		
対象校種・定員	幼・小・中・高　　200 名まで		
対象教員	特別支援教育コーディネーターの経験が２年以下で基礎・基本を身に付けたい教員		
講師	大学教授等を予定		
特色	◇特別支援教育コーディネーターの役割について理解を深める研修 ◇特別支援教育コーディネーターに必要な基本的な内容を学ぶ研修		
研修に関する動画	参考：５-(16)		
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）		

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	６月 27 日(月)	13:30-16:30	○教育支援体制整備ガイドラインについて	教基 E① 教伸 E① 任 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3003	研修名	特別支援教育コーディネーターベーシック （発達障害の医学的理解）
研修タイトル	特別支援教育コーディネーターベーシック －発達障害の医学的理解－		
ねらい	特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、特別支援教育に関する知識及び課題解決の手法を身に付け、ニーズに応じた具体的な支援策を実行できる能力を高めます。		
対象校種・定員	幼・小・中・高　　200 名まで		
対象教員	特別支援教育コーディネーターの経験が２年以下で基礎・基本を身に付けたい教員		
講師	大学教授等を予定		
特色	◇特別支援教育コーディネーターに必要な基本的な内容を学ぶ研修		
研修に関する動画	参考：５-(16)		
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）		

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	６月 28 日 (火)	13:30- 16:30	○障害への医学的理解 ○医療の理解と応用	教基 E① 教伸 E① 任 E①	集合	教職員 研修センター （水道橋）

(1)リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3004	研修名	特別支援教育コーディネーターアドバンス （発達性ディスレクシア）
研修タイトル	特別支援教育コーディネーターアドバンス －発達性ディスレクシア－		
ねらい	特別支援教育コーディネーターの経験を積んだ教員のスキルアップを図り、関係機関と連携して地域や学校において児童・生徒を支援する技術の習得を図ります。		
対象校種・定員	小・中・高　　50 名まで		
対象教員	特別支援教育コーディネーターの経験が３年以上の教員		
講師	大学教授等を予定		
特色	◇関係機関等と連携した支援の技術の習得を図る研修		
研修に関する動画	参考：５-(7)、５-(16)		
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）		

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	９月２日(金)	13:30-16:30	○発達性読み書き障害（発達性ディスレクシア）のアセスメント結果に基づく支援方法の検討 ○発達性ディスレクシアの指導・支援方法	任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3005	研修名	特別支援教育コーディネーターアドバンス （センター的機能・関係機関との連携）
研修タイトル	特別支援教育コーディネーターアドバンス －センター的機能・関係機関との連携－		
ねらい	特別支援教育コーディネーターの経験を積んだ教員のスキルアップを図り、関係機関と連携して地域や学校において児童・生徒を支援する技術の習得を図ります。		
対象校種・定員	小・中・高　　50名まで		
対象教員	特別支援教育コーディネーターの経験が3年以上の教員		
講師	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所　研究員等を予定		
特色	◇関係機関等と連携した支援の技術の習得を図る研修		
研修に関する動画	参考：5-(7)、5-(16)		
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）		

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	7月1日（金）	13:30-16:30	○センター的機能について ○実践事例を用いた演習・協議	任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3006	研修名	特別支援教育コーディネーターアドバンス （特別支援教育コーディネーターの実践）
研修タイトル	特別支援教育コーディネーターアドバンス －特別支援教育コーディネーターの実践－		
ねらい	特別支援教育コーディネーターの経験を積んだ教員のスキルアップを図り、関係機関と連携して地域や学校において児童・生徒を支援する技術の習得を図ります。		
対象校種・定員	小・中・高　　50名まで		
対象教員	特別支援教育コーディネーターの経験が3年以上の教員		
講師	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所　研究員を予定		
特色	◇関係機関等と連携した支援の技術の習得を図る研修		
研修に関する動画	参考：5-(7)、5-(16)		
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）		

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	7月7日(木)	13:30-16:30	○特別支援教育コーディネーターの実践 ○関係機関との連携方法について	任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3007	研修名	特別支援教育コーディネーター （センター的機能）
研修タイトル	特別支援教育コーディネーター －センター的機能・指導技術の向上－		
ねらい	特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、地域における特別支援教育のセンターとして、各学校等の要請に応じて、特別な支援を必要とする児童・生徒等への必要な助言又は援助を行うことができる技術の習得を図ります。		
対象校種・定員	特　　50名まで		
対象教員	特別支援学校の特別支援教育コーディネーターで、センター的機能の充実を図りたい教員		
講師	都立学校教諭等を予定		
特色	◇特別支援学校のセンター的機能について理解を深める研修		
研修に関する動画	参考：５-（７)、５-(16)		
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）		

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	９月 21 日 (水)	13:30- 16:30	○特別支援学校のセンター的機能について ○実践事例を用いた演習・協議	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター （水道橋）

(1)リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3008	研修名	特別支援教育コーディネーター （特別支援教育コーディネーターの基礎）
研修タイトル	特別支援教育コーディネーター －特別支援教育コーディネーターの基礎－		
ねらい	特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、地域における特別支援教育のセンターとして、各学校等の要請に応じて、特別な支援を必要とする児童・生徒等への必要な助言又は援助を行うことができる技術の習得を図ります。		
対象校種・定員	特　　50 名まで		
対象教員	特別支援学校の特別支援教育コーディネーターで、コーディネーターの基礎を学びたい教員		
講師	都立学校教育部　統括指導主事等を予定		
特色	◇特別支援学校のセンター的機能について理解を深める研修		
研修に関する動画	参考：５-(７)、５-(16)		
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）		

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	7月 15 日（金）	13:30-16:30	○特別支援教育コーディネーターに期待すること ○校内支援委員会の運営について	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3009	研修名	特別支援教育コーディネーター （障害の医学的理解）
研修タイトル	特別支援教育コーディネーター －障害の医学的理解－		
ねらい	特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、地域における特別支援教育のセンターとして、各学校等の要請に応じて、特別な支援を必要とする児童・生徒等への必要な助言又は援助を行うことができる技術の習得を図ります。		
対象校種・定員	特　　200 名まで		
対象教員	特別支援学校の特別支援教育コーディネーターで、障害の医学的理解を学びたい教員		
講師	国立精神・神経医療研究センター病院　中川　栄二　特命副院長を予定		
特色	◇特別支援学校のセンター的機能について理解を深める研修 ◇オンライン（オンデマンド配信）による研修 ※この研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件となります。		
研修に関する動画	参考：５-(７)、５-(16)		
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※配信期間が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。		

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態
日程等	1	８月 ～９月 配信予定	約 180 分	○障害への医学的理解 ○医療の理解と応用 ○てんかんに関する理解と対応	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	オンライン （オンデマンド配信）

(1)リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3011	研修名	特別支援教室・高等学校通級指導担当教員研修
研修タイトル	特別支援教室・高等学校通級における指導法　－基礎から実践へ－		
ねらい	特別支援教室及び高等学校通級指導の担当教員が、指導に生かせる基礎・基本及び課題解決の手法を身に付け、ニーズに応じた具体的な支援策を実行できる能力を高めます。		
対象校種・定員	小・中・高　　150 名まで		
対象教員	特別支援教室及び高等学校通級での基礎・基本及び課題解決の手法を身に付けたい教員		
講師	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所　研究員等を予定		
特色	◇特別支援教室及び高等学校通級指導について学ぶ研修 ◇第１回は全体研修、第２回はキャリア別に演習・協議、第３回は校種別に演習・協議を行います。		
研修に関する動画	参考：５-(７)、５-(８)、５-(16)		
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）		

日程等

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	６月 24 日（金）	13:30-16:30	○特別支援教室の教育課程の基礎 ○指導資料の活用 ○自立活動と個別指導計画の作成等	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）
2	７月 21 日（木）	13:30-16:30	○キャリア別の課題等について実践事例を用いた演習・協議 ○実践発表等	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）
3	９月 26 日（月）	13:30-16:30	○校種毎の課題等について、実践事例を用いた演習・協議 ○実践発表等	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3012	研修名	特別支援学級担当教員研修
研修タイトル	特別支援学級における指導法　－基礎から実践へ－		
ねらい	特別支援学級の担当教員が、指導に生かせる基礎・基本及び課題解決の手法を身に付け、ニーズに応じた具体的な支援策を実行できる能力を高めます。		
対象校種・定員	小・中　　100 名まで		
対象教員	特別支援学級での基礎・基本及び課題解決の手法を身に付けたい教員		
講師	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所　研究員等を予定		
特色	◇特別支援学級について学ぶ研修 ◇第１回は全体研修、第２回はキャリア別に演習・協議、第３回は障害種別に演習・協議を行います。		
研修に関する動画	参考：５-(８)、５-(16)		
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）		

日程等

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	7月 28 日（木）	13:30-16:30	○特別支援学級の教育課程の基礎 ○指導資料の活用 ○自立活動と個別指導計画の作成等	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）
2	8 月 9 日（火）	13:30-16:30	○キャリア別の課題等について実践事例を用いた演習・協議 ○実践発表等	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）
3	9月 14 日（水）	13:30-16:30	○障害種毎の課題等について、実践事例を用いた演習・協議 ○実践発表等	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)リーダー養成研修

〔担当課：企画課 03-5802-0296〕

研修番号	3101					
研修名	派遣研修（研究所等）					
研修タイトル	独立行政法人教職員支援機構　教職員等中央研修（校長研修）					
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○		
ねらい	校長等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。					
対象校種	小・中・高・特					
対象教員	校長					
特色	・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。 ・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。					
研修内容	・学校組織マネジメント　・カリキュラム・マネジメント ・スタッフ・マネジメント　・コミュニティ・マネジメント ・教育政策の諸動向（事前課題）　・リスク・マネジメント ・学校マネジメントプランの設計　・タイム・マネジメント ・研修成果の活用等					
日程等	区分	実施日時	内容	指標	研修形態	会場（予定）
	小	6月13日(月)～6月17日(金)	別途通知	長 ABCDE	集合	つくば市
	中	7月4日(月)～7月8日(金)			集合	つくば市
	高・特	9月5日(月)～9月9日(金)			集合	つくば市
	小・中	11月14日(月)～11月18日(金)			オンライン	

(1)リーダー養成研修

〔担当課：企画課 03-5802-0296〕

研修番号	3101			
研修名	派遣研修（研究所等）			
研修タイトル	独立行政法人教職員支援機構　教職員等中央研修（副校長・教頭等研修）			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○
ねらい	副校長等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。			
対象校種	幼・小・中・高・特			
対象教員	副校長・指導主事等			
特色	・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。 ・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。			
研修内容	・学校組織マネジメント　・スタッフ・マネジメント ・カリキュラム・マネジメント　・コミュニティ・マネジメント ・学校ビジョンの構築　・教育政策の諸動向（事前課題） ・リスク・マネジメント　・タイム・マネジメント ・研修成果の活用　等			

	区分	実施日時	内容	指標	研修形態	会場（予定）
日程等	小・中・特	8月1日(月)～8月5日(金)	別途通知	副 ABCDE	集合	つくば市
	高・特	9月12日(月)～9月16日(金)			集合	つくば市
	小・中・高・特	9月26日(月)～9月30日(金)			集合	つくば市
	幼・小・中	10月17日(月)～10月21日(金)			集合	つくば市

(1)リーダー養成研修

〔担当課：企画課 03-5802-0296〕

研修番号	3101					
研修名	派遣研修（研究所等）					
研修タイトル	独立行政法人教職員支援機構　教職員等中央研修（中堅教員研修）					
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○		
ねらい	中堅教諭等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。					
対象校種	小・中・高・特					
対象教員	主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭(概ね 10 年～20 年の者)					
特色	・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。 ・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。					
研修内容	・学校組織マネジメント　・カリキュラム・マネジメント ・コミュニティ・マネジメント　・学校ビジョンの構築 ・教育政策の諸動向（事前課題）　・リスク・マネジメント ・メンタルヘルス・マネジメント　・新しい学びの推進 ・生徒指導の推進　・インクルーシブ教育の推進 ・研修成果の活用　等					
日程等	区分	実施日時	内容	指標	研修形態	会場（予定）
	高・特	5 月 23 日(月)～5 月 27 日(金)	別途通知	主任 ABCDE、指導 ABCDE、主幹 ABCDE、管候補 ABCDE	集合	つくば市
	小・中	6 月 27 日(月)～7 月 1 日(金)			集合	つくば市
	小	7 月 25 日(月)～7 月 29 日(金)			集合	つくば市
	中	8 月 15 日(月)～8 月 19 日(金)			集合	つくば市
	小・中・高・特	10 月 3 日(月)～10 月 7 日(金)			集合	つくば市
	小・中・高・特	1 月 23 日(月)～1 月 27 日(金)			オンライン	

(1)リーダー養成研修

〔担当課：企画課 03-5802-0296〕

研修番号	3101			
研修名	派遣研修（研究所等）			
研修タイトル	独立行政法人教職員支援機構　教職員等中央研修（次世代リーダー育成研修）			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○
ねらい	中堅教諭等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。			
対象校種	小・中・高・特			
対象教員	主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭(概ね 10 年前後の者)			
特色	・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。 ・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。			
研修内容	・学校組織マネジメント　・カリキュラム・マネジメント ・コミュニティ・マネジメント　・学校ビジョンの構築 ・教育政策の諸動向（事前課題）　・リスク・マネジメント ・生徒指導の推進　・新しい学びの推進 ・インクルーシブ教育の推進　・研修成果の活用　等			

	区分	実施日時	内容	指標	研修形態	会場（予定）
日程等	小・中・高・特	6 月 20 日(月)～6 月 24 日(金)	別途通知	教伸 ABCDE、主任 ABCDE、指導 ABCDE、主幹 ABCDE、管候補 ABCDE	集合	つくば市
	小・中・高・特	8 月 22 日(月)～8 月 26 日(金)			集合	つくば市
	小・中・高・特	1 月 16 日(月)～1 月 20 日(金)			オンライン	

(1)リーダー養成研修

〔担当課：企画課 03-5802-0296〕

研修番号	3101					
研修名	派遣研修（研究所等）					
研修タイトル	独立行政法人教職員支援機構　教職員等中央研修（４～８年目教員育成研修）					
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○		
ねらい	若手、中堅教諭等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。					
対象校種	小・中・高・特					
対象教員	主任教諭・教諭（４年目～8年目）					
特色	・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。 ・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。					
研修内容	・学校組織マネジメント　・カリキュラム・マネジメント ・学校ビジョンの構築　・教育政策の諸動向（事前課題） ・リスク・マネジメント　・学校マネジメントプランの設計 ・校務情報化の推進　・タイム・マネジメント ・研修成果の活用　等					
日程等 区分	実施日時	内容	指標	研修形態	会場（予定）	
小・中・高・特	6月6日(月)～6月10日(金)	別途通知	教伸 ABCDE、主任 ABCDE	集合	つくば市	
小・中・高・特	11月7日(月)～11月11日(金)			オンライン		

(1)リーダー養成研修

〔担当課：企画課 03-5802-0296〕

研修番号	3102			
研修名	派遣研修（研究所等）			
研修タイトル	独立行政法人教職員支援機構　指導者養成研修等			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○
ねらい	教員等が、学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメント、生徒指導、いじめ問題等の教育課題について、各学校や地域における研修のマネジメントを推進する力を習得し、研修成果を東京都の学校教育に活用します。			
対象校種	小・中・高・特			
対象教員	校長・副校長・主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭			
特色	・研修テーマによって、受講者のニーズや地域の実態に応じたコース別の研修の設定があります。 ・各地域の課題を基にした講義・グループ協議など、参加型の研修を行います。			
研修内容	①学校組織マネジメント研修 ②カリキュラム・マネジメント開発研修 ③生徒指導基幹研修 ④教育相談基幹研修 ⑤いじめ問題理解基幹研修 ⑥幼児教育専門研修 ⑦道徳教育推進研修 ⑧人権教育推進研修 ⑨体力向上マネジメント指導者養成研修 ⑩健康教育指導者養成研修 ⑪食育指導者養成研修 ⑫学校安全指導者養成研修 ⑬外国人児童生徒等への日本語指導指導者養成 ⑭小学校における外国語教育指導者養成研修研修 ⑮学校教育の情報化指導者養成研修 ⑯キャリア教育指導者養成研修			

日程等	研修内容番号	実施日時	内容	指標	研修形態	会場（予定）
	①	9月20日(火)～9月22日(木) 10月24日(月)～10月26日(水) 12月1日(木)～12月28日(水)	別途通知	教伸 ABCDE、 主任	オンライン オンライン 動画	
	②	10月12日(水)～10月14日(金) 11月21日(月)～11月24日(木) 12月1日(木)～12月28日(水)		ABCDE、 指導 ABCDE、	オンライン オンライン 動画	
	③	6月1日(水)～6月3日(金)		主幹	オンライン	
	④	8月1日(月)～8月31日(水)		ABCDE、	動画	
	⑤	5月17日(火)～5月19日(木)		管候補	オンライン	
	⑥	9月13日(火)～9月15日(木)		ABCDE	動画	

(1)リーダー養成研修

〔担当課：企画課 03-5802-0296〕

		12 月 1 日(木)～12 月 28 日(水)				
	⑦	8 月 8 日(月)～8 月 10 日(水) 12 月 1 日(木)～12 月 28 日(水)			オンライン 動画	
	⑧	8 月 1 日(月)～8 月 31 日(水)			動画	
	⑨	12 月 1 日(木)～12 月 28 日(水)			動画	
	⑩	12 月 1 日(木)～12 月 28 日(水)			動画	
	⑪	12 月 1 日(木)～12 月 28 日(水)			動画	
	⑫	8 月 1 日(月)～8 月 31 日(水) 11 月 1 日(火)～11 月 4 日(金)			動画 オンライン	
	⑬	10 月 3 日(月)～10 月 6 日(木)			集合	津市
	⑭	8 月 1 日(月)～8 月 31 日(水)			動画	
	⑮	8 月 1 日(月)～8 月 31 日(水) 11 月 28 日(月)～11 月 30 日(水)			オンライン	
	⑯	6 月 21 日(火)～6 月 24 日(金) 8 月 23 日(火)～8 月 26 日(金)			集合 集合	富山市 富山市

(1)リーダー養成研修

〔担当課：企画課 03-5802-0296〕

研修番号		3111				
研修名		派遣研修（研究所等）				
研修タイトル		独立行政法人国立特別支援教育総合研究所　特別支援教育専門研修				
申込方法等		「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○	
ねらい		教員等が、一定期間勤務地を離れて特別支援教育の充実に資する最新の専門性の高い内容について宿泊を原則とする研修を行い、今後の職務に生かすとともに、東京都におけるリーダーとしての資質を高めます。				
対象校種		小・中・高・特				
対象教員		主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭				
特色		・３つのコースから１つを選択し、約２か月間の宿泊研修を行います。				
研修内容※		・視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱教育コース等、障害種の教育 ・発達障害、情緒障害、言語障害教育コース等、障害種の教育 ・通級による指導における教育及び通常の学級における教育				
日程等	期	実施日時	内容	指標	研修形態	会場（予定）
	①知的障害教育コース	５月９日（月）～７月８日（金）	別途通知	教伸ABCDE、主任ABCDE、指導ABCDE、主幹ABCDE、管候補ABCDE	オンライン及び集合	横須賀市
	②視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース	９月６日（火）～11月11日（金）			オンライン及び集合	横須賀市
	③発達障害・情緒障害・言語障害教育コース	１月11日（火）～３月16日(水)			オンライン及び集合	横須賀市

(1)リーダー養成研修

〔担当課：企画課 03-5802-0296〕

研修番号	3112		
研修名	派遣研修（研究所等）		
研修タイトル	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所　インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会・セミナー		
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○
ねらい	教員等が、短期間勤務地を離れて、特別支援教育の充実に資する最新の専門性の高い内容について研修し、東京都におけるリーダーとしての資質を高めます。			
対象校種	小・中・高・特			
対象教員	主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭			
特色	・協議会では、インクルーシブ教育システムの理念の実現、充実に向け、専門的知識及び技能の向上を図ります。			
研修内容※	① 特別支援教育におけるICT 活用に関わる指導者研究協議 ② 高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議 ③ 交流及び共同学習推進指導者協議 ④ 発達障害教育実践セミナー			

	区分	実施日時	内容	指標	研修形態	会場（予定）
日程等	①	別途通知	別途通知	教伸ABCDE、主任ABCDE、指導ABCDE、主幹ABCDE、管候補ABCDE	別途通知	横須賀市
	②	別途通知	別途通知		別途通知	横須賀市
	③	別途通知	別途通知		別途通知	横須賀市
	④	別途通知	別途通知		別途通知	横須賀市

(3)大学院派遣研修

〔担当課：教育開発課 03-5802-0307〕

研修番号	3201		
研修名	派遣研修（大学院）		
申込方法等	研修受講申込受付システム		「別途通知」（推薦） ○
ねらい	現職教員を新教育大学大学院（２年）に派遣し、教科等及び教育課題における高い専門性や識見を養うことにより、優れた教育実践を展開できる力を身に付けた指導的役割を果たせる教員を育成することを通して、東京都の教育の充実を図ります。		
対象校種	小・中・高・特		
対象教員	○原則として、主幹教諭、指導教諭、主任教諭、主任養護教諭である者 ○修士課程の就学にふさわしい教育実践、研究実績を有する者 ○教職大学院派遣研修を出願しない者 ※令和４年度　教育管理職選考との併願はできない		
特色	○派遣期間は２年間、修学期間は２年間 ○派遣先　兵庫教育大学大学院、上越教育大学大学院、鳴門教育大学大学院の修士課程又は専門職学位課程（教職大学院） ※派遣者が派遣先を志望する ○教科等及び教育課題における専門性や識見を養うことにより、優れた教育実践を展開できる力を身に付けることを目指して研究を行う。		
研修内容	○２年間にわたり所属校を離れ、研修を行う。 ○派遣先の大学院の定めたカリキュラム等に基づく。 ○修士又は教職修士（専門職）の学位取得を目指す。		

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	５月中旬	応募締切	○大学院のリサーチ ○書類の準備・応募	任・指・幹		
	2	５月～11月	選考 大学院受験 派遣予定者決定	○書類審査、面接審査 ○大学院受験	任・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋） 各大学院
	3	３月上旬	大学院派遣研修報告会 大学院別説明会	派遣研修の準備	任・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信・オンデマンド配信）
	4	３月中旬	発令通知書交付式 事前研修会	大学院入学手続き ※学費等は自己負担	任・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋）
	5	４月	研修開始（１年目）	研究・研修	任・指・幹		各大学院
	6	９月	長期派遣研修合同研修会	研究テーマ及び研究内容の報告	任・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信）

(3)大学院派遣研修

〔担当課：教育開発課 03-5802-0307〕

	7	4月	研修開始 （2年目）	研究・研修	任・指・幹		各大学院
	8	9月	長期派遣研修 合同研修会	研究テーマ及び研究内容の報告	任・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信）
	9	3月上旬	大学院派遣研修報告会	研究・研修報告	任・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信・オンデマンド配信）
	10	3月末	研修終了		任・指・幹		

(3)大学院派遣研修

〔担当課：教育開発課 03－5802－0307〕

研修番号	3202						
研修名	派遣研修（大学院）						
申込方法等	研修受講申込受付システム		「別途通知」（推薦）	○			
ねらい	現職教員を大学院設置基準第 14 条を適用している大学院（２年）又は教職大学院（２年）に派遣し、教員の資質向上に資することのできる、教科等又は教育課題における高い専門性や識見を身に付けた指導的役割を果たせる教員を育成することを通して、東京都の教育の充実を図ります。						
対象校種	小・中・高・特						
対象教員	○原則として、主幹教諭、指導教諭、主任教諭、主任養護教諭である者 ○修士課程の就学にふさわしい教育実践、研究実績を有する者 ○教職大学院派遣研修を出願しない者 ※令和４年度　教育管理職選考との併願はできない						
特色	○派遣期間は１年間、修学期間は２年間 ○派遣先　大学院設置基準第 14 条を適用している大学院の修士課程又は専門職学位課程（教職大学院） ※派遣者が派遣先を志望する ○教員の資質向上に資することのできる、教科等又は教育課題に関する高い専門性や識見を身に付けることを目指して研究を行う。						
研修内容	○１年目は所属校を離れ、２年目は所属校で勤務をしながら、夜間、週末、長期休業期間を利用して、研修を行う。 ○派遣先の大学院の定めたカリキュラム等に基づく。 ○修士又は教職修士（専門職）の学位取得を目指す。						

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	５月中旬	応募締切	○大学院のリサーチ ○書類の準備・応募	任・指・幹		
	2	５月～11月	選考 大学院受験 派遣予定者決定	○書類審査、面接審査 ○大学院受験	任・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋） 各大学院
	3	３月上旬	大学院派遣研修報告会 大学院別説明会	派遣研修の準備	任・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信・オンデマンド配信）
	4	３月中旬	発令通知書交付式 事前研修会	大学院入学手続き ※学費等は自己負担	任・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋）
	5	４月	研修開始（１年目）	研究・研修	任・指・幹		各大学院
	6	９月	長期派遣研修合同研修会	研究テーマ及び研究内容の報告	任・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配

(3)大学院派遣研修

〔担当課：教育開発課 03－5802－0307〕

						ン	信）
	7	４月	研修開始 （２年目）	研究・研修 ※夜間、週末、長期休業期間に通学	任・指・幹		所属校 各大学院
	8	９月	長期派遣研修合同研修会	研究テーマ及び研究内容の報告	任・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信）
	9	３月上旬	大学院派遣研修報告会	研究・研修報告	任・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信・オンデマンド配信）
	10	３月末	研修終了		任・指・幹		

(3)大学院派遣研修

〔担当課：教育開発課 03－5802－0307〕

研修番号	3203		
研修名	派遣研修（大学院）		
申込方法等	研修受講申込受付システム		「別途通知」（推薦） ○
ねらい	現職教員を教職大学院（１年）に派遣し、確かな指導理論と優れた実践力や応用力を身に付けた、各地域や学校における指導的役割を果たせる教員を育成することを通して、東京都の教育の充実を図ります。		
対象校種	小・中・高・特		
対象教員	○主幹教諭、指導教諭、主任教諭、主任養護教諭、教諭及び養護教諭である者 ○昭和 55 年４月２日以降の出生の者 ○令和５年３月 31 日現在、教職経験を７年以上有し、そのうち東京都公立学校での教諭経験を３年以上有する者 ○新教育大学大学院及び大学院設置基準第 14 条適用大学院派遣研修を出願しない者 ※令和４年度　教育管理職選考との併願はできない		
特色	○派遣期間は１年間、修学期間は１年間 ○派遣先　創価大学教職大学院、玉川大学教職大学院、帝京大学教職大学院、東京学芸大学教職大学院、早稲田大学教職大学院 ※派遣者が派遣先を志望するが、第１希望にならない場合もある。 ○確かな指導理論と優れた実践力や応用力を身に付けることを目指して研究を行う。		
研修内容	○１年間にわたり所属校を離れ、研修を行う。 ○派遣先の教職大学院の定めたカリキュラム等に基づく。 ○教職修士（専門職）の学位取得を目指す。 「教育課程の編成・実施」、「各教科の実践的な指導方法」、「生徒指導、教育相談」、「学級経営、学校経営」、「学校教育と教員の在り方」 ☆選択科目等で自分の興味・関心のある分野について学ぶことができる。 ○学校教育に関わる課題解決を図る研究を１年間かけて行う。		

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	５月下旬	応募締切	○大学院のリサーチ ○書類の準備・応募	教伸・任・指・幹		
	2	６月～３月	選考 大学院受験 派遣予定者決定	○書類審査、論文審査、面接審査 ○大学院受験	教伸・任・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋） 各大学院
	3	３月上旬	大学院派遣研修報告会 大学院別説明会	派遣研修の準備	教伸・任・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信・オンデマンド配信）
	4	３月中旬	発令通知書交付式 事前研修会	大学院入学手続き ※学費等は原則として自己負担	教伸・任・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋）

(3)大学院派遣研修

〔担当課：教育開発課 03－5802－0307〕

	5	4月	研修開始	研究・研修	教伸・任・指・幹		各大学院
	6	7月～9月	実務実習	教育行政の実務、研修等の運営	教伸・任・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋）等
	7	9月	長期派遣研修合同研修会	研究テーマ及び研究内容の報告	教伸・任・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信）
	8	3月上旬	大学院派遣研修報告会	研究・研修報告	教伸・任・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信・オンデマンド配信）
	9	3月末	研修終了		教伸・任・指・幹		

(4)東京都教員研究生

〔担当課：教育開発課 03－5802－0319〕

研修番号	3204						
研修名	派遣研修（東京都教員研究生）						
申込方法等	研修受講申込受付システム		「別途通知」（推薦）	○			
ねらい	東京都公立学校の教員が、教職員研修センターにおいて研究・研修を行うことにより、学校経営や学習指導等について高い専門性を備え、指導的役割を担う学校教育のリーダーの育成を図ります。						
対象校種	幼・小・中・高・特						
対象教員	○主幹教諭、指導教諭、主任教諭、主任養護教諭、教諭及び養護教諭である者 ○令和５年３月 31 日現在、教職経験を６年以上有し、そのうち東京都公立学校での教職経験を３年以上有する者 ※令和４年度　教育管理職選考との併願はできない						
特色	学校を離れ、教職員研修センターで教員としての今までの実践を振り返り、研究と修養に努めることができる。						
研修内容	①教育課題研究　②カリキュラム開発研究　③実務研修　④教員研究生全体研修						
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	８月上旬	応募締切	書類の準備・応募	教伸・任・指・幹		
	2	８月～10月	選考 東京都教員研究生決定	書類審査、論文審査、面接審査	教伸・任・指・幹		教職員研修センター（水道橋）
	3	２月下旬	事前研修会 カリキュラム開発研究発表会	派遣研修に向けての事前説明 カリキュラム開発研究発表会の参観	教伸・任・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋）
	4	４月	研修開始	カリキュラム開発研究 教育課題研究 教育行政に関わる実務研修 教員研究生全体研修	教伸・任・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋）
	5	９月	長期派遣研修合同研修会	研究テーマ及び研究内容の報告	教伸・任・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信）
	6	10 月	カリキュラム開発研究中間報告会	研究・研修報告	教伸・任・指・幹	集合・オンライン	教職員研修センター（水道橋）・オンライン（オンデマンド配信）
	7	２月下旬	カリキュラム	研究・研修報告	教伸・任・	集合・	教職員研修セ

(4)東京都教員研究生

〔担当課：教育開発課 03－5802－0319〕

			開発研究発表会		指・幹	オンライン	ンター（水道橋)･オンライン（オンデマンド配信）
	8	3月末	研修終了		教伸・任・指・幹		

(5)東京教師道場

〔担当課：授業力向上課 03-5802-2236〕

研修番号		9001					
研修名		東京教師道場					
申込方法等		研修受講申込受付システム		「別途通知」（推薦）	○		
ねらい		東京都公立学校の児童・生徒の学力向上を図るため、２年間にわたる授業研究等を通して、教員の授業力を一層高めるとともに、他の教員の指導的役割を担うことができる資質・能力を磨きます。					
対象校種		小・中・高・特					
対象教員		東京教師道場の部員又はリーダーとして決定した小・中・高・特の教員 （令和４年度の受講者は既に決定済）					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月～5月	13:30-16:45	リーダーによる模範授業及び協議	教伸 A 任充 A 指 A	授業研究	リーダー所属校
	2	5月～7月	13:30-16:45	部員による授業及び協議	教伸 A 任充 A 指 A	授業研究	部員所属校等
	3	夏季休業日２日間	9:30-16:30	模擬授業・協議、リーダーによる講座、ワークショップ、異校種間の情報交換等	教伸 A 任充 A 指 A	夏季集中協議	部員又はリーダー所属校等
	4	9月～3月	13:30-16:45	部員による授業及び協議	教伸 A 任充 A 指 A	授業研究	部員所属校等

研修番号		9002					
研修名		東京教師道場					
申込方法等		研修受講申込受付システム		「別途通知」（推薦）	○		
ねらい		東京都公立学校の児童・生徒の学力向上を図るため、3年間にわたる授業研究等を通して、教員の授業力を一層高めるとともに、他の教員の指導的役割を担うことができる資質・能力を磨きます。					
対象校種		小・中・高・特					
対象教員		東京教師道場の部員又はリーダーとして決定した小・中・高・特の教員					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月～5月	13:30-16:45	リーダーによる模範授業及び協議	教伸A 任充A 指A	授業研究	リーダー所属校
	2	5月～7月	13:30-16:45	部員による授業研究及び協議	教伸A 任充A 指A	授業研究	部員所属校等
	3	夏季休業日2日間	9:30-16:30	模擬授業・協議、リーダー演習、部員による授業公開についての検討	教伸A 任充A 指A	夏季集中協議	部員又はリーダー所属校等
	4	9月～2月	13:30-16:45	部員による授業及び協議	教伸A 任充A 指A	授業研究	部員所属校等
	5	11 月～2月	開催校ごとに設定	部員による授業公開	教伸A 任充A 指A	授業公開	部員所属校等
	6	3月	13:30-16:30	協議	教伸A 任充A 指A	協議	各所属校

専門性向上研修
（教科等・教育課題）

1 受講対象者

「マイ・キャリア・ノート」の「専門性向上研修（教科等・教育課題）」のページの「研修受講に当たっての留意事項」を参照してください。

2 受講申込方法

受講を希望する場合は管理職に相談し、管理職の承認に基づいて申込みをしてください。受講申込みは、「研修受講申込受付システム」で行います。

研修講座は、全ての回、全ての時間の受講が原則です。実施日時等を十分に確認の上、申込みください。

※都採用の会計年度任用職員（時間講師を含む）は、所属の管理職が事前に会計年度任用職員を登録することで、研修の申込みができます。

3 受講の可否

受講可否については、管理職及び受講申込み者本人が「研修受講申込受付システム」で確認してください。**文書での通知はありません**。

4 研修受講

(1) 受講１か月前まで

◇ 手話通訳者の手配等、特別の措置が必要な場合は、管理職からお問い合わせください。申請方法をお伝えいたします。

(2) 受講前日まで

研修講座の開催については、「研修受講申込受付システム」に掲載します。

文書での通知はありません。

◇ 「研修受講申込受付システム」で、研修の日時・会場・内容・課題や持ち物等を確認してください。

◇ 「研修受講申込受付システム」の掲載内容については、必要に応じて受講者が印刷して、管理職に提出してください。

◇ 研修によって開始・終了時刻等が異なる場合があります。

◇ 会場等が変更になる場合があります。**必ず、研修受講前日の正午以降に、**「研修受講申込受付システム」の受講する研修の欄を確認し、研修の日時・会場や持ち物等について変更等がないか確認してください。（※個人のPCやスマートフォンからも確認ができます。）

(3) 受講当日

◇ 研修時間は、原則として次のとおりです。

13：30～16：30

※ただし、一部の研修は上記の研修時間と異なることがあります。

◇ 研修の受付は、研修開始の30分前から行います。

◇ 出席の受付は、**二次元コードを用いて行います。**「研修受講申込受付システム」から御自身の二次元コードを事前に作成し、印刷して持参するか、携帯電話等の端末に保存の上、会場にお越しください。

（「研修受講申込受付システム」を利用できない方は、専門教育向上課 03-5802-0344にお問い合わせください。）

◇　研修中は、自校で使用している名札を身に付けてください。

◇　その他

・自動車、バイク、自転車等での研修会場への来場は、原則として禁止です。
・携帯電話・スマートフォンは電源を切るか、マナーモードに設定してください。
・別途許可がある場合を除き、写真撮影・録画・録音は禁止です。
・受講者アンケートは、Webアンケートで行います。研修終了後速やかに提出ください。Webアンケートが難しい場合には、御相談ください。
・ペットボトル、弁当等のゴミは持ち帰ってください。
・研修運営の担当者の指示に従ってください。

(4) 欠席・遅刻・早退する場合

◇　管理職から研修実施前日までに担当課に電話連絡してください。

◇　電話連絡の後、「マイ・キャリア・ノート」に掲載されている「研修（欠席・遅刻・早退）届（様式２）」をダウンロードして、必要事項を記入の上、管理職から専門教育向上課に電子メールにより提出してください。

◇　大学、学校等、研修会場へ直接電話をすることは絶対にしないでください。

◇　公共交通機関の遅延等による場合は、公共交通機関の発行した遅延証明書を提出してください。

◇　育児短時間勤務等の教員は、管理職からその旨を事前に電話又はメールでお知らせください。

(5) 受講後

専門性向上研修【Ⅰ】は、児童・生徒の主体的な学習を促し、対話的で深い学びにつなげる授業改善ができることをねらいとしています。専門性向上研修【Ⅱ】及び【Ⅲ】は、研修成果を踏まえて若手教員へ指導・助言する力や学校・地域に普及・還元する力を身に付けることをねらいとしています。研修受講後は、学んだ内容を校内や研究会等で活用してください。

研修受講後は、「研修記録（受講者用）」等を適宜活用するなどして、所属長に研修内容を報告するとともに、成果還元を行ってください。

5　研修受講に当たっての留意事項

(1) 大学や関係機関との連携について

最新かつ高度な学術情報を提供できる指導者や優れた施設・設備等を活用した研修を行います。

(2) 各種研究団体との連携について

各種研究団体と連携し、その優れた研究成果や実践事例等を活用した研修を行います。

(3) 英語力向上研修について

教員の英語力を高めるために、外部委託者所属の外国人講師等による研修を実施します。

詳細は、「研修受講申込受付システム」の「専門性向上研修（教科等・教育課題）」のページ（研修番号 5201～5268）を参照してください。

なお、この研修の運営は、外部委託者が行います。

6　研修修了認定等

(1) 研修の修了認定について

専門性向上研修では、原則として全回数の３分の２以上の出席をもって、修了を認定します。

ただし、課題の提出状況等によっては、出席回数を満たしていても修了を認定しない場合があります。
研修１回あたり、遅刻及び早退の合計時間が30分間を超えた
場合は、欠席扱いとします。（公共交通機関が発行した遅延証明書提出の場合は除く）。

(2) 修了認定結果

２月下旬に「研修受講申込受付システム」に掲載します。管理職及び受講者本人が「研修受講申込受付システム」で確認してください。**文書での受講結果及び受講状況の通知は行いません。**

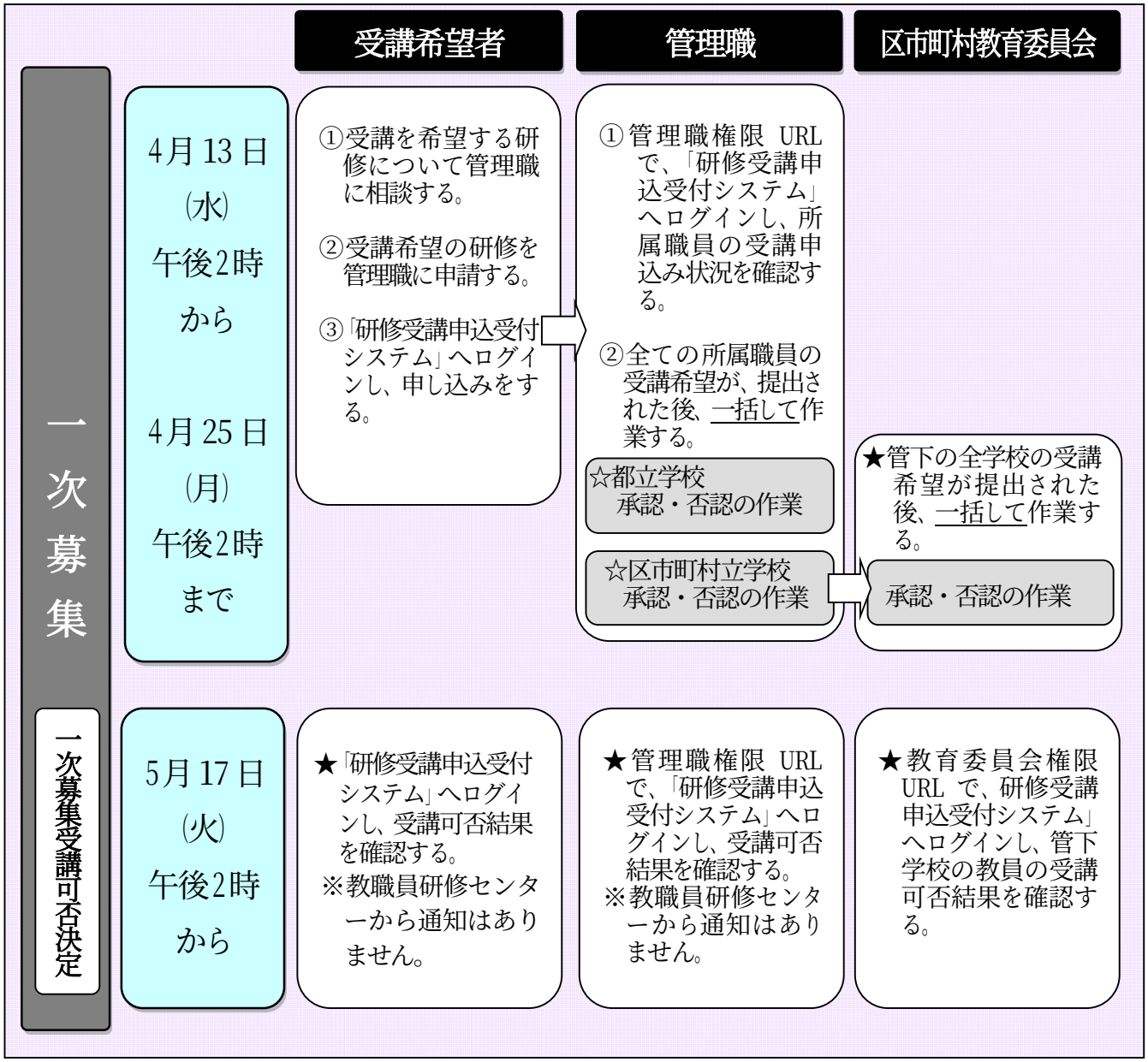
7　問合せ先

専門性向上研修に関する問合せは、所属校の管理職を通じて以下の各担当までお願いします。

研修	問合せ先	電話
専門性向上研修（教科等）	専門教育向上課	03-5802-0344
専門性向上研修（教育課題）	専門教育向上課	03-5802-0296

9　専門性向上研修の研修受講申込みから研修修了までの主な流れ

－「研修受講申込受付システム」から申請します －



★一次募集で定員に達した研修は、二次募集はしません。

		受講希望者	管理職	区市町村教育委員会
二次募集	5月18日(水)午後2時から 5月30日(月)午後2時まで	①受講を希望する研修について管理職に相談する。 ②受講希望の研修を管理職に申請する。 ③「研修受講申込受付システム」へログインし、申し込みをする。	①管理職権限 URLで、「研修受講申込受付システム」へログインし、所属職員の受講申込み状況を確認する。 ②全ての所属職員の受講希望が、提出された後、一括して作業する。 ☆都立学校 承認・否認の作業 ☆区市町村立学校 承認・否認の作業	★管下の全学校の受講希望が提出された後、一括して作業する。 承認・否認の作業
二次募集受講可否決定	6月10日(金)午後2時から	★「研修受講申込受付システム」へログインし、受講可否結果を確認する。 ※教職員研修センターから通知はありません。	★管理職権限 URLで、「研修受講申込受付システム」へログインし、受講可否結果を確認する。 ※教職員研修センターから通知はありません。	★教育委員会権限 URL で、研修受講申込受付システム」へログインし、管下学校の教員の受講可否結果を確認する。

研修の実施	実施前	★文書による開催通知等はありません。 ★必ず、研修受講前日の正午以降に、「研修受講申込受付システム」で、日程、会場、内容、持ち物、課題等に変更がないかを確認してください。
	当日	★受講の際に持参するもの(「名札(所属校で使用のもの)」「二次元コード」「筆記用具」その他、「研修受講申込受付システム」に記載されているもの)
	実施後	★「研修記録(受講者用)」等を活用して、所属長に受講状況を報告するとともに成果還元を行ってください。
研修修了認定	2月下旬	★研修受講結果は、「研修受講申込受付システム」から確認してください。(IDとパスワードは一次募集と同じ)

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4011・4012	研修名	国語【Ⅰ・Ⅱ】（小・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した国語科の指導法					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	小・特　　400 名まで（各会場 200 名まで）					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	講師は、公立小学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4011 と 4012 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　国語編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4011】 6 月 27 日（月）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4012】 9 月 21 日（水）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4021・4022	研修名	国語【Ⅰ・Ⅱ】（中・特）
研修タイトル	一人１台端末を活用した国語科の指導法		
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。		
対象校種・定員	中・特　　400 名まで（各会場 200 名まで）		
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等		

指標との関連						
職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○			
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	
	○					

講師	講師は、公立中学校指導教諭等を予定
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4021 と 4022 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　国語編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。

日程等 回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	【4021】 ９月 21 日（水）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
	【4022】 ９月５日（月）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>4031</td><td>研修名</td><td colspan="3">国語【Ⅰ・Ⅱ】(高・特)</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">一人１台端末を活用した国語科の指導法</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。
特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　200 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">都立高等学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。
◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。
◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　国語編</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	8月 29 日（月）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4041</td><td>研修名</td><td colspan="4">国語【Ⅱ】（書写）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">書写の指導
－実技を通して学ぶ指導の基本－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">学習指導要領のねらいや内容、指導事項等について、実技・指導法研修及び研究授業を通して学び、学習指導における基礎的・基本的な力を身に付けます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭等</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇第１回は、水書用筆等の実技を通して書写の指導の基本について学ぶ研修
◇第２回は、東京都小学校書写研究会所属の教員による授業研究
◇東京都小学校書写研究会と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:１-(１)、２-(１)、３-(２)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">＜第１回・第２回共通＞
・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
＜第１回のみ＞
・書道道具一式（小筆・半紙を含む）
※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	７月 25 日（月）	13:30-16:30	○国語科書写のねらい及び関連について ○毛筆及び水書用筆の実技	任 A①②③	集合	教職員研修センター（水道橋）
	2	９月～11月	13:30-16:30	○小学校における書写の指導の実際 ○学習指導要領等のポイントを踏まえた授業づくり	任 A①②③	集合	都内公立小学校

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4051・4052	研修名	国語【Ⅱ・Ⅲ】（高）
研修タイトル	高等学校新科目に対応した国語科の授業づくり －実践的な指導方法の工夫、学習評価について－		
ねらい	国語科の新科目についての指導のポイントを学び、新科目に対応した授業づくりの工夫について学びます。また、新学習指導要領に対応した学習評価についての理解を深めます。		
対象校種・定員	高　　50名まで		
対象教員	９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
				○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
		○				

講師	文部科学省初等中等教育局視学官を予定
特色	◇新科目に対応した国語科の授業づくりについて学ぶ研修 ◇高等学校国語科の新科目についての指導のポイントや新科目の実践的な指導の工夫について考える研修 ◇新学習指導要領に対応した学習評価について学ぶ研修 ※4051と4052は同一研修です。どちらか一方のみ申し込みください。
研修に関する動画	参考:３-(２)、４-(４)、４-(６)
持ち物・ 事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説　国語編

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4051】 ７月５日 (火)	13:30- 16:30	○講義 ・国語科の新科目についての指導のポイント ・新科目の実践的な指導の工夫について ・新学習指導要領に対応した学習評価について ○受講者によるワークショップ	任 A① 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	教職員 研修センター （水道橋）
		【4052】 ７月５日 (火)	13:30- 16:30	○講義 ・国語科の新科目についての指導のポイント ・新科目の実践的な指導の工夫について ・新学習指導要領に対応した学習評価について	任 A① 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン （一方向ライブ配信）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4111・4112	研修名	社会【Ⅰ・Ⅱ】（小・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した社会科の指導法 －実践事例から学ぶ、問題解決的な学習の充実－					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	小・特　　400 名まで（各会場 200 名まで）					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭及び主任教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	都内公立小学校指導教諭等					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4111 と 4112 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　社会編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4111】 6月 20 日（月）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4112】 7月 28 日（木）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4121・4122	研修名	社会【Ⅰ・Ⅱ】（中・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した社会科の指導法					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	中・特　　400 名まで（各会場 200 名まで）					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	都内公立中学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4121 と 4122 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考：５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　社会編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4121】 ８月８日（月）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4122】 ７月７日（木）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4131	研修名	地理歴史【Ⅰ・Ⅱ】（高・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した地理歴史の指導法					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	高・特　　200 名まで					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○			
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
	○					
講師	都内公立高等学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ◇東京都地理教育研究会との連携研修					
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　地理歴史編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	９月 12 日（月）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>4141</td><td>研修名</td><td colspan="4">公民【Ⅰ・Ⅱ】（高・特）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">一人１台端末を活用した公民の指導法</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。
特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　200 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">都内公立高等学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。
◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。
◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　社会編
・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　公民編
※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	7 月 22 日（金）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4151・4152	研修名	社会【Ⅱ・Ⅲ】（小・特）
研修タイトル	「深い学び」を生み出す小学校社会科授業づくり －「見方・考え方」を鍛える指導の充実－		
ねらい	社会科における「深い学び」について理解を深め、具体的な指導方法や指導技術を校内で広める力を養います。		
対象校種・定員	小・特　各 200 名まで		
対象教員	９年目以上の主任教諭、主幹教諭及び指導教諭		

指標との関連						
職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
			○	○	○
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
	○				

講師	国士舘大学　澤井　陽介　教授を予定
特色	◇社会科の指導力を高めるために、具体的な指導法や実践事例を学び、校内や所属の地域において、社会科の授業力と教員の手本となる授業を実践できる力を身に付ける。 ※4151 と 4152 は同一研修です。どちらか一方を申込みください。 4151・・・集合研修:教職員研修センター（水道橋） 4152・・・オンライン（ライブ配信）研修
研修に関する動画	参考:1-(2)、４-(7)(13)(17)、5-(28)
持ち物・ 事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　社会編 ・教科用図書（社会科）担当学年で使用しているもの ※4152 の研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件になります。

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4151】 ８月 30 日（火）	13:30-16:30	○「深い学び」を生み出す小学校社会科授業づくり ○児童が学び探究し追求する社会科の授業づくに向けての理解	任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	集合	教職員 研修センター （水道橋）
		【4152】 ８月 30 日（火）	13:30-16:30	○「深い学び」を生み出す小学校社会科授業づくり ○児童が学び探究し追求する社会科の授業づくに向けての理解	任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	オンライン （一方向ライブ配信）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4161	研修名	社会・地理歴史・公民【Ⅱ・Ⅲ】
研修タイトル	専門家や関係諸機関と連携した社会科授業 －持続可能な社会の構築に向けた法教育・消費者教育の充実、公共施設を生かした教材開発、地理総合・歴史総合・公共の授業づくり－		
ねらい	持続可能な社会の構築に向けた法教育・消費者教育の充実について学びます。さらに、小中では外部の専門家や関係諸機関と連携し、教材開発や授業改善を行うことについて理解を深め、校内で社会科教育を推進する力を高めます。高等学校では、新教科である地理総合・歴史総合・公共の授業づくりの力を高めます。		
対象校種・定員	小・中・高・特　　60名まで		
対象教員	９年目以上の主任教諭、指導教諭及び主幹教諭		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
				○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
		○				

講師	文部科学省教科調査官、大学教授、学芸員等を予定
特色	◇学習指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修 ◇学習指導要領等に基づいて理解し、授業改善について考える研修 ◇外部の専門家や関係諸機関と連携した研修 ※小・中は２会場、特は３会場のいずれかを選択（小・中・特については第１回時に希望調査を実施。高等学校の受講者は２②教職員研修センター会場の研修を受講）
研修に関する動画	参考:１-(２)、２-(２)、３-(３)、３-(４)、４-(７)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　社会編、地理歴史編、公民編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	７月７日（木）	13:30-16:30	○社会科系教科の教材開発の視点と授業改善について ○法教育、消費者教育等の充実に関する研修	任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
	2①	９月～11月	13:30-16:30	○授業改善の視点や方法について助言する力を高め、学校･地域に還元･普及する力を身に付ける研修 ○博物館等を会場とし、フィールドワークを主体とした研修 (小・中・特が受講する研修)	任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	集合	東京都埋蔵文化財センター（各線多摩センター） 国立公文書館（竹橋）
	2②	９月～11月	13:30-16:30	○地理総合･歴史総合･公共の授業づくり（新教科対応） ○実践的な指導方法の工夫、学習評価について (高・特が受講する研修)	任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4211・4212	研修名	算数【Ⅰ・Ⅱ】（小・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した算数科の指導法 －「数学的活動」を取り入れた授業づくり－					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	小・特　　400 名まで（各会場 200 名まで）					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭・主任教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	都内公立小学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4211 と 4212 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　算数編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4211】 9月 27 日（火）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4212】 7 月 8 日（金）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4221・4222	研修名	数学【Ⅰ・Ⅱ】（中・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した数学科の指導法					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	中・特　　400 名まで（各会場 200 名まで）					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	都内公立中学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4221 と 4222 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考：５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　数学編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4221】 8月 30 日（火）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4222】 9月 13 日（火）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>4231</td><td>研修名</td><td colspan="3">数学【Ⅰ・Ⅱ】(高・特)</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">一人１台端末を活用した数学科の指導法</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。
特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　200 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">講師は、都立高等学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。
◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。
◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード、名札、筆記用具、教科用図書（担当学年）
・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）数学編　理数編
※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	８月 25 日（木）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4241</td><td>研修名</td><td colspan="4">数学【Ⅰ】（中・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">数学科指導スキルアップ講座（中学校）
－数学科　授業づくりの基礎・基本－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">数学的活動について理解を深め、学習指導案の協議等を通して数学の授業づくりの基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、都内公立学校の管理職等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇各自の学習指導案を用いたグループ協議実施後、助言者による個々の教員への指導・助言
◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇東京都中学校数学教育研究会と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">事前課題:２-(３)
参考:３-(５)、４-(９)、４-(13)、４-(14)、４-(15)、４-(16)、４-(17)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・上履き・くつ袋・事前課題（後日、「研修受講申込受付サイト」に掲載）・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　数学編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td>回</td><td>実施日</td><td>時間</td><td>内容</td><td>指標</td><td>研修形態</td><td>会場</td></tr>
<tr><td>1</td><td>８月 19 日
(金)</td><td>13:30-
16:30</td><td>○授業づくりの基礎・基本
・中学校学習指導要領に基づく指導改善
・中学校における数学の授業づくり
・指導技術を高める方法について</td><td>教基 A①
教伸 A①</td><td>集合</td><td>北区立
王子桜中学校
（王子）</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>4251</td><td>研修名</td><td colspan="3">数学【Ⅰ】（高・特）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">数学科指導スキルアップ講座（高等学校）
－数学科　授業づくりの基礎・基本－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">数学的活動について理解を深め、数学の授業づくりの基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　200 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td>職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td></td><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">文部科学省の視学官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導要領のポイント等について理解を深め、生徒が中学校までの「数学的活動の楽しさ」、「数学のよさ」を実感し粘り強く考えてきたことを踏まえ、高等学校の学習内容における「数学のよさ」や「数学の有用性や実用性」を認識させるための指導法及び評価方法を学ぶ研修
◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇オンライン（オンデマンド配信）による研修
※この研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件になります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:３-(５)、４-(９)、４-(13)、４-(14)、４-(15)、４-(16)、５-(５)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">指定期間内のアンケート提出をもって出席を確認いたします。
※配信期間が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td>回</td><td>実施日</td><td>時間</td><td>内容</td><td>指標</td><td>研修形態</td></tr>
<tr><td>1</td><td>８月
配信予定</td><td>約 180 分</td><td>○数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する授業の実際</td><td>教基 A①
教伸 A①</td><td>オンライン
（オンデマンド配信）</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4261</td><td>研修名</td><td colspan="4">算数【Ⅱ・Ⅲ】（小・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">数学的に考える資質・能力を育成する授業づくり
－数学的活動の充実を通して－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成を目指した指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">都留文科大学　滝井　章　特任教授　を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修
◇算数科の主体的・対話的で深い学びの実現について、学習指導要領等に基づいて理解を深め、自身や若手教員の授業改善に生かす研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:１-(３)、４-(８)、４-(13)、４-(14)、４-(15)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　算数編</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	６月 23 日（木）	13:30-16:30	○数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する指導の充実 ・問題発見・解決の過程において、統合的・発展的に考えることができる児童を育成する指導について ・主体的・対話的で深い学びの実現について	任 A① 任 A② 任 A③ 指 A②	集合	教職員 研修センター （水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4271・4272	研修名	数学【Ⅱ・Ⅲ】（高・特）
研修タイトル	生徒が数学の有用性や実用性を認識する指導の工夫 －数学の授業づくり・理数科理数探究基礎（新科目）を学ぶ－		
ねらい	学習指導要領の目標を踏まえ、多様な生徒の実態に対応した授業展開や指導の工夫について学び、指導力の向上を図ります。		
対象校種・定員	高・特　　30名まで		
対象教員	９年目以上の教諭、主任教諭		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
				○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				

講師	明治大学の阿原一志教授を予定
特色	◇今後の数学教育の方向性や課題解決のヒントについて理解を深め、授業づくりのために、数学指導技術の専門性を高める研修 ◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修 ※4271と4272は同一研修です。希望の形態（集合 or オンライン）を選び、どちらか一方のみお申込みください。 ※4272のオンラインの研修は、YouTubeを視聴できることが申込の条件になります。
研修に関する動画	参考:２-(３)、３-(５)、４-(９)、４-(13)、４-(14)、４-(15)、４-(16)、４-(17)、５-(５)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説　数学編　理数編

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4271】 ９月27日（火）	13:30-16:30	○新学習指導要領で求められる数学の授業展開と指導の工夫	任A① 任A② 任A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4272】 ９月27日（火）	13:30-16:30	○新学習指導要領で求められる数学の授業展開と指導の工夫	任A① 任A② 任A③	オンライン(一方向ライブ配信)	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4281･4282	研修名	数学【Ⅲ】（中・高・特）
研修タイトル	数学体験館ってどんなところ？ －数学的に考える資質・能力を育成する指導の充実－		
ねらい	数学の専門的知識・理解を深め、数学的に考える資質・能力の育成に向けた指導力の向上を図ります。		
対象校種・定員	中・高・特　　25 名まで		
対象教員	指導教諭及び主幹教諭		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
					○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				

講師	東京理科大学の秋山仁教授、清水克彦教授を予定
特色	◇「数学における基本的な概念や原理・法則のよさ」や「数学的な表現や処理のよさ」、数学が生活に役に立っていることや数学が科学技術を支え相互に関わって発展してきたこと等、社会における数学の有用性や実用性を認識させる事ができる授業づくりのための研修 ◇東京理科大学にある数学体験館での演習を通して、生徒に数学的に考える資質・能力を育成する指導の新たな視点を学ぶ研修 ◇習得した知識・技能、内容を発展させ、学校・地域に普及・還元する力を身に付ける研修 ◇東京理科大学と連携した研修 ※4281 と 4282 は同一研修です。どちらか一方のみお申込みください。
研修に関する動画	参考:１-(３)、４-(８)、４-(13)、４-(14)、４-(15)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4281】 8 月 25 日（木）	13:30-16:30	○数学教育が担うべき役割について ○数学と実社会との関わりについて	指 A① 幹 A①	集合	東京理科大学神楽坂キャンパス（飯田橋）
		【4282】 8 月 26 日（金）	13:30-16:30	○数学教育が担うべき役割について ○数学と実社会との関わりについて	指 A① 幹 A①	集合	東京理科大学神楽坂キャンパス（飯田橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4311・4312	研修名	理科【Ⅰ・Ⅱ】（小・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した理科の指導法 －問題解決を通して、理科の資質・能力を育てる授業－					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	小・特　　400 名まで（各会場 200 名まで）					
対象教員	１～８年目の教諭、９年目以上の教諭・主任教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	都内公立小学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4311 と 4312 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　理科編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4311】 ９月８日（木）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4312】 ７月４日（月）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4321・4322	研修名	理科【Ⅰ・Ⅱ】（中・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した理科の指導法 －問題解決を通して、理科の資質・能力を育てる授業－					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	中・特　　400 名まで（各会場 200 名まで）					
対象教員	１～８年目の教諭、９年目以上の教諭・主任教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	都内公立中学校指導教諭等　を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4321 と 4322 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　理科編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4321】 ９月 28 日（水）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4322】 ８月４日（木）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4331	研修名	理科【Ⅰ・Ⅱ】(高・特)			
研修タイトル	一人１台端末を活用した理科の指導法 －問題解決を通して、理科の資質・能力を育てる授業－					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	高・特　　200 名まで					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○			
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
	○					
講師	講師は、都立高等学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。					
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　理科編					

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	８月 18 日（木）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4341	研修名	理科【Ⅰ】(中・高・特)			
研修タイトル	Biology　神秘の世界を求めて －生物の探究的な実習と探究活動の充実を図る講座－					
ねらい	生徒が理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うこと等を通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するための 基礎・基本を学びます。					
対象校種・定員	中・高・特　　30 名まで					
対象教員	1 年目から 8 年目までの教諭					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○				
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
	○					
講師	講師は、東京都立大学の黒川信准教授を予定					
特色	◇最先端の研究成果を基にした、生物の内容理解及び生徒の関心を高めるための教材や指導方法についての実習 ◇生徒の探究活動を指導する基礎的・基本的な力を身に付ける研修 ◇東京都生物教育研究会と連携した研修 ◇学習指導要領改訂の趣旨についての動画視聴を事前課題とした研修					
研修に関する動画	参考:2-(4)、3-(6)、4-(10)、4-(13)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・白衣 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等 回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	8 月 25 日（木）	13:30-16:30	○最新の生物学における研究の動向について ○生物に関する観察・実験	教基 A①③④⑤ 教伸 A①③④⑤	集合	東京都立大学南大沢キャンパス（南大沢）
2	9 月 ～11 月	13:30-16:30	○生徒が探究的な学びをする授業の工夫	教基 A①③④⑤ 教伸 A①③④⑤	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>4351</td><td>研修名</td><td colspan="4">理科【Ⅱ・Ⅲ】（中・高・特）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">深い学びにつなげる理科及び理数探究基礎の教材開発
―「エネルギー領域」（放射線）「地球領域」（気候変動）に関する最新の研究成果―</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">理科（「エネルギー領域」「地球領域」）に関する最新の研究成果を踏まえ、自然の事物・現象に対する関心や探究心を高めます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">中・高・特　　30名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">東京学芸大学鎌田正裕教授、佐藤尚毅准教授、大西和子特命講師　を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">◇「エネルギー領域」「地球領域」に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究する力を育成するための指導法を学ぶ研修
◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力を高める研修
◇東京学芸大学と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">参考:２-（４）、３-（６）、４-(10)、４-(11)</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	８月３日（水）	13:30-16:30	○エネルギー領域に関する研究の動向 ・放射線に関する内容の教材の理解 ○地球領域に関する研究の動向 ・気候変動に関する内容の教材の理解	任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	集合	東京学芸大学（武蔵小金井）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>4361</td><td>研修名</td><td colspan="3">理科【Ⅱ・Ⅲ】（小・特）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">国立科学博物館で科学への関心を高める
－外部機関を効果的に活用した実践講座－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">理科の学習指導の改善に必要な専門的な知識及び技能の習得を図るとともに、外部機関と連携して科学の面白さや有用性を教員や児童へ伝えたり、研修会の企画力を高めたりする等、校内・地域で理科教育を推進する力を高めます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">国立科学博物館職員等　を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇国立科学博物館と所属校が育成を目指す資質・能力を共有し、相互の独自性を生かした学習プログラムを基に、児童に科学の面白さや有用性を感じさせる学習内容を更に発展させるための研修
◇習得した知識・技能、内容を発展させ、学校・地域に普及・還元する力を身に付ける研修
◇国立科学博物館と連携した研修
◇小学校理科教育推進教員養成講座</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:１-(４)、４-(10)、４-(11)</td></tr>
<tr><td>持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	7月22日 (金)	13:30- 16:30	○理科教育推進のための校外研修等の取組について ・児童が主体的に学ぶための博物館等の利用のポイント	任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	集合	国立 科学博物館 （上野）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>4371</td><td>研修名</td><td colspan="4">理科【Ⅲ】（小・中・高・特）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">ＪＡＸＡで学ぼう
－宇宙開発を通した理科教育の推進－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">理科の学習指導の改善に必要な専門的な知識及び技能の習得を図るとともに、外部機関と連携して科学の面白さや有用性を教員や児童・生徒へ伝えたり、研修会の企画力を高めたりする等、校内・地域で理科教育を推進する力を高めます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">講師は、ＪＡＸＡの職員等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇「宇宙教育の授業への取り入れ方」、「素材の活用法」等の講義や演習を通して科学の面白さや有用性を学び、生徒の学習内容を更に発展させるための研修
◇修得した知識・技能、内容を発展させ、学校・地域に普及・還元する力を身に付ける研修
◇ＪＡＸＡ（宇宙航空研究開発機構）宇宙教育センターと連携した研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:１-(4)、２-(4)、３-(6)、３-(12)、４-(10)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	８月 22 日（月）	13:30-16:30	○科学への関心を高める外部施設の活用の実際 ・ＪＡＸＡ（宇宙航空研究開発機構）宇宙科学研究所の概要 ・宇宙開発の成果 ・宇宙開発の手法を活用した理科教育の推進	教伸 A① 任 A①②③ 指 A①② 幹 A①②	集合	教職員研修センター(水道橋) 又は オンライン (調整中)

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4411・4412	研修名	生活・総合的な学習の時間【Ⅰ・Ⅱ】（小・特）			
研修タイトル	協働しながら学びを深める小学校生活科・総合的な学習の時間 －探究的な学びと学習のプロセスの充実－					
ねらい	生活科・総合的な学習の時間の基礎・基本を学び、生活科及び総合的な学習の時間を通して、児童の資質・能力の向上や育成のための具体的な指導法について学びます。					
対象校種・定員	小・特　200 名まで					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭及び主任教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官等、 都内公立小学校指導教諭等を予定					
特色	◇生活科、総合的な学習の時間（小学校）の学びのプロセスについて、実践事例から具体的に学ぶ研修 ◇講師と受講者と双方向に意見交換などしながら学びを深める研修 ※4411 と 4412 は同一研修です。どちらか一方のみ申込みください。 4411・・・集合研修:教職員研修センター（水道橋） 4412・・・オンライン（ライブ配信）研修 ※4412 の研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件になります。					
研修に関する動画	参考:1-(5)(13)、2-(12)、4-(13)(17)、5-(28)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4411】 7 月 21 日（木）	13:30-16:30	○生活科・総合的な学習の時間（小学校・特別支援学校）の学習指導要領における基本的な考え方 ○探究的な学びの充実とその工夫について	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4412】 7 月 21 日（木）	13:30-16:30	○生活科・総合的な学習の時間（小学校・特別支援学校）の学習指導要領における基本的な考え方 ○探究的な学びの充実とその工夫について	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	オンライン（一方向ライブ配信）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4421・4422	研修名	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間 【Ⅰ・Ⅱ】（中・高・特）
研修タイトル	生徒の主体性を引き出す「探究の時間」へ －教科学習へつなげる、生かす探究的な学習の充実－		
ねらい	総合的な学習の時間（中学校）、総合的な探究の時間（高等学校）の基礎・基本を学び、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間を通して、生徒の資質・能力の向上や育成のための具体的な指導法について学びます。		
対象校種・定員	中・高・特　200 名まで		
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭または主任教諭		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
	人材育成の基本的な事項	○	○	○		
		学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
		○				

講師	國學院大學　田村　学　教授を予定 都内公立中学校教諭、高等学校教諭等を予定
特色	◇中学校及び高等学校の実践発表から具体的な指導方法や組織的な体制を学ぶ研修 ◇中学校から高等学校の学びのつながりを意識した研修 ◇講師と受講者と双方向に意見交換などしながら学びを深める研修 ※4421 と 4422 は同一研修です。どちらか一方のみ申込みください。 4421・・・集合研修:教職員研修センター（水道橋） 4422・・・オンライン（ライブ配信）研修 ※4422 の研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件になります。
研修に関する動画	参考:2-(12)、3-(27)、4-(13)(17)、5-(28)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4421】 ８月 22 日（月）	13:30-16:30	○総合的な学習の時間、総合的な探究の時間の授業展開の基礎 ○生徒主体の授業展開と授業の「質」の向上を図るための取り組み	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4422】 ８月 22 日（月）	13:30-16:30	○総合的な学習の時間、総合的な探究の時間の授業展開の基礎 ○生徒主体の授業展開と授業の「質」の向上を図るための取り組み	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	オンライン（一方向ライブ配信）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4611・4612	研修名	音楽【Ⅰ・Ⅱ】（小・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した音楽科の指導法					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	小・特　　200 名まで（各会場 100 名まで）					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	都内公立小学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4611 と 4612 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　音楽編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4611】 ９月 29 日（木）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4612】 ８月 24 日（水）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4621・4622	研修名	音楽【Ⅰ・Ⅱ】（中・高・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した音楽科の指導法					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	中・高・特　　200 名まで（各会場 100 名まで）					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○			
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
	○					
講師	都内公立中学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ◇東京都中学校音楽教育研究会と連携した研修 ※4621 と 4622 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考：５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　音楽編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	【4621】 ９月 22 日（木）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
	【4622】 ９月 16 日（金）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4631・4632	研修名	音楽【Ⅱ】
研修タイトル	児童・生徒に多様な音楽体験を －我が国の音楽についての指導の充実－		
ねらい	和楽器の実習や実践事例を通して、児童・生徒が多様な音楽活動を幅広く学ぶ授業をつくる力を高めます。		
対象校種・定員	小・中・高・特　　50名まで		
対象教員	９年目以上の教諭、主任教諭等		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
				○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
		○				

講師	講師は、大学講師等を予定
特色	◇和楽器の実技研修を通して、専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修（実践事例は、小学校の内容を中心とする） ◇東京都小学校音楽教育研究会との連携研修 ※4631及び4632は同日開催、楽器別の研修です。希望する分科会（楽器）を選び、いずれか一方のみお申込みください。楽器については、詳細が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。
研修に関する動画	参考:１-(６)、２-(５)、３-(８)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。 ※分科会ごとの持ち物は後日研修受講申込受付システムでお知らせします。

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4631】 ７月 ～９月	13:30- 16:30	○我が国の伝統的な音楽の特徴と背景 ○学習指導要領に基づく和楽器の実技指導のポイント ・和楽器(箏)の実技を通した指導法	任 A① 任 A③	集合	教職員 研修センター （水道橋）
		【4632】 ７月 ～９月	13:30- 16:30	○我が国の伝統的な音楽の特徴と背景 ○学習指導要領に基づく和楽器の実技指導のポイント ・和楽器(三味線)の実技を通した指導法	任 A① 任 A③	集合	教職員 研修センター （水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4641・4642・4643・4644	研修名	音楽【Ⅲ】
研修タイトル	音や音楽、音楽文化と豊かに関わる力を育む音楽科の指導 －学びの連続性や系統性をねらった授業づくり－		
ねらい	多様な角度から学習指導要領の趣旨を踏まえた音楽の授業づくりを推進する力を高めます。		
対象校種・定員	小・中・高・特　　80 名まで		
対象教員	指導教諭及び主幹教諭		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
					○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				

講師	講師は、洗足学園音楽大学教授等を予定
特色	◇講義と実習を通して、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりについて幅広く学ぶ研修 ◇習得した知識・技能、内容を発展させ、学校・地域に普及・還元する力を付ける研修 ◇洗足学園音楽大学との連携研修 ※4641・4642・4643 及び 4644 は同日開催、楽器別の研修です。希望する分科会（楽器）を選び、いずれか一方のみお申込みください。楽器については、詳細が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。 ※この研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件になります。
研修に関する動画	参考:１-(６)、２-(５)、３-(８)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※分科会ごとの持ち物は後日研修受講申込受付システムでお知らせします。 ※研修日程・楽器の内容が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。

日程等

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	【4641】 7月～8月	13:30-16:30	○学習指導要領に基づく授業づくりのポイント	指 A① 幹 A①	オンライン（オンデマンド配信）	
2	8月～9月	13:30-16:30	○実技を通した音楽文化や指導方法等の実践的理解		集合	洗足学園音楽大学（溝の口）
1	【4642】 7月～8月	13:30-16:30	○学習指導要領に基づく授業づくりのポイント	指 A① 幹 A①	オンライン（オンデマンド配信）	
2	8月～9月	13:30-16:30	○実技を通した音楽文化や指導方法等の実践的理解		集合	洗足学園音楽大学（溝の口）
1	【4643】 7月～8月	13:30-16:30	○学習指導要領に基づく授業づくりのポイント	指 A① 幹 A①	オンライン（オンデマンド配信）	
2	8月～9月	13:30-16:30	○実技を通した音楽文化や指導方法等の実践的理解		集合	洗足学園音楽大学（溝の口）
1	【4644】 7月～8月	13:30-16:30	○学習指導要領に基づく授業づくりのポイント	指 A① 幹 A①	オンライン（オンデマンド配信）	
2	8月～9月	13:30-16:30	○実技を通した音楽文化や指導方法等の実践的理解		集合	洗足学園音楽大学（溝の口）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4711・4712	研修名	図画工作【Ⅰ・Ⅱ】（小・特）
研修タイトル	一人１台端末を活用した図画工作科の指導法		
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。		
対象校種・定員	小・特　　200 名まで（各会場 100 名まで）		
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等		

指標との関連						
職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
	○	○	○		
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
	○				

講師	都内公立小学校指導教諭等を予定
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4711 と 4712 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　図画工作編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4711】 6 月 23 日（木）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4712】 8 月 29 日（月）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4721・4722	研修名	美術【Ⅰ・Ⅱ】（中・高・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した美術科の指導法					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	中・高・特　　200 名まで（各会場 100 名まで）					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○			
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
	○					
講師	都内公立小学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4721 と 4722 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　美術編 ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　芸術編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	【4721】 ８月 22 日（月）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
	【4722】 ６月～９月	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	多摩地区会場を予定

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4731	研修名	図画工作・美術【Ⅰ・Ⅱ】
研修タイトル	造形的なよさや美しさに気付き、感じ取り、思考する児童・生徒の育成 －表現と鑑賞を関わらせた図画工作・美術科の指導の工夫－		
ねらい	図画工作・美術科の指導の充実を図るために、表現と鑑賞の関連を図った授業、地域の美術館等と連携した授業の基礎・基本を学びます。		
対象校種・定員	小・中・高・特　　50 名まで		
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
		○				

講師	講師は、美術館学芸員等を予定
特色	◇美術館と連携した授業実践について学ぶ研修
研修に関する動画	参考:１-(７)、２-(６)、３-(８)
持ち物・ 事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・校種に応じた学習指導要領（平成 29・30 年告示）解説　図画工作編、美術編

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	７月４日（月）	13:30- 16:30	○美術館と学校が連携した授業実践 ○美術館と学校との連携による授業の在り方	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員 研修センター （水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4741</td><td>研修名</td><td colspan="4">図画工作・美術【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">自分自身をつくりだす図画工作・美術科の学び
－創造性を育む授業づくりの工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">　創造的な技能、豊かな発想力を育む指導方法、授業展開等について学び、学校・地域に普及・還元する力を身に付けます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50 名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">武蔵野美術大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇「造形的な見方・考え方」を働かせた学習活動について、講義と実習を通して学ぶ研修
◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修
◇武蔵野美術大学と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:１-(７)、２-(６)、３-(８)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・校種に応じた学習指導要領（平成 29・30 年告示）解説　図画工作編、美術編</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	10 月 20 日（木）	13:30-16:30	○学習指導要領のポイント ○表現と鑑賞を関連付けた取組 ・実習を通した材料や用具の取扱い ・事例を通した授業展開の理解	指 A① 幹 A①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4811・4812	研修名	体育【Ⅰ・Ⅱ】（小・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した体育科の指導法					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	小・特　　400 名まで（各会場 200 名まで）					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	都内公立小学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4811 と 4812 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　体育編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4811】 7 月 20 日（水）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4812】 9 月 14 日（水）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4821・4822	研修名	保健体育【Ⅰ・Ⅱ】（中・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した保健体育科の指導法					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	中・特　　400 名まで（各会場 200 名まで）					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	都内公立中学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4821 と 4822 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考：５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　保健体育編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4821】 7 月 13 日（水）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4822】 8 月 18 日（木）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>4831</td><td>研修名</td><td colspan="3">保健体育【Ⅰ・Ⅱ】（高・特）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">一人１台端末を活用した保健体育科の指導法</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。
特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　200 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭等</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">講師は、都立高等学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。
◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。
◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード、名札、筆記用具、教科用図書（担当学年）
・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）保健体育編　体育編
※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	８月 18 日（木）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用 ※4822 保健体育【Ⅰ・Ⅱ】(中・特）と合同で実施	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4841	研修名	体育【Ⅰ】（小・特）			
研修タイトル	運動の楽しさと喜びを味わう －実技を通して学ぶ体育の授業づくり－					
ねらい	生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるための授業づくりについて学び、学習指導における基礎的・基本的な力を身に付けます。					
対象校種・定員	小・特(小学部知的障害部門が対象)　　50 名まで					
対象教員	１年目から８年目までの教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○			
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
		○				
講師	日本体育大学の白旗和也教授等を予定					
特色	◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修 ◇実技や協議、演習を通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ることのできる研修 ◇日本体育大学と連携した研修					
研修に関する動画	参考:１-(９)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの)・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　体育編・運動ができる服装・体育館シューズ・飲料水・タオル等					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	８月 19 日（金）	9:30-12:30	○学習指導要領等のポイント ○実技を通した授業づくりの実践的な理解	教基 A① 教伸 A①	集合	日本体育大学 世田谷キャンパス （桜新町または等々力）
	2	８月 19 日（金）	13:30-16:30	○単元指導計画づくり	教基 A① 教伸 A①	集合	日本体育大学 世田谷キャンパス （桜新町または等々力）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>4851</td><td>研修名</td><td colspan="3">体育・保健体育【Ⅱ・Ⅲ】</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">コオーディネーショントレーニングの基礎と実践
－脳と体幹を刺激する指導法を学ぶ－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">児童・生徒一人一人の体力向上を図るための専門的な技能を習得し、実践的指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、主幹教諭、指導教諭等</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">NPO法人日本コオーディネーショントレーニング協会の職員等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修
◇運動生理学や脳科学の研究から考案されたコオーディネーショントレーニングについて学び、児童・生徒の体力向上を図る取組を計画・推進できるようにする研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:１-(９)、２-(７)、３-(７)、６-(１)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・運動ができる服装・体育館シューズ・飲料水・タオル等
※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	10月7日（金）	13:30-16:30	○コオーディネーショントレーニングの実践	任A① 任A② 任A③ 指A① 幹A①	集合	都立王子特別支援学校（十条）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>4911・4912</td><td>研修名</td><td colspan="4">家庭【Ⅰ・Ⅱ】</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">一人１台端末を活用した家庭科の指導法
－「消費生活」における資質・能力の充実－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。
特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　200 名まで（各会場 100 名まで）</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭または主任教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">都内公立学校指導教諭等</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。
◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。
◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。
◇「C 消費生活・環境」を中心に、学習指導要領の内容について学ぶ研修
※4911 と 4912 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td>持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・各校種の学習指導要領（平成 29・30 年告示）解説　家庭編又は技術・家庭編
※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4911】 ９月 15 日（木）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4912】 ９月 28 日（水）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4921・4922	研修名	技術【Ⅰ・Ⅱ】（中・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した技術科の指導法					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	中・特　　200 名まで（各会場 100 名まで）					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭または主任教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	都内公立中学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※4921 と 4922 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　技術・家庭編 ・事前動画があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【4921】 9 月 26 日（月）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【4922】 7 月 27 日（水）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	4931	研修名	家庭【Ⅱ・Ⅲ】			
研修タイトル	実習を通して学ぶ衣生活指導の工夫 －ＳＤＧｓの視点で学ぶ、これからの家庭科教育－					
ねらい	家庭科、技術・家庭科（家庭分野）において、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせる学習活動の充実を図ることができる指導の基礎・基本を学びます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　60名まで					
対象教員	９年目以上の主任教諭、主幹教諭または指導教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
				○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
		○				
講師	文化学園大学の教授等を予定					
特色	◇持続可能な社会の構築など社会的課題に対応した指導の充実について学ぶ研修 ◇第２回は、【小学校・特別支援学校】【中学校・高等学校】の二つの分科会に分かれて受講 ◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修 ◇文化学園大学との連携した研修					
研修に関する動画	参考:1-(8)、2-(9)、3-(18)、4-(13)(17)、5-(28)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・手縫い針・まち針・針山（ピンクッション）・裁ちばさみ・小ばさみ・チャコペン・30cm定規					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	８月８日（月）	９:30-12:30	○家庭科、技術・家庭科（家庭分野）指導の充実のための基礎・基本	任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	集合	文化学園大学（新宿）
	2	８月８日（月）	13:30-16:30	※学校種ごとの分科会 【実習等】 ○「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせる学習活動の工夫 ○教科横断的な視点での題材構成について	任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	集合	文化学園大学（新宿）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5111・5112	研修名	小学校英語教育入門
研修タイトル	小学校外国語活動・外国語科の授業づくり【入門】 －授業で使う英語表現に慣れ親しもう、具体的な授業展開について学ぼう－		
ねらい	外国語活動及び外国語科の授業実践に必要な英語力や指導技術を身に付けられるよう、大学の教授を講師とした研修を通じて、小学校外国語活動及び外国語科の授業づくりの基礎・基本を学びます。		
対象校種・定員	小・特　　50名まで		
対象教員	１年目から８年目までの教諭		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○			
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
		○				

講師	成蹊大学　小野　尚美　教授を予定
特色	◇教諭１年目から８年目を対象とした、学習指導要領の趣旨を踏まえ、ねらいに迫るための指導計画の作成及び学習指導の力を高める研修 ◇“Let’s Try!”及び“Welcome to Tokyo”、教科書の活用や授業展開が理解できる研修 ◇成蹊大学と連携した研修 ※5111と5112は同一研修です。どちらか一方のみ、お申し込みください。 ※第２回は、5111、5112ともに集合研修となります。 ※5112の研修は、YouTubeを視聴できることが申込の条件になります。
研修に関する動画	参考:１-(10)、１-(12)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　外国語活動・外国語編 ※事前に「英語教育中核教員養成講座講師用テキスト」のSTEP１及びSTEP２を読んで御受講ください。 ※「英語教育中核教員養成講座講師用テキスト」は、各学校に配布されています。

日程等

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	【5111】 ６月24日（金）	13:30-16:30	○授業での児童とのやり取りを想定し、児童の発話に対して適切な対応ができる。 ○授業づくりのポイントや、ねらいを実現するための指導の手だてを理解する。	教基 A① 教基 A② 教基 A③ 教基 A④ 教伸 A① 教伸 A② 教伸 A③ 教伸 A④	集合	教職員研修センター（水道橋）
	【5112】 ６月24日（金）	13:30-16:30	○授業での児童とのやり取りを想定し、児童の発話に対して適切な対応ができる。 ○授業づくりのポイントや、ねらいを実現するための指導の手だてを理解する。	教基 A① 教基 A② 教基 A③ 教基 A④ 教伸 A① 教伸 A② 教伸 A③ 教伸 A④	オンライン（一方向ライブ配信）	
2	７月１日（金）	13:30-16:30	○児童に聞かせる内容の質を高くするための自分の課題に気付き、自主的に英語力アップに取り組むことができる。 ○１単位時間の指導の組み立て方を理解する。	教基 A① 教基 A② 教基 A③ 教基 A④ 教伸 A① 教伸 A② 教伸 A③ 教伸 A④	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5121・5122	研修名	英語【Ⅰ・Ⅱ】（小・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した小学校外国語科の指導法 －学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりの基礎・基本－					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	小・特　　400 名まで（各会場 200 名まで）					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭または主任教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	都内公立小学校指導教諭等					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。 ※5121 と 5122 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考:５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　外国語活動・外国語編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【5121】 8 月 24 日（水）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【5122】 9 月 12 日（月）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5131・5132	研修名	英語【Ⅰ・Ⅱ】（中・特）			
研修タイトル	一人１台端末を活用した中学校外国語科の指導法 －学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりの基礎・基本－					
ねらい	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員	中・特　　400 名まで（各会場 200 名まで）					
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭及び主任教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	都内公立中学校指導教諭等を予定					
特色	◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。 ◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。 ◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます ※5131 と 5132 は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。					
研修に関する動画	参考：５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード　・筆記用具　・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　外国語編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【5131】 8 月 31 日（水）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【5132】 9 月 20 日（火）	13:30-16:30	○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	ルネこだいら（小平）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>5141</td><td>研修名</td><td colspan="5">英語【Ⅰ・Ⅱ】（高・特）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="6">一人１台端末を活用した高等学校外国語科の指導法
－新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりの基礎・基本－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="6">コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。
特に、授業中に一人１台端末を活用して効果的に指導する能力を高めます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="6">高・特　　200 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="6">１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭及び主任教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="6">都内公立学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="6">◇教育の情報化に関する基本的知識の理解、広い視点での一人１台端末の活用の必要性について学びます。
◇指導教諭等による実践授業の紹介、一人１台端末を活用した授業設計についての講義・演習等を通して、実践的指導力を高めます。
◇一人１台端末を活用した授業設計の演習等を行うことで、実践に生かせる指導方法を学びます。</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="6">参考:５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="6">・二次元コード　・筆記用具　・名札（所属校で使用しているもの）
・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　外国語編
※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td>回</td><td>実施日</td><td>時間</td><td>内容</td><td>指標</td><td>研修形態</td><td>会場</td></tr>
<tr><td>1</td><td>８月 26 日（金）</td><td>13:30-16:30</td><td>○各教科の特質や学習過程を踏まえた、一人１台端末の効果的な活用</td><td>教基 A①
教伸 A①
任 A①
任 A②
任 A③</td><td>集合</td><td>教職員研修センター（水道橋）</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5151・5152	研修名	英語【Ⅱ・Ⅲ】（小・中・特）			
研修タイトル	小学校外国語科から中学校外国語科への授業づくり －小中の学びのつながりを意識した外国語科の指導－					
ねらい	小学校から中学校までの系統的な指導の在り方について学び、小学校及び中学校の外国語科の指導に関する理解を深めます。					
対象校種・定員	小・中・特　　200 名まで					
対象教員	９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
				○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
		○				
講師	文部科学省　直山　木綿子　視学官を予定 都内公立学校指導教諭等を予定					
特色	◇９年目以上の教諭、主任教諭を対象とした、専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修 ◇小学校及び中学校の外国語科の目標や内容、小・中連携や学習内容の接続のポイントについて理解できる研修 ※5151 と 5152 は同一研修です。どちらか一方のみ、お申し込みください。 ※5152 の研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件になります。					
研修に関する動画	参考:1-(10)、2-(10)、3-(3)、6-(13)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード　・筆記用具　・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　外国語活動・外国語編 ・中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　外国語編					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【5151】 ９月 15 日（木）	13:30-16:30	○学びのつながりを意識した外国語の授業の実際 ○言語活動を生かした学習活動の充実 ○小中連携を意識した指導のポイント	任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【5152】 ９月 15 日（木）	13:30-16:30	○学びのつながりを意識した外国語の授業の実際 ○言語活動を生かした学習活動の充実 ○小中連携を意識した指導のポイント	任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	オンライン（一方向ライブ配信）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5161・5162	研修名	英語【Ⅱ・Ⅲ】（中・高・特）
研修タイトル	中学校・高等学校外国語科の授業づくり －グローバル化に対応した実用的な英語力を身に付けさせる指導の工夫－		
ねらい	生徒の４技能を養い、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する指導の工夫について学び、自身の授業改善を図ります。		
対象校種・定員	中・高・特　　200 名まで		
対象教員	９年目以上の教諭、主任教諭、主幹教諭及び指導教諭		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
				○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				

講師	一般財団法人実用英語推進機構　安河内　哲也　代表理事
特色	◇外部講師による授業づくりの在り方に関する講義・演習 ※5161 と 5162 は同一研修です。どちらか一方のみお申込みください。 ※5162 の研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件となります。
研修に関する動画	参考:２-(10)、３-(９)、３-(27)
持ち物・事前課題等	・二次元コード　・筆記用具　・名札（所属校で使用しているもの）

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【5161】 ９月 12 日（月）	13:30-16:30	○講義・演習「グローバル化に対応した実用的な英語力を身に付けさせる指導の工夫」	任 A 指 A 幹 A	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【5162】 ９月 12 日（月）	13:30-16:30	○講義・演習「グローバル化に対応した実用的な英語力を身に付けさせる指導の工夫」	任 A 指 A 幹 A	オンライン（一方向ライブ配信）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5171・5172	研修名	英語【Ⅱ・Ⅲ】（高）
研修タイトル	高等学校新科目に対応した英語科の授業づくり －ディベート等を授業で扱う際のポイントやＡＬＴとの実践的な指導の工夫－		
ねらい	ディベート、ディスカッション等の指導方法を学び、新科目に対応した授業づくりについて理解するとともに、ＡＬＴとの実践的な指導の工夫について理解を深めます。		
対象校種・定員	高　　50 名まで		
対象教員	９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭		

指標との関連						
職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
			○	○	○	
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
	○					

講師	東京学芸大学　高山　芳樹　教授
特色	◇新学習指導要領について理解を深める研修 ◇ディベート、ディスカッション等の指導方法について理解を深める研修 ※5171 と 5172 は同一研修です。どちらか一方のみお申込みください。 ※5172 の研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件となります。
研修に関する動画	参考:３-(９)、３-(27)
持ち物・事前課題等	・二次元コード　・筆記用具　・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　外国語編

日程等 回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	【5171】 ７月 12 日（火）	13:30-16:30	○講義・演習「高等学校新科目に対応した英語科の授業づくり」	任 A 指 A 幹 A	集合	教職員研修センター（水道橋）
	【5172】 ７月 12 日（火）	13:30-16:30	○講義・演習「高等学校新科目に対応した英語科の授業づくり」	任 A 指 A 幹 A	オンライン（一方向ライブ配信）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5173	研修名	英語還元（高・特）			
研修タイトル	英語教育推進リーダー中央研修還元研修					
ねらい	最新の指導理論や方法について研修することにより、東京都における英語教育を推進する力を高めます。					
対象校種・定員	高・特　　40名まで					
対象教員	高等学校、中等教育学校、特別支援学校の外国語（英語）科教員のうち、平成31年度末時点の未修了者で、令和３年度末までに未修了の者					

指標との関連						
職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
	○					

講師	英語教育推進リーダー中央研修修了者
特色	◇平成27年度から平成31年度までの文部科学省による「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」と同じ内容の研修 ◇英語教育推進リーダー中央研修修了者を講師とした研修 ◇本講座は４回全てを受講することで修了 ◇令和３年度の未修了者は、令和３年度未受講の内容を受講することで、本研修の修了となります。
研修に関する動画	参考:３-(９)、３-(27)
持ち物・事前課題等	・二次元コード　・筆記用具　・名札（所属校で使用しているもの）

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7月26日（火）	13:30-17:00	○講義・演習「聞くことに係る言語活動」、「コミュニケーションを支えるための文法」	教基A 教伸A 任A 指A 幹A	集合	教職員研修センター（水道橋）
	2	8月5日（金）	13:30-17:00	○講義・演習「話すことに係る言語活動」、「自己関連性」	教基A 教伸A 任A 指A 幹A	集合	教職員研修センター（水道橋）
	3	8月10日（水）	13:30-17:00	○講義・演習「読むことに係る言語活動」	教基A 教伸A 任A 指A 幹A	集合	教職員研修センター（水道橋）
	4	8月26日（金）	13:30-17:00	○講義・演習「教室英語」「語彙・表現に係る言語活動」「書くことに係る言語活動」	教基A 教伸A 任A 指A 幹A	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5201 ・ 5202 ・ 5203	研修名	英語 ONE DAY（Basic）A
研修タイトル	ONE DAY はじめての小学校英語講座【Basic】A －英会話にチャレンジ！英語らしい発音やクラスルームイングリッシュを身に付けよう－		
ねらい	講師や受講者との英語によるコミュニケーションの体験を通して、英語を話す楽しさを体験するとともに、指導に役立つ英語表現を習得します。		
対象校種・定員	小・特　　各回 20 名まで		
対象教員	自身の英語力向上に意欲のある教員		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				

講師	外部委託業者が手配する外国人講師等
特色	◇双方向ライブ配信を利用したオンラインによる英会話研修 ◇少人数でのグループレッスン ◇英語を話すことにチャレンジしたい人向けの研修 ※5201～5203 は同一研修です。どちらか一方のみ、お申込みください。
研修に関する動画	参考:1 -(10)、1 -(12)
持ち物・事前課題等	・双方向ライブ配信への参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日 13:00～13:30 の間にアクセスして参加してください。 ・同一校で２名以上が受講する場合、別々にログインしてください。 ・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【5201】 7 月 25 日（月）	13:30-16:30	○挨拶、自己紹介 ○英語の発音、クラスルームイングリッシュ ○歌やチャンツ ○絵本	教基 A 教伸 A 任 A 指 A 幹 A	オンライン	(双方向ライブ配信)
		【5202】 8 月 12 日（金）	13:30-16:30	○挨拶、自己紹介 ○英語の発音、クラスルームイングリッシュ ○歌やチャンツ ○絵本	教基 A 教伸 A 任 A 指 A 幹 A	オンライン	(双方向ライブ配信)
		【5203】 8 月 22 日（月）	13:30-16:30	○挨拶、自己紹介 ○英語の発音、クラスルームイングリッシュ ○歌やチャンツ ○絵本	教基 A 教伸 A 任 A 指 A 幹 A	オンライン	(双方向ライブ配信)

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5211 ・ 5212 ・ 5213	研修名	英語 ONE DAY（Basic） B
研修タイトル	ONE DAY はじめての小学校英語講座【Basic】 B －英会話にチャレンジ！外国語活動教材で扱う語彙や表現を使って、アクティビティや英会話を楽しもう－		
ねらい	講師や受講者との英語によるコミュニケーションの体験を通して、英語を話す楽しさを体験するとともに、指導に役立つ英語表現を習得します。		
対象校種・定員	小・特　　各回 20 名まで		
対象教員	自身の英語力向上に意欲のある教員		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				

講師	外部委託業者が手配する外国人講師等
特色	◇双方向ライブ配信を利用したオンラインによる英会話研修 ◇少人数でのグループレッスン ◇英語を話すことにチャレンジしたい人向けの研修 ※5211～5213 は同一研修です。どちらか一方のみ、お申込みください。
研修に関する動画	参考:1 -(10)、 1 -(12)
持ち物・事前課題等	・双方向ライブ配信への参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日 13:00～13:30 の間にアクセスして参加してください。 ・同一校で２名以上が受講する場合、別々にログインしてください。 ・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【5211】 7 月 27 日（水）	13:30-16:30	○挨拶や自己紹介 ○「Let ’s Try!」で扱う語彙や表現を使ったアクティビティ ○児童とのスモールトークを想定した会話	教基 A 教伸 A 任 A 指 A 幹 A	オンライン	(双方向ライブ配信)
		【5212】 8 月 18 日（木）	13:30-16:30	○挨拶や自己紹介 ○「Let ’s Try!」で扱う語彙や表現を使ったアクティビティ ○児童とのスモールトークを想定した会話	教基 A 教伸 A 任 A 指 A 幹 A	オンライン	(双方向ライブ配信)
		【5213】 8 月 23 日（火）	13:30-16:30	○挨拶や自己紹介 ○「Let ’s Try!」で扱う語彙や表現を使ったアクティビティ ○児童とのスモールトークを想定した会話	教基 A 教伸 A 任 A 指 A 幹 A	オンライン	(双方向ライブ配信)

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5221 ・ 5222 ・ 5223	研修名	英語 ONE DAY（Basic） C
研修タイトル	ONE DAY はじめての小学校英語講座【Basic】C －英会話にチャレンジ！教科書で扱う語彙や表現を使って、アクティビティや英会話を楽しもう－		
ねらい	講師や受講者との英語によるコミュニケーションの体験を通して、英語を話す楽しさを体験するとともに、指導に役立つ英語表現を習得します。		
対象校種・定員	小・特　　各回 20 名まで		
対象教員	自身の英語力向上に意欲のある教員		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				

講師	外部委託業者が手配する外国人講師等
特色	◇双方向ライブ配信を利用したオンラインによる英会話研修 ◇少人数でのグループレッスン ◇英語を話すことにチャレンジしたい人向けの研修 ※5221～5223 は同一研修です。どちらか一方のみ、お申込みください。
研修に関する動画	参考:1 -(10)、1 -(12)
持ち物・事前課題等	・双方向ライブ配信への参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日 13:00～13:30 の間にアクセスして参加してください。 ・同一校で２名以上が受講する場合、別々にログインしてください。 ・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【5221】 7 月 28 日（木）	13:30-16:30	○挨拶や自己紹介 ○外国語科の教科書で扱う語彙や表現を使ったアクティビティ ○児童とのスモールトークを想定した会話	教基 A 教伸 A 任 A 指 A 幹 A	オンライン	(双方向ライブ配信)
		【5222】 8 月 19 日（金）	13:30-16:30	○挨拶や自己紹介 ○外国語科の教科書で扱う語彙や表現を使ったアクティビティ ○児童とのスモールトークを想定した会話	教基 A 教伸 A 任 A 指 A 幹 A	オンライン	(双方向ライブ配信)
		【5223】 8 月 24 日（水）	13:30-16:30	○挨拶や自己紹介 ○外国語科の教科書で扱う語彙や表現を使ったアクティビティ ○児童とのスモールトークを想定した会話	教基 A 教伸 A 任 A 指 A 幹 A	オンライン	(双方向ライブ配信)

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>5231</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語 ONE DAY（Advanced）A</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">ONE DAY はじめての小学校英語講座【Advanced】A
－英語でコミュニケーション！ティーチャートークの技能を高めよう－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">ネイティブ講師とのオールイングリッシュによるコミュニケーションを通して英語に対する自信を高めるとともに、指導に役立つ発展的な英語表現を習得します。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　20 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">自身の英語力向上に意欲のある教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">外部委託業者が手配する外国人講師</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇双方向ライブ配信を利用したオンラインによる英会話研修
◇少人数でのグループレッスン
◇ネイティブ講師によるオールイングリッシュの研修
◇会話表現の幅を広げたい人や英語で自分の意見を伝えたり、より会話を楽しんだりしたい人向けの研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:１-(10)、１-(12)</td></tr>
<tr><td>持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・双方向ライブ配信への参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日 13:00～13:30 の間にアクセスして参加してください。
・同一校で２名以上が受講する場合、別々にログインしてください。
・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	7月 29 日（金）	13:30-16:30	○様々なトピックを題材とした会話 ○ティーチャートークの技能を高める演習	教基 A 教伸 A 任 A 指 A 幹 A	オンライン（双方向ライブ配信）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>5232</td><td>研修名</td><td colspan="4">英語 ONE DAY（Advanced） B</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">ONE DAY はじめての小学校英語講座【Advanced】 B
－英語でコミュニケーション！ＡＬＴとのティームティーチングや打合せに役立つ表現を学ぼう－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">ネイティブ講師とのオールイングリッシュによるコミュニケーションを通して英語に対する自信を高めるとともに、指導に役立つ発展的な英語表現を習得します。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　20 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">自身の英語力向上に意欲のある教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2">○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">外部委託業者が手配する外国人講師</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇双方向ライブ配信を利用したオンラインによる英会話研修
◇少人数でのグループレッスン
◇ネイティブ講師によるオールイングリッシュの研修
◇会話表現の幅を広げたい人や英語で自分の意見を伝えたり、より会話を楽しんだりしたい人向けの研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:１-(10)、１-(12)</td></tr>
<tr><td>持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・双方向ライブ配信への参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日 13:00～13:30 の間にアクセスして参加してください。
・同一校で２名以上が受講する場合、別々にログインしてください。
・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td>回</td><td>実施日</td><td>時間</td><td>内容</td><td>指標</td><td>研修形態</td><td>会場</td></tr>
<tr><td>1</td><td>８月４日（木）</td><td>13:30-
16:30</td><td>○様々なトピックを題材とした会話
○授業や学校に関わる表現の学習
○ALT との授業や打合せ等を想定した会話</td><td>教基 A
教伸 A
任 A
指 A
幹 A</td><td colspan="2">オンライン
（双方向ライブ配信）</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5233</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語 ONE DAY（Advanced）C</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">ONE DAY はじめての小学校英語講座【Advanced】C
－英語でコミュニケーション！英語によるフリートークを楽しもう－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">ネイティブ講師とのオールイングリッシュによるコミュニケーションを通して英語に対する自信を高めるとともに、指導に役立つ発展的な英語表現を習得します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　20 名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">自身の英語力向上に意欲のある教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">外部委託業者が手配する外国人講師</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇双方向ライブ配信を利用したオンラインによる英会話研修
◇少人数でのグループレッスン
◇ネイティブ講師によるオールイングリッシュの研修
◇会話表現の幅を広げたい人や英語で自分の意見を伝えたり、より会話を楽しんだりしたい人向けの研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:１-(10)、１-(12)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・双方向ライブ配信への参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日 13:00～13:30 の間にアクセスして参加してください。
・同一校で２名以上が受講する場合、別々にログインしてください。
・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	８月９日（火）	13:30-16:30	○様々なトピックを題材とした講師や他の受講者との会話 ○講師や他の受講者とのフリートークレッスン	教基 A 教伸 A 任 A 指 A 幹 A	オンライン（双方向ライブ配信）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5241	研修名	英語コミュニケーション（日本の伝統・文化紹介）			
研修タイトル	日本の伝統・文化を英語で紹介しよう！ －オンラインツールを活用した国際交流－					
ねらい	都内の名所を英語で紹介する等の実地研修を通して自身の英語力を高めるとともに、英語科の授業における一人１台端末の活用について学びます。					
対象校種・定員	中・高・特　　20 名まで					
対象教員	基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの英語力向上を目指したい教員					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
	○					
講師	外部委託業者講師					
特色	◇都内名所や日本の伝統文化に英語で触れながら、外国人講師へ日本の伝統文化を英語で紹介したり、語彙や表現を学んだりしながら、自身の英語能力のスキルアップを図る ◇都の英語独自教材‘Welcome To Tokyo”を活用した研修 ◇第２回では、一人１台端末を活用した外国人講師へ、日本の伝統や文化を英語で紹介する等の研修を通して、所属校でデジタル機器を活用した国際理解教育に役立つノウハウを身に付ける					
研修に関する動画	参考:2-(10)、3-(3)、6-(7)、6-(8)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・第２回のみ、“Welcome to Tokyo Intermediate”（中学校用）または、“Welcome to Tokyo Intermediate”（高等学校用）					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	10 月 6 日（木）	13:30-16:30	【実地研修】 ○都内名所を巡りながら、ネイティブ講師と英語を用いて日本の伝統・文化を紹介する ○語彙や表現方法を適切に学びながら、自身の英語力を高める	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	集合	都内名所（浅草周辺）
	2	10月13日（木）	13:30-16:30	【演習】 ○一人１台端末を活用しながら、オンラインでネイティブ講師と対話 ○デジタル機器を活用した授業案づくりやミニレッスン	教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5251・5252	研修名	英語力 UP 講座【英検準 2 級取得支援講座】
研修タイトル	英語力ＵＰ！　集中講座 －問題演習や外国人講師との模擬面接を通して－		
ねらい	講師との問題演習や模擬面接を通して、英語検定準 2 級の取得に必要な英語力を身に付けます。		
対象校種・定員	小・中・高・特　　各 20 名まで		
対象教員	自身の英語力向上に意欲のある教員		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				

講師	外部委託者講師
特色	◇英語検定準 2 級一次試験対策・二次試験スピーキング対策 ◇授業を行うために必要な英語力の育成 ※5251 と 5252 は同一研修です。一方のみお申込みください。
研修に関する動画	参考:1 -(10)、1 -(12)、2 -(10)、3 -(９)、3 -(26)
持ち物･事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）

日程等 回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	【5251】8 月 1 日（月）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
	【5252】8 月 3 日（水）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン（双方向ライブ配信）	
2	【5251】8 月 8 日（月）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
	【5252】8 月 10 日（水）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン（双方向ライブ配信）	
3	【5251】8 月 29 日（月）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
	【5252】8 月 30 日（火）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン（双方向ライブ配信）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5253・5254	研修名	英語力 UP 講座【英検 2 級取得支援講座】
研修タイトル	英語力ＵＰ！　集中講座 －問題演習や外国人講師との模擬面接を通して－		
ねらい	講師との問題演習や模擬面接を通して、英語検定 2 級の取得に必要な英語力を身に付けます。		
対象校種・定員	小・中・高・特　　各 20 名まで		
対象教員	自身の英語力向上に意欲のある教員		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				

講師	外部委託者講師
特色	◇英語検定準 2 級一次試験対策・二次試験スピーキング対策 ◇授業を行うために必要な英語力の育成 ※5253 と 5254 は同一研修です。一方のみお申込みください。
研修に関する動画	参考:1 -(10)、1 -(12)、2 -(10)、3 -(９)、3 -(26)
持ち物･事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）

日程等

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	【5253】 8 月 1 日（月）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
	【5254】 8 月 3 日（水）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン（双方向ライブ配信）	
2	【5253】 8 月 8 日（月）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
	【5254】 8 月 10 日（水）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン（双方向ライブ配信）	
3	【5253】 8 月 29 日（月）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
	【5254】 8 月 30 日（火）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン（双方向ライブ配信）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5261・5262 5263・5264	研修名	英語力 UP 講座 【英検準１級取得・TOEIC730 点突破支援講座】
研修タイトル	英語力ＵＰ！　集中講座 －問題演習や外国人講師との模擬面接を通して－		
ねらい	講師との問題演習や模擬面接を通して、英語検定準１級や TOEIC730 点以上の取得に必要な英語力を身に付けます。		
対象校種・定員	小・中・高・特　　各 20 名まで		
対象教員	自身の英語力向上に意欲のある教員		

指標との関連	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
職層	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
	○	○	○	○	○
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
	○				

講師	外部委託者講師
特色	◇英語検定準１級一次試験対策・二次試験スピーキング対策 ◇授業を行うために必要な英語力の育成 ※5261 から 5264 は同一研修です。任意の一研修をお申込みください。
研修に関する動画	参考:１-(10)、１-(12)、２-(10)、３-(９)、３-(26)
持ち物･事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）

日程等 回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	【5261】8月5日（金） 【5262】9月7日（水）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
1	【5263】8月3日（水） 【5264】9月5日（月）	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン（双方向ライブ配信）	
2	【5261】8月17日(水) 【5262】9月20日(火)	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
2	【5263】8月10日(水) 【5264】9月22日(木)	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン（双方向ライブ配信）	
3	【5261】8月31日(水) 【5262】10月3日(月)	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
3	【5263】8月30日(火) 【5264】10月7日(金)	13:30-16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン（双方向ライブ配信）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5265・5266 5267・5268	研修名	英語力 UP 講座 【英検１級取得・TOEIC860 点突破支援講座】
研修タイトル	英語力ＵＰ！　集中講座 －問題演習や外国人講師との模擬面接を通して－		
ねらい	講師との問題演習や模擬面接を通して、英語検定１級や TOEIC860 点以上の取得に必要な英語力を身に付けます。		
対象校種・定員	小・中・高・特　　20 名まで		
対象教員	自身の英語力向上に意欲のある教員		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
		○				

講師	外部委託者講師
特色	◇英語検定準１級一次試験対策・二次試験スピーキング対策 ◇授業を行うために必要な英語力の育成 ※5265 から 5268 は同一研修です。任意の一研修をお申込みください。
研修に関する動画	参考:１-(10)、１-(12)、２-(10)、３-(９)、３-(26)
持ち物･事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	【5265】 8月5日（金） 【5266】 9月7日（水）	13:30- 16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【5267】 8月3日（水） 【5268】 9月5日（月）	13:30- 16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン（双方向ライブ配信）	
	2	【5265】 8月17日(水) 【5266】 9月20日(火)	13:30- 16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【5267】 8月10日(水) 【5268】 9月22日(木)	13:30- 16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン（双方向ライブ配信）	
	3	【5265】 8月31日(水) 【5266】 10月3日(月)	13:30- 16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【5267】 8月30日(火) 【5268】 10月7日(金)	13:30- 16:30	・語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ・面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン（双方向ライブ配信）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>5311</td><td>研修名</td><td colspan="3">道徳【Ⅰ】（小・特）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">小学校、道徳科の授業で大切なこと
－道徳科の基礎・基本（小学校）－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">学習指導要領を踏まえた小学校道徳科の目標及び特質を理解するとともに、具体的な授業展開や指導法、評価の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　30名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">都内公立小学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇学習指導要領を踏まえた授業づくりと評価の在り方について学ぶ研修
◇道徳科指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:１-(11)、４-(1)、４-(15)</td></tr>
<tr><td>持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・上履き・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　特別の教科道徳編
・事前動画があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。
※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	11月4日（金）	13:30-16:30	○道徳科の特質を生かした授業づくり	教基 A① 教伸 A①	集合	日野市立東光寺小学校（日野）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>5312</td><td>研修名</td><td colspan="3">道徳【Ⅰ】（中・特）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">中学校、道徳科の授業で大切なこと
－道徳科の基礎・基本（中学校）－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">学習指導要領を踏まえた中学校道徳科の目標及び特質を理解するとともに、具体的な授業展開や指導法、評価の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">中・特　　30名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">都内公立中学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇学習指導要領を踏まえた授業づくりと評価の在り方について学ぶ研修
◇道徳科指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:１-(11)、４-(1)、４-(15)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・上履き・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　特別の教科道徳編
・事前動画があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。
※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	10月12日（水）	13:30-16:30	○道徳科の特質を生かした授業づくり	教基 A① 教伸 A①	集合	渋谷区立代々木中学校（幡ヶ谷又は代々木上原）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5411・5412	研修名	特別活動【Ⅰ】
研修タイトル	特別活動の基礎・基本 －実践発表から学ぶ、三つの視点を踏まえた資質・能力の育み方－		
ねらい	「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点を踏まえた特別活動における学習過程の基礎・基本を学びます。		
対象校種・定員	小・中・高・特　　100 名まで		
対象教員	１年目から８年目までの教諭		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○			
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
		○				

講師	大学講師等 都内公立小学校・高等学校指導教諭等を予定
特色	◇「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせる実践的な学習過程について学ぶ研修 ◇特別活動に関する基礎的・基本的内容について理解する研修 ◇東京都小学校特別活動研究会、東京都高等学校特別活動研究会との連携研修 ※5411 と 5412 は同日開催の研修です。希望する分科会を選び、どちらか一方のみお申込みください。
研修に関する動画	参考:１-(６)、２-(５)、３-(８)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・校種に応じた学習指導要領（平成 29・30 年告示）解説　特別活動編 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【5411】 ９月 ～11 月	13:30- 16:30	＜全体会＞ ○特別活動の指導の充実のための基礎・基本 ・学習指導要領等のポイント ・特別活動で育成すべき資質・能力 ・キャリア・パスポートの活用 ＜小・中学校分科会＞ ○三つの視点を踏まえた特別活動の学習過程の実際 ・実践発表 ・グループ協議	教基 A① 教伸 A①	集合	教職員 研修センター （水道橋）
		【5412】 ９月 ～11 月	13:30- 16:30	＜全体会＞ ○特別活動の指導の充実のための基礎・基本 ・学習指導要領等のポイント ・特別活動で育成すべき資質・能力 ・キャリア・パスポートの活用 ＜高等学校分科会＞ ○三つの視点を踏まえた特別活動の学習過程の実際 ・実践発表 ・グループ協議	教基 A① 教伸 A①	集合	教職員 研修センター （水道橋）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5511	研修名	農業【Ⅰ】			
研修タイトル	作物や食品について学ぼう！ －最新の農業と授業づくり－					
ねらい	作物の生産と経営に必要な基本的な内容を学ぶとともに食品について学び、安全な食についての理解を深めます。					
対象校種・定員	高・特　　30名まで					
対象教員	1年目から8年目までの教諭					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○				
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
	○					
講師	東京農業大学教授等を予定					
特色	◇最先端テクノロジーや情報を活用した農業について体験的に習得する研修 ◇東京農業大学と連携した研修					
研修に関する動画	参考：3-(14)、4-(13)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）					

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	8月23日（火）	13：30-16：30	○農業教育における施策と課題 ○農業に関する具体的な指導の在り方や効果的な指導法の工夫	教基A①②③④⑤ 教伸A①②③④⑤	集合	東京農業大学世田谷キャンパス（経堂）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	5611	研修名	工業【Ⅰ】			
研修タイトル	機械加工技術を習得しよう！－各種大型機械と測定器の使い方－					
ねらい	六尺旋盤の基本的な操作技術や安全作業及び３級及び２級技能検定・旋盤加工の実技課題と各種測定器具の使用方法について学びます。					
対象校種・定員	高・特　10 名まで					
対象教員	１年目から８年目までの教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○			
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
		○				
講師	都立六郷工科高等学校　専修実習助手等					
特色	◇大型機械の操作に関する資格取得に必要な知識・技能の習得 ◇大型機械の安全な操作方法や正確な計測方法等について実習 ◇東京都機械工業教育研究会と連携した研修					
研修に関する動画	参考:10-(15)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・タオル・長袖作業服（つなぎ以外）・長ズボン・保護メガネ・安全帽・安全靴					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	８月 25 日（木）	9:30-12:30	【実習他】 ○大型機械の基本的な操作技術や安全な作業 ○大型機械の実技指導の課題と観点	教基 A① 教伸 A①	集合	都立六郷工科高等学校（雑色）
	2	８月 25 日（木）	13:30-16:30	【実習他】 ○大型機械の基本的な操作技術や安全な作業 ○大型機械の実技指導の課題と観点	教基 A① 教伸 A①	集合	都立六郷工科高等学校（雑色）

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5621</td><td>研修名</td><td colspan="3">工業【Ⅱ】</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">高等学校新科目に対応した工業科の授業づくり
－「工業情報数理」及び「ＩＴの基礎知識」－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">「工業情報数理」についての指導内容、指導方法、学習評価等について の理解を深めるとともに、「ＩＴの基礎知識」を学び、これからの工業科の担当教員としての資質・能力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高　　40 名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">東海大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇「工業情報数理」の内容及び指導方法の理解を深める研修
◇工業科教員として必要な「ＩＴの基礎知識」についての理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:３-(15)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード　・筆記用具　・名札（所属校で使用しているもの）
・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　工業編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td>回</td><td>実施日</td><td>時間</td><td>内容</td><td>指標</td><td>研修形態</td><td>会場</td></tr>
<tr><td>1</td><td>８月 26 日（金）</td><td>13:30-16:30</td><td>○講義・演習「高等学校新科目に対応した工業科の授業づくり」</td><td>任 A</td><td>集合</td><td>東海大学
高輪キャンパス
（高輪ゲートウェイ）を予定</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5711</td><td>研修名</td><td colspan="4">ビジネス・商業【Ⅰ】</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">実践的な商業教育の理解
－企業と連携した指導の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">職業人としての課題を発見し、合理的かつ創造的に解決するための指導の在り方について学び、教員の実践力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">1年目から8年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">株式会社ウィル・シードHRD事業部　小林　陶哉　事業部長等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇都立高校改革推進計画に基づく指導のポイント
◇学習指導要領に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:3-(16)、4-(13)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td>回</td><td>実施日</td><td>時間</td><td>内容</td><td>指標</td><td>研修形態</td><td>会場</td></tr>
<tr><td>1</td><td>7月
～11月</td><td>13:30-
16:30</td><td>○学校と企業との連携による教育効果と効果的な指導事例
○学校と企業との連携による教育を進めていくための課題とその解決</td><td>教基A①③④⑤
教伸A①③④⑤</td><td>集合</td><td>教職員
研修センター
（水道橋）</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5811</td><td>研修名</td><td colspan="4">情報【Ⅰ】</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">高等学校情報科の指導のポイント
－これからの情報科の授業づくり－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">情報社会に積極的に参画する態度を育てるための具体的な指導法の工夫について学び、校内で情報教育を推進するための基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　40名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">都立学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇情報活用能力を育む具体的な指導内容や指導方法の工夫を身に付ける研修（高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材の内容を含む。）
◇東京都高等学校情報教育研究会と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:３-(11)、３-(13)、３-(20)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
※研修会場が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7月 28 日（木）	13:30-16:30	○高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材第１章～第４章の要点	教基 A① 教伸 A①	集合	都立学校

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0344〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5812</td><td>研修名</td><td colspan="4">情報【Ⅱ】</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">高等学校情報科の指導のポイント
－新学習指導要領に対応した情報Ⅰ・情報Ⅱの授業づくり－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">生徒が問題の発見・解決に向けて、情報システムや多様なデータを適切かつ効果的に活用する力やコンテンツを創造する力を育む「情報Ⅰ」及び「情報Ⅱ」の指導のポイントについて学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　40名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭等</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">都立学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇情報活用能力を育む具体的な指導内容や指導方法の工夫を身に付ける研修（高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材の内容を含む。）
◇東京都高等学校情報教育研究会と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:3-(11)、3-(13)、3-(20)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
※研修会場が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td>回</td><td>実施日</td><td>時間</td><td>内容</td><td>指標</td><td>研修形態</td><td>会場</td></tr>
<tr><td>1</td><td>８月１日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td>○高等学校情報科「情報Ⅰ」及び「情報Ⅱ」の要点</td><td>任A①
任A③</td><td>集合</td><td>都立学校</td></tr>
</table>

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7100・7101	研修名	専門学科における「情報Ⅰ」代替科目担当教員向け情報教育
研修タイトル	専門学科における「情報Ⅰ」代替科目担当教員向け情報教育		
ねらい	「情報Ⅰ」の指導内容の要点について理解を深めるとともに、代替科目となる「工業情報数理」・「情報処理」・「農業と情報」・「海洋情報技術」・「生活産業情報」等の指導内容との関連について学び、代替科目担当教員としての資質・能力を高めます。		
対象校種・定員	商業・農業・水産・家庭 高等学校・特別支援学校における「情報Ⅰ」の専門教科代替科目を担当する教員 60名まで　※7101は工業も対象となる。		
対象教員	１年目から８年目までの教諭、９年目以上の教諭、主任教諭、主幹教諭、指導教諭等		

指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				

講師	都立学校指導教諭等を予定
特色	◇共通必履修科目「情報Ⅰ」の指導内容の要点解説に重点を置いた研修 ◇東京都高等学校情報教育研究会と連携した研修
研修に関する動画	参考:３-(11)、３-(13)、３-(20)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※研修会場が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【7100】 ８月２日（火）	９:30-12:30	○「情報Ⅰ」の代替科目を指導する際に必要な「情報Ⅰ」の指導内容についての理解及び指導法	教基 A① 教伸 A① 任 A① 指 A① 幹 A①	集合	都立学校
		【7101】 ８月２日（火）	13:30-16:30	○「情報Ⅰ」の代替科目を指導する際に必要な「情報Ⅰ」の指導内容についての理解及び指導法	教基 A① 教伸 A① 任 A① 指 A① 幹 A①	集合	都立学校

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7111・7112	研修名	国際理解教育			
研修タイトル	児童・生徒が主体的に考える国際理解教育 －社会に貢献できる力の涵養と指導の工夫－					
ねらい	各教科を通じて、児童・生徒が主体的に身近な問題や国際理解を図るための指導方法や具体的な指導方法を学びます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　200 名					
対象教員	国際理解教育に関する指導内容や指導方法について学びを深めたい教員					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
		○				
講師	中央大学　中川　康弘　准教授を予定 都内公立学校教職員等を予定					
特色	◇演習を通して国際理解教育について理解を深める研修 ◇多文化理解を深め、外国籍の児童・生徒の環境改善や推進を図る ◇中央大学と連携した研修 ◇都内公立学校の国際理解教育の実践事例を学ぶ研修 ※7111 と 7112 は同一研修です。どちらか一方のみ申込みください。 7111・・・集合研修:教職員研修センター（水道橋） 7112・・・オンライン（ライブ配信）研修 ※7112 の研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件になります。					
研修に関する動画	参考:6-(14)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【7111】 8 月 4 日（木）	13:30-16:30	○グローバル時代における国際理解教育の在り方 ○外国人児童生徒等教育に関する環境整備について	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【7112】 8 月 4 日（木）	13:30-16:30	○グローバル時代における国際理解教育の在り方 ○外国人児童生徒等教育に関する環境整備について	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	オンライン（一方向ライブ配信）	

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7211	研修名	日本の伝統・文化理解教育			
研修タイトル	味わおう、受け継ごう、日本の伝統・文化 －「能楽ことはじめ」古典芸能を未来につなげよう－					
ねらい	日本の伝統・文化の楽しさや面白さ、奥深さを体感することを通して、日本の伝統・文化に対する理解を深め、校内において日本の伝統・文化理解教育を推進する力を高めます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　200 名まで					
対象教員	校内で日本の伝統・文化に関する教育を推進する意欲のある教員					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
					○	
講師	能楽師を予定					
特色	◇能楽の楽しさや面白さ、奥深さを体感することを通して、日本の伝統・文化について理解を深める研修					
研修に関する動画	参考:５-(１)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード　・筆記用具　・名札（所属校で使用しているもの）					

日程等 回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	８月５日(金)	13:30-16:30	○講義・演習 「味わおう、受け継ごう、日本の伝統・文化」	教基 E 教伸 E 任 E 指 E 幹 E	集合	教職員研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7311	研修名	プログラミング教育			
研修タイトル	プログラミング教育－小学校実践編①－					
ねらい	小学校におけるプログラミング教育について、各教科で計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。					
対象校種・定員	小　　40 名まで					
対象教員	小学校におけるプログラミング教育の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
					○	
講師	都内公立小学校指導教諭等					
特色	◇東京都小学校プログラミング教育研究会と連携した研修 ◇プログラミング教育の効果的な実践事例について理解を深める研修 ◇プログラミング的思考を重視した授業づくりを実践するための具体的な指導計画及び指導方法の作成等の演習をとおして、実践的な指導力を高める研修					
研修に関する動画	参考:５－(１)、５－(10)、５－(11)、５－(20)、５－(26)、５－(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※事後課題として、指定の動画を視聴していただいた後、アンケートに回答いただきます。					

日程等 回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	８月 22 日（月）	13:30-16:30	○講話 ○実践事例発表 ○演習(指導計画立案等) ○演習(プログラミング教材の操作方法等) ※受講者一人につき１台ずつ端末を貸与し、演習を実施します。	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7312	研修名	プログラミング教育			
研修タイトル	プログラミング教育－小学校実践編②－					
ねらい	小学校におけるプログラミング教育について、各教科で計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。					
対象校種・定員	小　　40 名まで					
対象教員	小学校におけるプログラミング教育の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
						○
講師	都内公立小学校指導教諭等					
特色	◇プログラミング教育の効果的な実践事例について理解を深める研修 ◇プログラミング的思考を重視した授業づくりを実践するための具体的な指導計画及び指導方法の作成等の演習をとおして、実践的な指導力を高める研修					
研修に関する動画	参考:５－(１)、５－(10)、５－(11)、５－(20)、５－(26)、５－(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※事後課題として、指定の動画を視聴していただいた後、アンケートに回答いただきます。 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	７月 ～８月	13:30- 16:30	○講話 ○実践事例発表 ○演習(指導計画立案等) ○演習(プログラミング教材の操作方法等) ※受講者に一人１台端末を貸与し、演習を実施します。	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7313	研修名	プログラミング教育			
研修タイトル	プログラミング教育－小学校実践編③－					
ねらい	小学校におけるプログラミング教育について、各教科で計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。					
対象校種・定員	小　　40 名まで					
対象教員	小学校におけるプログラミング教育の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
						○
講師	都内公立小学校指導教諭等					
特色	◇プログラミング教育の効果的な実践事例について理解を深める研修 ◇プログラミング的思考を重視した授業づくりを実践するための具体的な指導計画及び指導方法の作成等の演習をとおして、実践的な指導力を高める研修					
研修に関する動画	参考:５－(１)、５－(10)、５－(11)、５－(20)、５－(26)、５－(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※事後課題として、指定の動画を視聴していただいた後、アンケートに回答いただきます。 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	７月 ～８月	13:30- 16:30	○講話 ○実践事例発表 ○演習(指導計画立案等) ○演習(プログラミング教材の操作方法等) ※受講者一人につき１台ずつ端末を貸与し、演習を実施します。	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7314	研修名	プログラミング教育			
研修タイトル	プログラミング教育－小学校実践編④－					
ねらい	小学校におけるプログラミング教育について、各教科で計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。					
対象校種・定員	小　　40名まで					
対象教員	小学校におけるプログラミング教育の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
						○
講師	都内公立小学校指導教諭等					
特色	◇プログラミング教育の効果的な実践事例について理解を深める研修 ◇プログラミング的思考を重視した授業づくりを実践するための具体的な指導計画及び指導方法の作成等の演習をとおして、実践的な指導力を高める研修					
研修に関する動画	参考:５－(１)、５－(10)、５－(11)、５－(20)、５－(26)、５－(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※事後課題として、指定の動画を視聴していただいた後、アンケートに回答いただきます。 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等 回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	７月 ～８月	13:30- 16:30	○講話 ○実践事例発表 ○演習(指導計画立案等) ○演習(プログラミング教材の操作方法等)	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	福生市立 福生第七 小学校（牛浜）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7411	研修名	デジタル機器活用(基礎)			
研修タイトル	デジタル機器活用基礎講座 －小学校・中学校Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ　Ｔｅａｍｓ活用編－					
ねらい	小学校・中学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる実践的な力を高めます。					
対象校種・定員	小・中　　40名まで					
対象教員	小学校・中学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる力を身に付けたい教員					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
						○
講師	都内公立学校指導教諭等 東京都教職員研修センター研修部専門教育向上課　統括指導主事等 その他、外部企業より演習講師を招聘予定					
特色	◇Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ社のアプリケーションの効果的な活用事例について理解を深める研修 ◇Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ社のアプリケーションの操作方法に関する演習を行い、具体的な活用方法について知識を深める研修					
研修に関する動画	参考:５-(１)、５-(11)、５-(20)、５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※事後課題として、指定の動画を視聴していただいた後、アンケートに回答いただきます。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	８月23日(火)	13:30-16:30	○行政説明 ○演習 ・学習支援クラウド上での学習評価記録蓄積のためのツール操作 ・保護者向けの情報発信のためのツール操作 ・行事等オンデマンド動画配信のためのツール操作 など ※受講者一人につき１台ずつ端末を貸与し、演習を実施します。 ※Microsoft Teams のツール演習を行います。	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7412	研修名	デジタル機器活用(基礎)			
研修タイトル	デジタル機器活用基礎講座 －高等学校Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ　Ｔｅａｍｓ活用編－					
ねらい	高等学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる実践的な力を高めます。					
対象校種・定員	高　　40名まで					
対象教員	高等学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる力を身に付けたい教員					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
						○
講師	都立高等学校指導教諭等 教職員研修センター研修部専門教育向上課　統括指導主事等 その他、外部企業より演習講師を招聘予定					
特色	◇Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ社のアプリケーションの効果的な活用事例について理解を深める研修 ◇Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ社のアプリケーションの操作方法に関する演習を行い、具体的な活用方法について知識を深める研修					
研修に関する動画	参考:５-(１)、５-(11)、５-(20)、５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※事後課題として、指定の動画を視聴していただいた後、アンケートに回答いただきます。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	８月29日(月)	13:30-16:30	○行政説明 ○演習 ・学習支援クラウド上での学習評価記録蓄積のためのツール操作 ・保護者向けの情報発信のためのツール操作 ・行事等オンデマンド動画配信のためのツール操作 など ※受講者一人につき１台ずつ端末を貸与し、演習を実施します。 ※Microsoft Teamsのツール演習を行います。	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7413	研修名	デジタル機器活用(基礎)			
研修タイトル	デジタル機器活用基礎講座 －特別支援学校Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ　Ｔｅａｍｓ活用編－					
ねらい	特別支援学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる実践的な力を高めます。					
対象校種・定員	特　　40名まで					
対象教員	特別支援学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる力を身に付けたい教員					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
						○
講師	都立特別支援学校指導教諭等 教職員研修センター研修部専門教育向上課　統括指導主事等 その他、外部企業より演習講師を招聘予定					
特色	◇Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ社のアプリケーションの効果的な活用事例について理解を深める研修 ◇Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ社のアプリケーションの操作方法に関する演習を行い、具体的な活用方法について知識を深める研修					
研修に関する動画	参考:５-(１)、５-(11)、５-(20)、５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※事後課題として、指定の動画を視聴していただいた後、アンケートに回答いただきます。					

日程等 回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	８月30日(火)	13:30-16:30	○行政説明 ○演習 ・学習支援クラウド上での学習評価記録蓄積のためのツール操 ・保護者向けの情報発信のためのツール操作 ・行事等オンデマンド動画配信のためのツール操作 など ※受講者一人につき１台ずつ端末を貸与し、演習を実施します。 ※Microsoft Teamsのツール演習を行います。	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>7414</td><td>研修名</td><td colspan="3">デジタル機器活用(基礎)</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">デジタル機器活用基礎講座
－小学校Ｇｏｏｇｌｅ ｆｏｒ Ｅｄｕｃａｔｉｏｎ活用編－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">小学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる実践的な力を高めます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　40名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">小学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">都内公立小学校指導教諭等
教職員研修センター研修部専門教育向上課　統括指導主事等
その他、外部企業より演習講師を招聘予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇Ｇｏｏｇｌｅ社のアプリケーションの効果的な活用事例について理解を深める研修
◇Ｇｏｏｇｌｅ社のアプリケーションの操作方法に関する演習を行い、具体的な活用方法について知識を深める研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５-(１)、５-(11)、５-(20)、５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td>持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
※事後課題として、指定の動画を視聴していただいた後、アンケートに回答いただきます。</td></tr>
</table>

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	７月19日(火)	13:30-16:30	○行政説明 ○演習 ・学習支援クラウド上での学習評価記録蓄積のためのツール操作 ・保護者向けの情報発信のためのツール操作 ・行事等オンデマンド動画配信のためのツール操作 など ※受講者に一人１台端末を貸与し、演習を実施します。 ※Google for Educationのツール演習を行います。	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7415	研修名	デジタル機器活用(基礎)			
研修タイトル	デジタル機器活用基礎講座 －小学校・中学校Ｇｏｏｇｌｅ ｆｏｒ Ｅｄｕｃａｔｉｏｎ活用編－					
ねらい	小学校・中学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる実践的な力を高めます。					
対象校種・定員	小・中　　40名まで					
対象教員	小学校・中学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる力を身に付けたい教員					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
						○
講師	都内公立学校指導教諭等 教職員研修センター研修部専門教育向上課　統括指導主事等 その他、外部企業より演習講師を招聘予定					
特色	◇Ｇｏｏｇｌｅ社のアプリケーションの効果的な活用事例について理解を深める研修 ◇Ｇｏｏｇｌｅ社のアプリケーションの操作方法に関する演習を行い、具体的な活用方法について知識を深める研修					
研修に関する動画	参考:５-(１)、５-(11)、５-(20)、５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※事後課題として、指定の動画を視聴していただいた後、アンケートに回答いただきます。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7月20日(水)	13:30-16:30	○行政説明 ○演習 ・学習支援クラウド上での学習評価記録蓄積のためのツール操作 ・保護者向けの情報発信のためのツール操作 ・行事等オンデマンド動画配信のためのツール操作 など ※受講者一人につき１台ずつ端末を貸与し、演習を実施します。 ※Google for Educationのツール演習を行います。	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7416	研修名	デジタル機器活用(基礎)			
研修タイトル	デジタル機器活用基礎講座 －中学校Ｇｏｏｇｌｅ ｆｏｒ Ｅｄｕｃａｔｉｏｎ活用編－					
ねらい	中学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる実践的な力を高めます。					
対象校種・定員	中　　40名まで					
対象教員	中学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる力を身に付けたい教員					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
						○
講師	都内公立中学校指導教諭等 教職員研修センター研修部専門教育向上課　統括指導主事等 その他、外部企業より演習講師を招聘予定					
特色	◇Ｇｏｏｇｌｅ社のアプリケーションの効果的な活用事例について理解を深める研修 ◇Ｇｏｏｇｌｅ社のアプリケーションの操作方法に関する演習を行い、具体的な活用方法について知識を深める研修					
研修に関する動画	参考:５-(１)、５-(11)、５-(20)、５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※事後課題として、指定の動画を視聴していただいた後、アンケートに回答いただきます。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7月21日(木)	13:30-16:30	○行政説明 ○演習 ・学習支援クラウド上での学習評価記録蓄積のためのツール操作 ・保護者向けの情報発信のためのツール操作 ・行事等オンデマンド動画配信のためのツール操作 など ※受講者一人につき１台ずつ端末を貸与し、演習を実施します。 ※Google for Educationのツール演習を行います。	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7511・7512	研修名	情報モラル教育			
研修タイトル	情報モラル教育 －児童・生徒が適切にデジタル機器を活用するために－					
ねらい	情報モラルに関する正しい知識と情報社会に参画する態度を育むための実践的な指導力を高めます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　200 名まで					
対象教員	情報モラルに関する正しい知識と情報社会に参画する態度を育むための実践的な指導力を身に付けたい教員					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
					○	
講師	・教育庁指導部　主任指導主事等 ・大学教授等					
特色	◇情報モラル教育の第一人者から国内の現状や今後の動向について理解を深める研修 ◇情報モラル教育に関して、ＳＮＳ東京ノートの効果的な活用方法を学ぶ研修 ◇児童・生徒が情報社会で適切な活動を行うための基礎となる考え方や態度を身に付けるための指導方法を学ぶ研修 ◇7511 と 7512 は同一研修です。希望の研修形態を選び、どちらか一方のみ御申込ください。 ※7512 の研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件となります。					
研修に関する動画	参考；５－(１)、５－(11)、５－(20)、５－(26)、５－(27)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※事前課題として、指定の動画を視聴していただいた後、アンケートに回答いただきます。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【7511】 ７月７日 (木)	13:30- 16:30	○情報モラル教育関連施策の現状と今後の展望について ○全国の自治体等での取組 ○情報モラル教育における最新の実践事例及び活用方法等	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)
		【7512】 ７月７日 (木)	13:30- 16:30	○情報モラル教育関連施策の現状と今後の展望について ○全国の自治体等での取組 ○情報モラル教育における最新の実践事例及び活用方法等	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	オンライン(一方向ライブ配信)	

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7521・7522	研修名	キャリア教育			
研修タイトル	これからのキャリア教育 －子供の社会的・職業的自立を目指して－					
ねらい	キャリア教育の基本的な考え方や発達段階を踏まえたキャリア教育の取り組みを学び、校内におけるキャリア教育を推進するための実践的指導力を高めます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　200 名まで					
対象教員	キャリア教育の基本的な考え方や発達段階に応じた指導についての実践的な指導力を身に付けたい教員					

指標との関連						
職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
	○				○	

講師	講師は、筑波大学の藤田晃之教授を予定
特色	◇「キャリア・パスポート」の活用について理解を深める研修 ◇キャリア教育の実践について理解を深める研修 ※7521 と 7522 は同一研修です。希望の研修形態を選び、どちらか一方のみお申込みください。 ※7522 の研修は、YouTube の視聴できることが申込の条件となります。
研修に関する動画	参考:３-(27)、５-(13)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※事前に動画を視聴した後の受講となります。また、事前動画の視聴は、YouTube での視聴となります。詳細は研修受講申込受付システムで御確認ください。

日程等

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	【7521】 ８月 17 日（水）	13:30-16:30	○学校におけるキャリア教育の充実について ・キャリア教育の意義やねらい ・「キャリア・パスポート」の活用について ・キャリア教育の実践事例	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）
	【7522】 ８月 17 日（水）	13:30-16:30	○学校におけるキャリア教育の充実について ・キャリア教育の意義やねらい ・「キャリア・パスポート」の活用について ・キャリア教育の実践事例	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	オンライン（一方向ライブ配信）	

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>7531</td><td>研修名</td><td colspan="5">人権教育</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="6">人権課題を理解しよう！
－フィールドワークから学ぶ指導法の工夫－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="6">人権課題の理解を深めるためのフィールドワークを通して、人権教育推進の指導的役割を果たすための実践的指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="6">小・中・高・特　　20 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="6">人権教育に関する指導内容や教材開発等について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="6">講師は、中央卸売市場の職員等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="6">◇参加体験型の研修やフィールドワークを取り入れた研修
◇東京都の人権課題について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="6">参考:１-(11)、２-(11)、３-(3)、３-(4)、５-(15)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="6">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・人権教育プログラム（学校教育編）
※事前に動画を視聴した後の受講となります。また、事前動画の視聴は、YouTube での視聴となります。詳細は研修受講申込受付システムで御確認ください。</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	10 月 27 日（木）	13:30-16:30	○人権教育推進に関する基本的な考え方の理解と校内研修の運営	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	お肉の情報館（品川）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7541・7542</td><td>研修名</td><td colspan="4">防災教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">体験・演習から学び、深め広げる防災教育
－教科等横断的な視点で取り組む防災教育－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">災害等への対応を実践的に学ぶ模擬体験とともに、「安全教育プログラム」や「東京マイ・タイムライン」等を活用した授業づくりについて、実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">幼・小・中・高・特　　60 名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">防災教育に関する指導内容や指導方法について理解を深め、学校の組織の一員として防災計画や防災教育の普及を目指す教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">教育庁指導部主任指導主事等を予定
各防災館職員等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇災害の模擬体験や地域の特性を踏まえた防災教育の推進
◇「安全教育プログラム」や「東京マイ・タイムライン」等を用いた研修
◇東京消防庁と連携した研修
※7541 と 7542 は同一研修です。どちらか一方のみ申込みください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:4-(9)(10)(11)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・「安全教育プログラム第 13 集」（令和３年３月 東京都教育委員会）・「東京マイ・タイムライン」（東京都）・「防災ノート～災害と安全～」（東京都教育委員会）
・フェイスタオル（災害等の模擬体験において必要になる場合があります）</td></tr>
</table>

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【7541】 7 月 25 日(月)	13:30-16:30	【講義・演習】 ○「安全教育プログラム」、「 東京マイ・タイ ムライン 」を用いた実践的な指導の工夫 ○模擬体験を通した災害等への対応の実践的な理解	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	本所防災館（墨田区）
		【7542】 7 月 29 日(金)	13:30-16:30	【講義・演習】 ○「安全教育プログラム」、「 東京マイ・タイ ムライン 」を用いた実践的な指導の工夫 ○模擬体験を通した災害等への対応の実践的な理解	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	立川防災館（立川市）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7551・7552	研修名	生活指導（いじめ）			
研修タイトル	問題行動等に対応していこう －未然防止と課題解決－					
ねらい	生活指導上の諸問題を解決するための校内組織の在り方や外部機関との連携の方法について理解し、生活指導の場面における実践的指導力の向上を図ります。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　100 名まで					
対象教員	生活指導に関する指導内容や学校全体での取り組み方等について学びたい教員					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
		○				
講師	講師は、教育庁指導部統括指導主事等を予定					
特色	◇生活指導の実践事例 ◇いじめ総合対策【第２次・一部改訂】等を用いた研修 ◇教育庁指導部と連携した研修 ※7551 と 7552 は同一研修です。希望の研修形態を選び、どちらか一方のみお申込みください。 ※7552 の研修は、YouTube の視聴できることが申込の条件となります。					
研修に関する動画	参考:５-(17)、５-(19)、５-(20)、５-(21)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【7551】 ８月 25 日（木）	13:30-16:30	○東京都の問題行動等の現状と課題 ○いじめの未然防止	教基 B 教伸 B 任 B 指 B 幹 B	集合	教職員研修センター（水道橋）
		【7552】 ８月 25 日（木）	13:30-16:30	○東京都の問題行動等の現状と課題 ○いじめの未然防止	教基 B 教伸 B 任 B 指 B 幹 B	オンライン（一方向ライブ配信）	

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7561</td><td>研修名</td><td colspan="5">生活指導(不登校)</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="6">不登校・不登校傾向にある児童・生徒への支援
-児童・生徒へのメンタルヘルスケアと外部機関等との適切な連携の在り方について-</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="6">不登校等に関連する生活指導に関わる施策の現状や児童・生徒・保護者への適切な支援や関係諸機関等との連携の在り方について理解を深め、生活指導の場面における実践的指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="6">小・中・高・特　　200名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="6">不登校等に関連する施策及びその現状や、児童・生徒・保護者への適切な支援や関係諸機関等との連携の在り方について理解を深めたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td colspan="2">主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="3">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td colspan="2">教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="6">教育庁指導部指導企画課　不登校施策担当　主任指導主事等
国立教育政策研究所　生徒指導・進路指導研究センター総括研究官</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="6">◇オンライン(オンデマンド配信)による研修
◇東京都学校保健研究会と連携した研修
◇不登校対策における未然防止や初期対応に関する知識や具体的な方策について学ぶ研修
※この研修は、YouTubeの視聴できることが申込の条件となります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="6">参考:５－(１)、５－(17)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・
事前課題等</td><td colspan="6">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
※配信期間が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td>回</td><td>実施日</td><td>時間</td><td colspan="2">内容</td><td>指標</td><td>研修形態</td></tr>
<tr><td>1</td><td>８月配信</td><td>約180分</td><td colspan="2">○不登校対策・支援に関連する東京都の施策と現状
○「未然防止」の視点に立った児童・生徒支援の在り方
○「未然防止」の視点に立った望ましい校内組織の在り方
○外部機関等との適切な連携に関する好事例</td><td>教基 BE①
教伸 BE①
任 BE①
指 BE①
幹 BE①</td><td>オンライン(オンデマンド配信)</td></tr>
</table>

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7571・7572	研修名	生き物飼育
研修タイトル	やってみよう生き物の飼育 －小動物編－		
ねらい	学校における生き物飼育の教育的な意義を理解し、管理運営の専門的知識を習得するとともに、校内で生き物飼育の取組を推進するための実践的指導力の向上を図ります。		
対象校種・定員	幼・小・特　　30 名まで（各研修 15 名まで）		
対象教員	生き物飼育に関する指導内容や学校全体での取り組み方等について学びたい教員		

指標との関連						
職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
					○	

講師	講師は、多摩動物公園の教育普及係職員等を予定
特色	◇生き物飼育の基礎・基本を学ぶ研修 ◇モルモット等の飼育方法を学ぶ研修 ※7571 と 7572 は同一研修です。希望の時間を選び、どちらか一方のみお申込みください。
研修に関する動画	参考:１-(5)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）

日程等

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	【7571】 ８月 23 日（火）	９:30- 12:30	○学校動物飼育の基礎・基本	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	多摩動物公園（多摩動物公園）
	【7572】 ８月 23 日（火）	13:30- 16:30	○学校動物飼育の基礎・基本	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	多摩動物公園（多摩動物公園）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7611</td><td>研修名</td><td colspan="3">健康教育・保健室経営</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">多様化する健康課題の解決策を学ぼう
－健康課題の最前線から学ぶ指導法の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">多様化する児童・生徒の健康課題に関する専門的な知識を習得し、校内での組織的な課題解決の取組を推進するための実践的指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　200 名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">健康課題の解決に関する指導内容や学校全体での取り組み方等について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>人材育成の基本的な事項</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、教育庁指導部統括指導主事等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇がん教育、てんかんなどの健康課題に関する内容
◇「性教育の手引き」に関する内容
◇保健室経営に関する内容</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５-(12)、５-(30)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
※研修日程等が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	9月 29 日（木）	13:30-16:30	○東京都の健康教育の課題 ○保健室経営について	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	たましん RISURU ホール（立川）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7612	研修名	健康教育			
研修タイトル	児童・生徒の現代的な心身の健康課題の解決を図ろう －一人１台端末時代のゲーム依存・ネット依存の現状と対応－					
ねらい	児童・生徒の生涯にわたる健康づくりを促すための指導の専門性を高め、学校で健康教育を推進する力を高めます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　200名まで					
対象教員	健康課題の解決に関する指導内容や学校全体での取り組み方等について学びたい教員					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
					○	
講師	独立行政法人国立病院機構職員等					
特色	◇オンライン(オンデマンド配信)による研修 ◇現代の健康課題の一つであるゲーム依存・ネット依存に関する国内の第一人者から国内の現状や予防策等について学ぶ研修 ※この研修は、YouTubeの視聴できることが申込の条件となります。					
研修に関する動画	参考:５－(１)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※配信期間が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等 回	実施日	時間	内容	指標	研修形態
1	８月配信予定	約180分	○ゲーム依存・ネット依存の現状 ○支援・治療の具体的事例 ○学校や家庭で実践できる予防教育等	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	オンライン(オンデマンド配信)

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7711	研修名	国際バカロレア			
研修タイトル	国際バカロレア教育の手法について学ぼう －海外の大学進学に向けた指導法の工夫－					
ねらい	国際バカロレアを理解するとともに、国際バカロレアの教育手法に基づいた授業の実践を通して、実践的指導力を高めます。					
対象校種・定員	中・高　　30 名まで					
対象教員	国際バカロレアについて理解し、国際バカロレアの教育手法を身に付けたい教員					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
						○
講師	都立学校教員等を予定					
特色	◇国際バカロレアの手法について理解を深める研修 ◇授業実践について学ぶことができる研修					
研修に関する動画	参考:５-(１)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード　・筆記用具　・名札（所属校で使用しているもの） ※事前に動画を視聴した後の受講となります。また、事前動画の視聴は、YouTube での視聴となります。詳細は「研修受講申込受付システム」で御確認ください。					

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	９月 28 日（水）	13:30-16:30	○東京都における国際バカロレア教育の推進について ○国際バカロレア教育の手法に基づく取組について	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7712	研修名	読書活動			
研修タイトル	読む楽しさや喜びを育む指導方法を学ぼう －読書の楽しさを児童・生徒へ－					
ねらい	すすんで読書に取り組む態度を育む指導の工夫について学び、校内で読書活動を推進する実践的な指導力を高めます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　50名まで					
対象教員	読書活動に関する指導内容や教材開発等について学びたい教員					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
						○
講師	都立多摩図書館の職員等を予定					
特色	◇都立多摩図書館と連携した研修 ◇令和３年度 子供の読書活動優秀実践校の実践発表を予定					
研修に関する動画	参考:４-(４)、５-(１)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※第１回の研修前に動画視聴（９月予定）があります。事前動画の視聴は、YouTubeでの視聴となります。詳細は「研修受講申込受付システム」で御確認ください。					

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	10月6日（木）	13:30-16:30	○学校図書館を活用した読書活動の推進と地域の図書館と連携した読書活動の実際 ・都立図書館の紹介と利用方法 ・多摩図書館における学校図書館教育の取組 ・選書の実際 ○学校図書館を活用した読書活動の推進 ・読書意欲を喚起し、すすんで読書に取り組む態度を育む指導の工夫	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>7713</td><td>研修名</td><td colspan="3">島しょ・へき地等教育</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">島しょ・へき地等教育
－小規模校や地域の特性を生かした学習活動・指導法の工夫－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">異年齢の友達や異世代の人々との関わり、少人数指導や特別な支援が必要な児童・生徒等、多様な実態に応じた指導や工夫について学びます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">島しょ・へき地等に勤務している教員及び将来、島しょ・へき地等に勤務を希望する教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">帝京大学　教育学部　増渕　達夫　教授
都内公立学校　主幹教諭等</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇島しょ・へき地等における教育課題に対応した効果的な実践について理解を深める研修
◇実践事例発表・講義・協議が一体となった研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５－(１)、５－(14)、５－(31)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
※事前課題として、指定の動画を視聴していただいた後、アンケートに回答いただきます。</td></tr>
</table>

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	８月４日(木)	13:30-16:30	○実践事例発表 ○島しょ・へき地等における教育課題と教育施策との関連(講義) ○教育施策に位置付けた各種教育課題への効果的な取組事例(講義) ○実践事例発表と講義に関連した諸課題に対する事例検討等(協議)	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7811	研修名	日本語指導（基礎編）			
研修タイトル	日本語指導が必要な児童・生徒のための授業づくり －基礎・基本編－					
ねらい	日本語指導に関する基礎・基本を学びます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　50名まで					
対象教員	日本語指導の現状と課題に関する基礎的・基本的な知識等を身に付けたい教員					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
					○	
講師	早稲田大学大学院　池上　摩希子教授を予定					
特色	◇日本語指導担当教員の入門・初級レベルに対応した研修 ◇日本語指導に関する基礎的・基本的な知識の習得と指導力を高める研修					
研修に関する動画	参考:4-(15)、4-(16)、5-(1)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）					

日程等

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	6月20日（月）	13:30-16:30	○初期段階の日本語指導 －文字表記、語彙、文型の指導－	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）
2	8月8日（月）	13:30-16:30	○中期・後期段階の日本語指導 －読み・書きの指導－ ○日本語能力測定法（ＤＬＡ）に基づく指導計画及び評価方法	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7812	研修名	日本語指導（応用編）			
研修タイトル	日本語指導が必要な児童・生徒のための授業づくり －応用編－					
ねらい	日本語指導に関する基礎・基本及び発展的な指導方法の要点を学びます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　50名まで					
対象教員	日本語指導の現状と課題に関する基礎的・基本的な知識や発展的な指導方法を身に付けたい教員					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
						○
講師	大学講師等を予定					
特色	◇日本語指導担当教員の中級レベル以上に対応した研修 ◇日本語指導に関する基礎的・基本的な知識の習得とより発展的な指導力を高める研修 ◇東京都中学校日本語教育研究会と連携した研修					
研修に関する動画	参考:４-(15)、４-(16)、５-(１)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・第２回は、「外国人児童生徒のためのＪＳＬ対話型アセスメントＤＬＡ」（文部科学省初等中等教育局国際教育課）を持参　※文部科学省ホームページを御参照ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7月 28 日（木）	13:30-16:30	○外国人児童・生徒等教育の新たな発展 ○初期段階の日本語指導 －文字表記、語彙、文型の指導－	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）
	2	8月 17 日（水）	13:30-16:30	○中期・後期段階の日本語指導 －読み・書きの指導－ ○日本語能力測定法（ＤＬＡ）に基づく指導計画及び評価方法	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7813	研修名	日本語指導			
研修タイトル	ＪＳＬカリキュラムを学ぼう －教科と日本語指導を統合した授業実践－					
ねらい	ＪＳＬカリキュラムに関する専門的な知識を習得し、教科と日本語指導を統合した授業を行う実践的な指導力を高めます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　30名まで					
対象教員	ＪＳＬカリキュラムに関する専門的な知識を習得し、教科と日本語指導を統合した授業を行う実践的な指導力を高めたい教員					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
		○	○	○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力
						○
講師	大学講師等を予定					
特色	◇ＪＳＬカリキュラムに関する専門的な知識を習得し、教科と日本語指導を統合した授業を行う実践的指導力を身に付ける研修 ◇第２回は、校種・教科のグループに分かれた演習 ◇第３回は、授業研究と、教科と日本語指導を統合した授業に関する演習					
研修に関する動画	参考:４-(15)、４-(16)、５-(１)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・第２・３回は、担当教科の教科用図書を持参 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	７月 19 日（火）	13:30-16:30	○ＪＳＬカリキュラムの概要 ○ＪＳＬカリキュラムの作成とそのポイント	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）
	2	８月 26 日（金）	13:30-16:30	○教科と日本語指導を統合した授業の工夫 ○ＪＳＬを活用した授業で使用する指導計画、学習指導案、教材の作成	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）
	3	10 月～11 月	13:30-16:30	○ＪＳＬカリキュラムを活用した授業づくり	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	都内公立学校

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号		7911		研修名	特別支援教育 （一人１台端末の効果的な活用）		
研修タイトル		一人１台端末を活用した特別支援教育の指導法					
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。					
対象校種・定員		特　　200名まで					
対象教員		１年目から８年目までの教諭 ９年目以上の教諭、主任教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
		○	○	○			
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
		○					
講師		都立学校教諭等を予定					
特色		◇一人１台端末を活用した授業の指導計画の作成やポイントについて学ぶ研修					
研修に関する動画		参考:５-(26)、５-(27)					
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの					

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	９月 29 日（木）	13:30-16:30	○共通フォーマットを用いた学習指導案の作成 （単元計画、一人１台端末活用のポイント、学習評価等） ○指導のポイント等 ○授業設計の流れについての演習等	教基 E① 教伸 E① 任 E①	集合	ルネこだいら（小平）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7912・7913	研修名	特別支援教育 （特別支援教室との連携）
研修タイトル	困難さを抱える幼児・児童・生徒への指導の充実 －特別支援教室との適切な連携について－		
ねらい	特別支援教室の対象となる児童・生徒の理解と自立活動の実践等、具体的な指導や支援の方法を学びます。		
対象校種・定員	幼・小・中・高・特　　200 名まで		
対象教員	特別支援教室の対象となる児童・生徒の理解と自立活動の実践等、具体的な指導や支援の方法を学びたい教員		

指標との関連						
職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
					○	

講師	大学教授等を予定
特色	◇特別支援教室の制度について理解を深める研修 ◇実践事例から特別支援教室での指導について学ぶことができる研修 ※7912 と 7913 は同一研修です。7912 が集合研修、7913 がオンライン（ライブ配信）研修です。希望の研修を選び、どちらか一方のみお申込みください。 ※7913 の研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件となります。
研修に関する動画	参考:５-(16)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【7912】 ９月８日 (木)	13:30- 16:30	○特別支援教室について ○特別支援教室における具体的な指導・支援方法	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター （水道橋）
		【7913】 ９月８日 (木)	13:30- 16:30	○特別支援教室について ○特別支援教室における具体的な指導・支援方法	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	オンライン （一方向ライブ配信）	

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7914・7915	研修名	特別支援教育 （社会活動や余暇活動）			
研修タイトル	社会活動や余暇活動についての理解					
ねらい	特別支援教育に関わる生徒の社会活動や余暇活動についての理解を深めます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　200 名まで					
対象教員	特別支援教育に関わる生徒の社会活動や余暇活動について学びたい教員					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
					○	
講師	特定非営利活動法人職員等を予定					
特色	◇特別支援教育に関わる生徒の卒業後の社会活動や余暇活動について学ぶ研修 ※7914 と 7915 は同一研修です。7914 が集合研修、7915 が動画配信研修です。希望の研修を選び、どちらか一方のみお申込みください。 ※7915 の研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件となります。					
研修に関する動画	参考:５-(16)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	【7914】 ９月 15 日 (木)	13:30- 16:30	○社会活動や余暇活動についての理解	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター （水道橋）
		【7915】 ９月 15 日 (木)	13:30- 16:30	○社会活動や余暇活動についての理解	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	オンライン （一方向ライブ配信）	

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7916	研修名	特別支援教育（進路指導）			
研修タイトル	知的障害のある子供の就労を考えよう！ －進路指導の基礎・基本－					
ねらい	知的障害のある生徒の卒業後の進路について理解を深め、主に企業就労を目指す生徒の進路指導について学び、実践的指導力を高めます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　200 名まで					
対象教員	生徒の進路希望を実現するための基礎的・基本的な力を身に付けたい教員					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
					○	
講師	大学教授等を予定					
特色	◇企業の就労支援担当からの講義等により、定着の支援について理解を深める研修 ◇東京都知的障害特別支援学校就業促進研究協議会と連携した研修					
研修に関する動画	参考:５-(16)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	８月 25 日(木)	13:30-16:30	○特別支援学校における進路指導とキャリア教育の推進について ○高等学校からの就労について ○子供の就労について	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)
	2	８月 30 日(火)	13:30-16:30	○知的障害のある生徒の雇用の現状と課題 ○人権の視点を踏まえた雇用促進と高等部からの就労について	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	7917	研修名	特別支援教育（読み書きアセスメント）			
研修タイトル	読めた！わかった！できた！ －読み書きアセスメントと多層指導モデルＭＩＭの活用・演習－					
ねらい	学習障害のある児童・生徒の実態把握の重要性を理解し、根拠に基づいた授業づくりのための専門的知識を習得します。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　200 名まで					
対象教員	学習障害のある児童・生徒の読み書きの実践的指導力の基礎・基本を身に付けたい教員					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
					○	
講師	大学教授等を予定					
特色	◇東京都発達障害教育推進計画（平成 28 年 2 月　東京都教育委員会）に基づく、読み書きの実践的指導力の向上					
研修に関する動画	参考:５-(16)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの					

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	8月 19 日（金）	13:30-16:30	○多層指導モデルＭＩＭを使った読みのつまずきの把握と指導法 ○多層指導モデルＭＩＭの活用の演習、実践報告	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>7918</td><td>研修名</td><td colspan="3">特別支援教育（発達検査）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">発達検査に基づく指導・支援を学ぼう
－エビデンスに基づいた指導・支援の工夫－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">発達検査・知能検査の種類や、検査結果を生かした支援の工夫等に関する専門的な知識を習得します。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　200 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">発達検査等による実態把握に基づく実践的指導力の基礎・基本を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="4">大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="4">◇発達検査等を生かした支援の工夫等に関する専門的な知識の習得
◇オンライン（オンデマンド配信）による研修
※この研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件となります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="4">参考:５-(16)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・
事前課題等</td><td colspan="4">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
※配信期間が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td>回</td><td>実施日</td><td>時間</td><td>内容</td><td>指標</td><td>研修形態</td></tr>
<tr><td>1</td><td>８月
～９月
配信予定</td><td>約 180 分</td><td>○発達検査、知能検査の基本的な理解と検査結果の解釈
○検査結果を生かした支援の工夫</td><td>教基 E①
教伸 E①
任 E①
指 E①
幹 E①</td><td>オンライン
（オンデマンド配信）</td></tr>
</table>

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>7919</td><td>研修名</td><td colspan="3">特別支援教育（高等学校における通級指導）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">高等学校における通級による指導について
－発達障害のある生徒の支援を目指して－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">高等学校における発達障害のある生徒の支援についての理解と具体的な指導や支援の方法を学びます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">高　　200 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">高等学校における発達障害のある生徒の理解、具体的な指導や支援の方法を学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">独立行政法人国立特別支援教育総合研究所　研究員等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇高等学校における特別支援教育について理解を深める研修
◇高等学校における通級指導について学ぶことができる研修
◇実践事例から特別な支援が必要な生徒の指導について学ぶことができる研
◇オンライン（オンデマンド配信）による研修
※この研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件となります。</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５-(16)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
※配信期間が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態
日程等	1	８月 ～９月 配信予定	約 180 分	○高等学校における発達障害のある生徒の支援についての理解と具体的な指導や支援の方法	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	オンライン （オンデマンド配信）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	8011	研修名	学校教育相談			
研修タイトル	事例検討の進め方を学ぼう －校内支援会議の充実と関係機関との連携－					
ねらい	児童・生徒の問題行動等 に適切に対応するため、教育相談に関する基礎・基本を 学ぶとともに、校内組織の強化や関係機関との連携に関する専門的な知識を習得します 。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　50 名まで					
対象教員	教育相談や事例検討の活用に関する基礎的・基本的な力を身に付けたい教員及び生活指導主任や教育相談主任教諭、特別支援教育担当等で、実践的指導力を高めたい教員					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
				○	○	
講師	講師は、大学教授等を予定					
特色	◇事例検討の意義や進め方について理解を深める。 ◇校内支援体制の構築について理解を深める。 ◇グループ演習を通して関係機関と連携した児童・生徒支援について理解を深める。					
研修に関する動画	参考:５-(8)、５-(16)、５-(17)、５-(21)、５-(31)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※第１回の研修前に動画視聴（7 月予定）があります。詳細は研修受講申込受付システムに掲載します。 ※事前動画の視聴は、YouTube での視聴となります。 ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7 月 26 日（火）	13:30-16:30	○校内支援会議の充実 ○校内における事例検討の進め方 ○事例から学ぶ問題行動への対応	教基 D 教伸 D 任 D 指 D 幹 D	集合	教職員研修センター（水道橋）
	2	8 月～11 月	13:30-16:30	○関係機関との連携に関する事例検討	教基 D 教伸 D 任 D 指 D 幹 D	集合	教職員研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	8111・8112	研修名	現代教育課題（SDGs）			
研修タイトル	SDGs で子供が変わる －持続可能な社会を実現する授業づくり－					
ねらい	持続可能な社会を実現するための教育の役割を理解し、校内で SDGs に関する教育を推進する力を高めます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　200 名まで					
対象教員	校内で SDGs に関する教育を推進する意欲のある教員					

指標との関連						
職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
	○				○	

講師	東京大学大学院　北村　友人　教授
特色	◇国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）と学習指導要領のポイントについて学ぶ研修 ◇児童・生徒が持続可能な社会の担い手として活躍する授業づくりと実践的指導力を身に付ける研修 ※8111 と 8112 は同一研修です。どちらか一方のみお申込みください。 ※8112 の研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件となります。
研修に関する動画	参考:５-(１)
持ち物・事前課題等	・二次元コード　・筆記用具　・名札（所属校で使用しているもの）

日程等 回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	【8111】 7 月 27 日（水）	13:30- 16:30	○都内公立学校の実践発表 ○講義・演習「持続可能な社会を実現するための教育の役割」	教基 A,E 教伸 A,E 任 A,E 指 A,E 幹 A,E	集合	教職員研修センター（水道橋）
	【8112】 7 月 27 日（水）	13:30- 16:30	○都内公立学校の実践発表 ○講義・演習「持続可能な社会を実現するための教育の役割」	教基 A,E 教伸 A,E 任 A,E 指 A,E 幹 A,E	オンライン（一方向ライブ配信）	

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	8113	研修名	現代教育課題（教員の意識改革）			
研修タイトル	「未来の東京」に輝く学校の創造に向けた教員の意識改革					
ねらい	社会の急速な進展の中では、知識・技能の絶えざる刷新が必要です。探究力やクリエイティブな発想を持ち、既存のやり方にとらわれることなく試行錯誤を繰り返しながら多様化する社会に対応し、業務改善等を成し遂げ、学校改革に貢献していく人材を育てます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　50名まで					
対象教員	９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭					
指標との関連	職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
		基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】	
				○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力
					○	○
講師	都内公立学校の校長経験者を予定					
特色	◇変化する社会に対応した教育改革の推進に貢献できる力を身に付ける研修 ◇最新の教育動向に精通し教育現場での実践経験のある講師を招いた研修					
研修に関する動画	参考:５-(１)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード　・筆記用具　・名札（所属校で使用しているもの）					

日程等

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	7月22日（金）	13:30-16:30	○講義・演習「世界に羽ばたくグローバル人材の育成」 ○パネルトーク	教基A,E 教伸A,E 任A,E 指A,E 幹A,E	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋）
2	7月28日（木）	13:30-16:30	○講義・演習「子供目線による学校づくり」 ○パネルトーク	教基A,E 教伸A,E 任A,E 指A,E 幹A,E	集合	教職員研修センター（水道橋）
3	8月2日（火）	13:30-16:30	○講義・演習「インクルーシブな学びの実現」 ○パネルトーク	教基A,E 教伸A,E 任A,E 指A,E 幹A,E	集合	清瀬けやきホール（清瀬）
4	8月3日（水）	13:30-16:30	○講義・演習「デジタルで学校を変える」 ○パネルトーク	教基A,E 教伸A,E 任A,E 指A,E 幹A,E	集合	清瀬けやきホール（清瀬）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	8114・8115	研修名	一人１台端末を効果的に活用するための指導法
研修タイトル	一人１台端末を効果的に活用しよう －授業・学校・家庭での日常的な活用に向けて－		
ねらい	一人１台端末時代における教育の情報化やデジタル機器の具体的な活用事例を理解し、高度に情報化した社会で活躍できる人材育成を計画的に実施できる実践的指導力の向上を図ります。		
対象校種・定員	小・中・高・特　　100 名まで(各研修 50 名まで)		
対象教員	教育の情報化に対する理解を深め、学習者用端末の日常的な活用に関する実践的な指導力を身に付けたい教員		

指標との関連						
職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
					○	

講師	・外部機関より講師を招聘予定
特色	◇ＧＩＧＡスクール構想推進の背景や現状、今後の展望について理解を深めるための研修 ◇Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ社のアプリケーションの操作方法に関する演習を行い、具体的な活用方法について知識を深める研修
研修に関する動画	参考:５－(１)、５－(11)、５－(20)、５－(26)、５－(27)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。

日程等

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	７月 15 日（金）	13:30-16:30	※第１回は、8114－8117 を合同開催します。(200 名まで) ○東京都の施策等について ○GIGA スクール構想の現状と今後の動向について ○学習者用端末の日常的な活用に向けた教師の在り方について	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	多摩永山情報教育センター（永山）
2	【8114】 ８月５日(金)	13:30-16:30	※8114 と 8115 は、実施日が異なる同一内容の研修です。いずれか一つにお申込みください。 ※Microsoft Teams のツール演習を行います。 ※演習では、受講者一人ずつに端末を貸与します。 ○教科指導の目的を達成するための効果的な学習支援ツールの演習 ○学習者用端末の日常的な活用に向けて(協議)	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)
	【8115】 ８月 25 日(木)					

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	8116・8117	研修名	一人１台端末を効果的に活用するための指導法
研修タイトル	一人１台端末を効果的に活用しよう －授業・学校・家庭での日常的な活用に向けて－		
ねらい	一人１台端末時代における教育の情報化やデジタル機器の具体的な活用事例を理解し、高度に情報化した社会で活躍できる人材育成を計画的に実施できる実践的指導力の向上を図ります。		
対象校種・定員	小・中・高・特　　100 名まで(各研修 50 名まで)		
対象教員	教育の情報化に対する理解を深め、学習者用端末の日常的な活用に関する実践的な指導力を身に付けたい教員		

指標との関連						
職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
					○	

講師	・外部機関より講師を招聘予定
特色	◇ＧＩＧＡスクール構想推進の背景や現状、今後の展望について理解を深めるための研修 ◇Ｇｏｏｇｌｅ社のアプリケーションの操作方法に関する演習を行い、具体的な活用方法について知識を深める研修
研修に関する動画	参考:５－(１)、５－(11)、５－(20)、５－(26)、５－(27)
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。

日程等

回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	7月 15 日（金）	13:30-16:30	※第１回は、8114－8117 を合同開催します。(200 名まで) ○東京都の施策等について ○GIGA スクール構想の現状と今後の動向について ○学習者用端末の日常的な活用に向けた教師の在り方について	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	多摩永山情報教育センター（永山）
2	【8116】 7月 22 日(金)	13:30-16:30	※8114 と 8115 は、実施日が異なる同一内容の研修です。いずれか一つにお申込みください。 ※Google for Education のツール演習を行います。 ※演習では、受講者一人ずつに端末を貸与します。 ○教科指導の目的を達成するための効果的な学習支援ツールの演習 ○学習者用端末の日常的な活用に向けて(協議)	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター(水道橋)
	【8117】 7月 29 日(金)					

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>8118</td><td>研修名</td><td colspan="3">学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果等を活用して、組織的な授業改善に取り組む方法を理解し、校内での推進を図ります。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高　　100 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">校内で中心的な役割を担っている主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">講師は、教育庁指導部主任指導主事等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇学力調査の結果を活用する方法を学ぶ研修
◇組織的な授業改善に向けた課題解決の方法を学ぶ研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５-(1)、５-(6)</td></tr>
<tr><td>持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
※研修日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	８月８日(月)	13:30-16:30	○「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果活用について ○「全国学力・学習状況調査」の結果分析 ○学力調査の結果を関連付けた分析及び手だてについて ○個人票の活用について	任 A 指 A 幹 A	集合	教職員研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>8119</td><td>研修名</td><td colspan="4">小中高一貫教育理解推進</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">12年後の生徒像から考える
－教科等の指導上の工夫や特色ある教育課程の考え方－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">小中高一貫教育について、施策に基づいた現状と今後の動向に対する理解を深め、特色ある教育課程における指導上の工夫等について学びます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　20名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">小中高一貫教育について、施策に基づいた現状と今後の動向に対する理解を深め、特色ある教育課程における指導上の工夫等について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="4">都立立川国際中等教育学校附属小学校　主幹教諭等</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="4">◇都立立川国際中等教育学校附属小学校で実施する研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="4">参考:５－(１)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="4">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	6月28日（火）	13:30-16:30	○東京都の施策について ○第１学年の授業参観 ○学校紹介及び実践事例紹介等 ○協議	教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	都立立川国際中等教育学校附属小学校

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	8211	研修名	学級経営（学習指導）			
研修タイトル	学級経営のいろはを知ろう －児童の学習意欲を高める指導の基礎・基本－					
ねらい	児童理解や指導技術の改善等、学習指導につながる学級経営の基礎・基本を学びます。					
対象校種・定員	小　　50名まで					
対象教員	学級経営において自ら課題を感じ、児童理解や指導技術の改善等、学習指導につながる学級経営の基礎・基本を学びたい教員					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○				
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
	○					
講師	都内公立小学校主任教諭等を予定					
特色	◇少人数のグループ協議を通して、具体的なノート指導や板書、発問の方法等、学級経営の基礎・基本について理解を深める研修					
研修に関する動画	参考:4-(12)、4-(13)、4-(14)、5-(18)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）					

日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	6月24日（金）	13:30-16:30	○学習指導につながる学級経営 ・具体的なノート指導の方法 ・板書・掲示物の工夫等	教基 A① 教伸 A①	集合	教職員 研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>8212</td><td>研修名</td><td colspan="4">学級経営（生活指導・進路指導）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">学級経営のいろはを知ろう
－係活動等から育む児童の基本的な生活習慣－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">一人一人の児童の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導・援助する生活指導・進路指導につながる学級経営の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　50名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">学級経営において自ら課題を感じ、社会的資質や行動力を高めるように指導・援助する生活指導・進路指導につながる学級経営の基礎・基本を学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">都内公立小学校生活指導主任・進路指導主任等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇児童の社会的資質や行動力を高め、自分の役割を主体的に果たそうとする態度を育む学級経営の基礎・基本について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:1-(14)、5-(13)、5-(15)、5-(18)、5-(23)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	6月29日（水）	13:30-16:30	○生活指導につながる学級経営のポイント ・学校の教育目標を達成するための日常的取組 ・ガイダンスとカウンセリングによる学級経営　等 ○進路指導につながる学級経営のポイント ・特別活動・児童会活動等に関連した進路指導・キャリア教育 ・主体性をもたせる係・当番活動等の工夫	教基B① 教伸B①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>8213</td><td>研修名</td><td colspan="3">学級経営（「チーム学校」）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">学級経営のいろはを知ろう
－「チーム学校」の一員として取り組む学級経営－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">学校教育目標や学校経営方針の実現、組織貢献につながる学級経営の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　50名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">学校教育目標や学校経営方針の実現、組織貢献につながる学級経営の基礎・基本について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師
特色</td><td colspan="5">都内公立小学校長等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="5">◇校長経験をもつ講師による講義・演習を通して、学級経営の理解を深める研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５-(18)、５-(23)</td></tr>
<tr><td>持ち物・
事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	７月４日（月）	13:30-16:30	○学級経営の基礎・基本 ・教育目標・学校経営方針の理解 ・校内で行う教職員間の円滑なコミュニケーション ・情報の共有化から育む組織の連帯感	教基 D① 教伸 D①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>8214</td><td>研修名</td><td colspan="3">学級経営（保護者対応）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">学級経営のいろはを知ろう
－傾聴から始める良好な関係づくり－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">保護者対応の基本を学び、保護者との適切な関係を構築する力を高めることで、外部との連携・折衝力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　50 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">保護者対応の基本を学び、保護者との適切な関係を構築する力を高めることで、外部との連携・折衝力の向上を図りたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">教育相談センター心理士等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇ロールプレイを交えた保護者対応についての理解を深める研修
◇東京都教育相談センターと連携した研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:5 -~~1~~7)、5 -(18)、5 -(21)、5 -(22)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	7月 13 日（水）	13:30-16:30	○保護者との良好な人間関係づくり ・保護者対応の基本姿勢 ・保護者との連携の仕方 ○保護者対応の実際 ・ロールプレイから学ぶこと	教基 C① 教伸 C①	集合	教職員 研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	8311	研修名	新聞を活用した活動			
研修タイトル	情報活用能力と思考力を育む新聞教育 －ＮＩＥと新聞づくりを通して－					
ねらい	新聞に親しむ態度を育む指導の工夫について学び、校内で新聞教育を推進する実践的な指導力を高めます。					
対象校種・定員	小・中・高・特　　50名まで					
対象教員	新聞を活用した活動に関する指導内容や教材開発等について学びたい教員					
指標との関連 職層	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	
	基礎形成期【Ⅰ】	伸長期【Ⅰ】	充実期【Ⅱ】	発展期【Ⅲ】		
	○	○	○	○	○	
指標との関連 人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	
	○					
講師	日本新聞協会ＮＩＥコーディネーター等を予定					
特色	◇日本新聞協会・東京都ＮＩＥ推進協議会と連携した研修 ◇言語能力の育成や読解力の向上に寄与するＮＩＥの理解 ◇ＮＩＥ実践指定校の実践発表					
研修に関する動画	参考:４-(４)、４-(15)					
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）					

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	10月24日（月）	13:30-16:30	○新聞を活用した活動の推進の実際 ・ＮＩＥ活動とは ・ＮＩＥ実践指定校の取組	教基 A① 教伸 A① 任 A① 指 A① 幹 A①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8312</td><td>研修名</td><td colspan="4">オリンピック・パラリンピック教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">東京 2020 大会の輝きを未来へつなごう
－「学校 2020 レガシー」で開く、共生社会への扉－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">「学校 2020 レガシー」の継承と発展のための取組を充実させる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50 名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">校内においてオリンピック・パラリンピック教育を推進する役割のある教員及び「学校 2020 レガシー」の取組について興味のある教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td colspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は筑波大学の真田久特命教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇共生社会の実現の取組について理解を深める研修
◇演習を通して、「学校 2020 レガシー」について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５-(1)、５-(9)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	10 月 27 日（木）	13:30-16:30	○「学校 2020 レガシー」の取組について	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>8313</td><td>研修名</td><td colspan="3">スタートカリキュラム</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">幼児の育ちを小学校教育に生かそう
－日常生活・各教科等のスタートカリキュラム－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">スタートカリキュラムについて理解を深め、幼児期の発達や学びの連続性を考慮し、小学校入門期の指導の充実を図ります。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　50 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">スタートカリキュラムについて理解を深め、小学校入門期の指導の充実について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td>職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td></td><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">教育庁指導部の統括指導主事等
聖徳大学大学院の篠原孝子講師を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇保・幼・小連携について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５-(29)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	８月 17 日(水)	13:30-16:30	○スタートカリキュラムの概要 ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を手掛かりにした幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続の推進について	教基 E① 教伸 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td>8411</td><td>研修名</td><td colspan="4">幼稚園教育理解推進</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">幼稚園の学びを小学校につなげる指導方法を学ぶ
－幼児・児童の発達の特性に応じた指導の工夫－</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小学校学習指導要領のねらいや内容等を理解し、幼児・児童の発達の特性に応じた保育や指導に関する基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td>対象校種・定員</td><td colspan="5">保・幼・小・特　　50 名まで</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">・幼稚園教育要領等と小学校学習指導要領のねらいや内容等を理解し、
保育者と小学校教員との連携を推進する力を身に付けたい教員
・幼児・児童の発達の特性に応じた保育や指導の工夫を学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="5">大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">◇「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td>研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５-(29)</td></tr>
<tr><td>持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	８月 22 日(月)	13:30-16:30	○幼稚園教育要領等と小学校学習指導要領の理解に基づく実践の推進 ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を手掛かりにした幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続の推進について	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員研修センター（水道橋）

(2)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課:専門教育向上課 03-5802-0296〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8412</td><td>研修名</td><td colspan="4">幼稚園教育理解推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">学校教育のはじまりとしての幼稚園教育の発信
－幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を図るために－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">幼小の接続期カリキュラムについて、習得した知識を発展させるとともに、保育者と小学校教員の連携や幼稚園・保育所・認定こども園の教育的機能の活用を図る園経営や学校経営を推進する力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">保・幼・小・特（園長・校長等）　50 名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">・幼小の円滑な接続を推進したい幼稚園長・小学校長等
（共に国私立学校、保育所等を含む）。
・カリキュラム・マネジメントを計画的かつ組織的に実施したい幼稚園長・小学校長等</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">聖徳大学大学院の篠原孝子講師を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇保・幼・小連携について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考:５-(29)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
</table>

	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
日程等	1	８月 23 日(火)	13:30-16:30	○保･幼･小連携と園経営の組織マネジメントの在り方 ○保･幼･小連携による人材育成について ○保･幼･小の円滑な接続のための協働について	長 A① 副 C①	集合	教職員研修センター（水道橋）

研修動画の配信（令和4年3月現在）

＊各動画に付いている（　　）は以下の略です。

（３教研セ）令和３年度東京都教職員研修センター作成動画

（２教研セ）令和２年度東京都教職員研修センター作成動画

（31 教研セ）平成 31 年度東京都教職員研修センター作成動画

（30 教研セ）平成 30 年度東京都教職員研修センター作成動画

（31 高指課）平成 31 年度教育庁指導部高等学校教育指導課作成動画

1　学習指導要領のポイント（小学校）全 14 タイトル		2　学習指導要領のポイント（中学校）全 13 タイトル		3　学習指導要領のポイント（高等学校）全 28 タイトル	
(1)	国語（30 教研セ）	(1)	国語（30 教研セ）	(1)	Ⅰ　総則（31 高指課）
(2)	社会（30 教研セ）	(2)	社会（30 教研セ）	(2)	Ⅱ1　国語（31 高指課）
(3)	算数（30 教研セ）	(3)	数学（30 教研セ）	(3)	Ⅱ2　地理歴史（31 高指課）
(4)	理科（30 教研セ）	(4)	理科（30 教研セ）	(4)	Ⅱ3　公民（31 高指課）
(5)	生活（30 教研セ）	(5)	音楽（30 教研セ）	(5)	Ⅱ4　数学（31 高指課）
(6)	音楽（30 教研セ）	(6)	美術（30 教研セ）	(6)	Ⅱ5　理科（31 高指課）
(7)	図画工作（30 教研セ）	(7)	保健体育（30 教研セ）	(7)	Ⅱ6　保健体育（31 高指課）
(8)	家庭（30 教研セ）	(8)	技術・家庭（技術）（30 教研セ）	(8)	Ⅱ7　芸術（31 高指課）
(9)	体育（30 教研セ）	(9)	技術・家庭（家庭）（30 教研セ）	(9)	Ⅱ8　外国語（31 高指課）
(10)	外国語（30 教研セ）	(10)	外国語（30 教研セ）	(10)	Ⅱ9　家庭（31 高指課）
(11)	道徳（30 教研セ）	(11)	道徳（30 教研セ）	(11)	Ⅱ10　情報（31 高指課）
(12)	外国語活動（30 教研セ）	(12)	総合的な学習の時間 ※小学校と共通　（30 教研セ）	(12)	Ⅱ11　理数（31 高指課）
(13)	総合的な学習の時間 ※中学校と共通　（30 教研セ）	(13)	特別活動（30 教研セ）	(13)	Ⅲ　専門共通（31 高指課）
(14)	特別活動（30 教研セ）			(14)	Ⅲ1　農業（31 高指課）
				(15)	Ⅲ2　工業（31 高指課）
				(16)	Ⅲ3　商業（31 高指課）
				(17)	Ⅲ4　水産（31 高指課）
				(18)	Ⅲ5　家庭（31 高指課）
				(19)	Ⅲ6　看護（31 高指課）

3　学習指導要領のポイント（高等学校）全 28 タイトル		4　教科等指導 全 18 タイトル		5　教育課題等 全 32 タイトル	
(20)	Ⅲ7　情報 （31 高指課）	(1)	「特別の教科　道徳」における評価の在り方 （30 教研セ）	(1)	東京都の教育施策 （31 教研セ）
(21)	Ⅲ8　福祉 （31 高指課）	(2)	教科「人間と社会」について （31 教研セ）	(2)	教育法規①(中堅研Ⅰ) （31 教研セ）
(22)	Ⅲ9　理数 （31 高指課）	(3)	外国語科の指導 （30 教研セ）	(3)	教育法規②(中堅研Ⅰ) （31 教研セ）
(23)	Ⅲ10 体育 （31 高指課）	(4)	言葉による見方・考え方を働かせる言語活動の充実 （30 教研セ）	(4)	服務事故の防止について （31 教研セ）
(24)	Ⅲ11 音楽 （31 高指課）	(5)	国語科の授業づくりの基礎・基本（小学校） （30 教研セ）	(5)	主任教諭に期待されること （31 教研セ）
(25)	Ⅲ12 美術 （31 高指課）	(6)	国語科の授業づくりの基礎・基本（中学校・高等学校） （30 教研セ）	(6)	学校における 0JT の推進 （31 教研セ）
(26)	Ⅲ13 英語 （31 高指課）	(7)	社会的な見方･考え方を働かせて考察する指導の工夫 （30 教研セ）	(7)	特別支援教室について ～自閉症、情緒障害、学習障害及び注意欠陥多動性障害のある児童・生徒のための通級による指導～（31 教研セ）
(27)	Ⅳ　総合的な探究の時間 （31 高指課）	(8)	算数科の授業づくり （30 教研セ）	(8)	学校生活支援シート及び個別指導計画の作成について （31 教研セ）
(28)	Ⅴ　特別活動 （31 高指課）	(9)	数学科の授業づくり （30 教研セ）	(9)	オリンピック・パラリンピック教育の推進 （30 教研セ）
		(10)	理科の見方・考え方を働かせた授業づくり （30 教研セ）	(10)	プログラミング教育 （30 教研セ）
		(11)	理科室の管理と使用方法 （31 教研セ）	(11)	ＩＣＴを活用した協働学習 （30 教研セ）
		(12)	授業力の 6 要素と授業改善 （31 教研セ）	(12)	健康課題の解決に向けた取組とがん教育の推進 （30 教研セ）
		(13)	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 （31 教研セ）	(13)	キャリア教育の理解と実践 （30 教研セ）
		(14)	学習指導案の書き方 （31 教研セ）	(14)	社会に開かれた教育課程を実現するカリキュラム･マネジメント（31 教研セ）
		(15)	学習指導要領を踏まえた指導計画と授業改善 （２教研セ）	(15)	人権教育の推進 （31 教研セ）
		(16)	生徒一人一人の学びを支える指導及び支援 （２教研セ）	(16)	関係機関と連携した児童支援の充実 （30 教研セ）
		(17)	学習状況の適切な評価と指導の改善 （２教研セ）	(17)	生活指導に求められる学校の組織的対応 （30 教研セ）
		(18)	よりよい授業づくりのために （３教研セ）	(18)	学級経営の基礎・基本 （31 教研セ）
				(19)	新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別等を防止するための指導の充実 （２教研セ）
				(20)	いじめ防止と対応について （２教研セ）
				(21)	保護者との良好な関係づくり （２教研セ）
				(22)	社会人として身に付けておきたい接遇マナーについて （２教研セ）
				(23)	組織の一員としての自己の役割について （２教研セ）

5　教育課題等 全32タイトル		6　その他 全2タイトル	
(24)	人材育成と0JTの推進 - 教育管理職候補者の皆さんへ- （2教研セ）	(1)	簡単な体ほぐしの運動 （30教研セ）
(25)	主幹教諭･指導教諭の立場から推進するカリキュラム･マネジメント　（2教研セ）	(2)	研究協議の仕方 （30教研セ）
(26)	教師が変わる、学校が変わる、子供が変わる 一人1台端末の効果的な活用に向けて⑴　（2教研セ）		
(27)	教師が変わる、学校が変わる、子供が変わる 一人1台端末の効果的な活用に向けて⑵　（2教研セ）		
(28)	指導と評価の一体化を目指して　（2教研セ）		
(29)	幼児教育との接続とスタート・カリキュラムについて （2教研セ）		
(30)	学校における「性教育」の推進　（2教研セ）		
(31)	教育における合理的配慮について　（2教研セ）		
(32)	保護者対応の実際 （3教研セ）		